

鎌倉市新庁舎等整備基本計画（素案）に対する意見と市の考え方整理表（未定稿）

目次

【素案に関する意見】	2
○ 素案全体に対する意見	2
○ 行政 DX・窓口機能	4
○ 防災拠点機能/消防機能	7
○ 交流・創造機能/深沢学習センター・深沢図書館	11
○ 配置計画/ゾーニング/フロア構成	23
○ 景観計画・構造計画・設備計画・環境計画	27
○ 施設規模/コスト・予算・財源/事業手法	32
○ 今後の進め方	36
○ 素案に対するその他の意見	37
○ まちづくり（深沢地域整備事業/アクセス・交通網・道路整備）	45
【事業の進め方に対する意見】	59
【新庁舎の移転整備に関する意見】	68
【その他の意見】	89
【参考意見】（氏名等の必要事項の記載がないもの）	92
【巻末資料】	94
【新庁舎の移転整備に関する意見】（整理 No. 162～205）に対する市の考え方について（表中「市の考え方」の欄の再掲）	97

【備考】

- ・ 1 通の意見書の中で、複数件の意見がある場合、文章を分割して整理しているものがあります。
- ・ いただいたご意見について、原則、原文のまま掲載していますが、明らかな誤記の修正や、個人情報等に当たるものを伏せる調整などを行っています。
- ・ *[斜体文字]* は補足のために加筆したものです。

【素案に関する意見】

○ 素案全体に対する意見

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
1	7		2. 新庁舎にあたって考慮することは、まず第1に、住民としての一生を鑑みて彼らが住みやすく、愛着を持ってこの土地に根差してくれる要素をこの箱ものに込めるべきです。従来型の為政者等の見える化を狙った箱もの行政ではなく、住民の心に残るハード（ここでは新庁舎）とソフト（ここでは職員と住民との融合）をうまく組み合わせた市庁舎とそれに伴うソフト面を充実させることです。	いただいたご意見を参考に、本事業を推進していきます。
2	11		1. 新市役所は多少の反対はあっても確実に推進して欲しい。	いただいたご意見を参考に、本事業を推進していきます。
3	36		※メンテナンスでお金を賭けて寿命延ばしてもいづれは建て替えなければならない。 ※市内に空き地がないので今がチャンス。 ※新庁舎は交通が便利であれば鎌倉市内ならどこでもよいのでは ※関東大震災クラスの地震が30年以内に起きる可能性があると言われてるので耐震建物が必要	いただいたご意見を参考に、本事業を推進していきます。
4	42		私は■■■になった時から幹事を務め、2006年■■■を引き受けしております。その為、鎌倉市を世界遺産にという運動には永年積極的に協力してきました。また画業の為、度々海外の都市をかなりの数見て参りました。 そこで鎌倉市の場合、風致地区の多い旧市街を歴史地区として観光と商業文化に向く地域を取り囲む大船・深沢・腰越を新市街として市役所を始めとする行政防災等、市民生活に直結する機関、教育スポーツ施設生産業等、日常生活地区にすると良いと考えてきました。そのため、市庁舎移転は以前から賛成。 今回の説明会でも具体的なお話は良くわかりました。	いただいたご意見を参考に、本事業を推進していきます。
5	46		○市民の為の本庁舎（世界に誇れるわくわくする街）を造ってください。 ・新しい行政拠点（スマートシティとDXの拠点、先進技術100年先をイメージ） ・民活による賑わいの創出、利便性の創出、更なるコスト削減（道の駅等の誘致） ・鎌倉市の歴史を感じさせる必要はない、単なる箱でもつまらない、世界に誇れる空間	いただいたご意見を参考に、未来志向で本事業を推進していきます。民活については実施設計以降のDBOまたはPFI-BTOを予定しています。建築意匠については基本設計において具体的に検討します。

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
6	60		<p>素晴らしい基本計画をありがとうございます。 本計画に基づいて、進めていくことに賛成しています。</p> <p>深沢の広大な地が長年生かされていないこと、モノレールを使うたびとても残念に感じてきました。また、現庁舎で働く市役所の皆様が日々熱心に鎌倉のためのお仕事をされている姿を拝見しながら、もっとよりよい環境で仕事を行なえるワーク環境の改善が必須！と、打ち合わせに伺うたびに感じてきました。</p> <p>オープンで相談しやすく、クリエイティブに議論や仕事ができる新庁舎。 防災などの安全性や、さまざまな人の利便性にも配慮された。</p> <p>とてもいいと思います。ぜひ1日も早い実現を、期待しています。</p>	<p>いただいたご意見を参考に、本事業を推進していきます。</p>
7	64		<p>【意見】新市庁舎を JR 新駅（仮称：村岡新駅）への移転計画に賛成します。</p> <p>【理由】</p> <p>1) 新しい時代に相応しい役割を新市庁舎に求めたいため</p> <p>2) 鎌倉旧市街地に現存する（或いは埋もれている）貴重な歴史的遺産等が将来にわたり維持保存することが出来、且つその中で市民が豊かな旧市街地での生活を享受できる余地が広がるため。</p> <p>3) 日本における京都市が現在も歴史的遺産をまがりなりにも維持保全できていることが、その証明となる。即ち、日本の歴史において、かつては京都が日本の中心であったが、その後、江戸そして東京へ日本の中心が移転したことにより、京都は京都でその良き歴史的遺産を保持しつつ現在に至っている。且つ、東京は東京で、近代的機能を有した、世界の中でも有数の都市として発展中である。</p> <p>鎌倉市においても、市民やここを訪れる人々がこのような新旧が混ざり合い温故知新を感じる事の出来るような3拠点を擁する市として今後も発展していくことが望ましいと考える。</p>	<p>いただいたご意見を参考に、本事業を推進していきます。</p>
8	71		<p>1) 歴史都市鎌倉にとって、地方自治体とその在り方にとって、重要なターニングポイントとなる事業と考える。2) 規模こそ違えど、京都や奈良のような歴史都市の行政を倣いつつ、その先を見据えた「鎌倉らしい」街づくりのための行政システムを維持運営する「活動拠点」として世界に誇れる「器」を造ってもらいたい。3) 時代の変化が速く、これまでに考えてきたことが今後、陳腐化することも予想されることから、途中で軌道修正できる幅をもたせた計画と</p>	<p>いただいたご意見を参考に、本事業を推進していきます。</p>

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			<p>して、その時を暮らす鎌倉市民にとって、最高の行政サービスを受けられるよう「ハード」以上に「ソフト」を鍛えてほしい。そのためにも、事業を支えるスタッフとして、市役所職員(特に若手の方)には高いモチベーションを期待するし、民間活力として、市民の中にいる経験ある専門家の登用も検討すべきと思う。4) 更に加えるなら、これまで解決できなかった鎌倉ならではの都市問題(交通問題、少子化問題、空家問題、ゴミ問題などなど)、も併せて検討の枠組みに入れ、少しでも良くできるよう考えるべき。5) 事業は施設の完成が終わりではなく、供用開始してからが本当の始まりで、スケジュールの中には供用開始後に当初想定した成果が出ているかを定期的に評価し、フィードバックする仕組みと仕掛けを組み込んでおくべき。100%成功する事業はなく、その後の継続的な運用の中で調整ができる余力(施設としてはフリースペース)を見込むのが良い。6) このようなことから、施設には老朽化による寿命が必ずあり、定期的な建替えは必須なので、長期的には、都市計画の中で必遊休地(リザーブスペース)を幾つか確保し、建替え時の土地確保で右往左往しないよう 100 年単位の計画を考えたい。7) 頼朝がこの地に幕府を開いて 800 年以上も街であり続けてきたことを思えば、市政を預かる市長や市役所職員の方々には、800 年くらい先を想像して今後を考えるくらいの気持ちをもってチャレンジしてもらいたい。</p>	(前ページのつづき)

○ 行政 DX・窓口機能

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
9	8		<ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎を作る前にマイナンバーカードの取得率を増やし、保険証の一体化、住民票等取得あらゆるものをデジタル化し、窓口を縮小する。確定申告のパソコン等での申告を増やす。 →機械の使い方など分からない人が出てくるので最低限の人員を配置する →地震等の災害で停電になった時の対策をする ・高齢者、子供、障害者、介護の福祉、何課に相談したらいい人の為の窓口を充実する ・年金、保険の窓口は現状維持し、福祉との連携を充実する。(障害者手帳と障害者年金が窓口が違ったりするからです) ・マイナンバーカード発行、再発行、引っ越しの時の手続きだけは 	<p>いただいたご意見を参考に、推進していきます。また、ご意見のとおり、マイナンバーカードの取得率の向上等のデジタル化は引き続き取り組んでいきます。</p>

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			現庁舎に残す。他のマイナンバーカードの手続きは新庁舎でやる。	(前ページのつづき)
10	17	P. 52, 53, 54	新庁舎等整備と併せて推進する DX の取り組みについて 「出所：行政 DX 推進の指針」が掲載されていますが鎌倉市として取り組むものは何ですか？何を何時までにどのように取り組むのか説明願います。	いずれも本市が取り組む内容です。行政 DX 推進の指針では、令和 5 年度（2023 年度）までにペーパーレスやストックレスの取組を実施、令和 7 年度（2025 年度）までに円滑なコミュニケーションを可能とする環境整備を実施、令和 10 年度（2028 年度）までにオンライン市役所の実現に向けた施策実施と来庁者の待ち時間の最小化を実施することとしています。
11	17	P. 43（72, 73, 74）	窓口サービスのあり方について サービスのイメージが書かれています。実施においては、現状の事務フローの分析（処理時間含む）、事務規定の分析、現状システムの分析をして、目標に対して何を改善するのか評価が必要と考えます。この現状分析を経た上で、業務のフロー変更、事務規定の変更、システムの変更をするものと考えます。新サービスに向けて現状分析、改善の目標設定、実施に伴う事務・システムの変更対応等に対するスケジュールについて説明願います。	窓口サービスのあり方については、令和 5 年度（2023 年度）に実施する予定の DX 支援業務において具体的な検討を実施してまいります。
12	18		1 マイナンバーを利用し窓口同時が情報を共有出来るようにする事 6 今のうちに医療機関と協力しマイナンバーカードと保険証一体化し交付することと、パソコン等による確定申告を普及させること。 (ポイントなどが良く分からない高齢者がいる可能性がある所以对策が必要です)	いずれも新庁舎において対応が必要な事項と考えます。いただいたご意見を参考に、今後、基本設計を策定していく中で検討していきます。
13	27		・デジタルとリアルを統合し推進するとしているが、デジタルの記載は詳細だが、リアルの改善は希薄である。社会的弱者の権利を守る計画となっていない。 ・DX やスマートシティ等の用語が踊るが、具体的な内容が伴っていない	いただいたご意見を参考に、今後、基本設計を策定していく中で検討していきます。

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			ない。完成時に国の DX が完了している保証はない。	(前ページのつづき)
14	46		・行政窓口→オープンスペースとし長テーブル廃止、執務室もフリーアドレス「図表 5-7」のイメージは古い	いただいたご意見を参考に、今後、基本設計を策定していく中で検討していきます。
15	52	1-2 本事業を取り巻く環境の変化	行政サービスのDX化は望ましい方向だと思います。併せて掲げられている取り組むべき事項の①地域社会のデジタル化と②デジタルデバインド対策にも共感します。公共機関だからこそ、 <u>デジタル格差への配慮</u> は最重要課題の一つと考えます。	いただいたご意見を参考に、デジタル格差への配慮に取り組んでいきます。 なお、地域コミュニティの中でデジタル機器の利用方法を教え合う仕組みづくりや、スマホ教室の開催支援などに取り組んでいます。
16	54	P. 91	●ソフト面において、DX 推進することによって職員さんとの交流が減ってしまうのは寂しいです。市民の甘えですが、聞いてほしい、知ってほしい、という想いを受け止めてきてくれたのが職員の方まででした。 ワンストップになり、利便性は増すかもしれませんが、立ち話ができるような関係性が世代間伝達として残していけたらよいと感じています。市長と顔見知りになったり、一般職員さんが出世していくのも、市民としては嬉しいのだと思います。通常会社とは異なり、市民にとって市役所の職員は、「頼りたい人」なのではないでしょうか？そうした関係性についても、一言入れていただけると嬉しいです。	新庁舎では交流・創造機能の面積を現庁舎よりも確保します。新庁舎等は、対面型のコミュニケーションを通じて、市職員同士あるいは市職員と市民・NPO・地場企業等が交流する場となることを目指します。
17	58		新庁舎でのワンストップサービスという説明もありましたが、現庁舎でもできるはずですが、新庁舎建設とは切り離してできるだけ早く提供をお願いします。	いただいたご意見を参考に、現庁舎においても利便性の高い行政サービスに取り組んでいきます。
18	65	概略版 P. 1	やさしい～サービスの提供方法が変わります～ 手続等のオンライン化は新庁舎を建設しなくともできるのでやって欲しい事です。むしろ、オンライン化によりどの支所からでも同じことができるようになるのがゴールだと思います。そうすれば、大きな建物もいらなくなります。	この基本計画では、開庁時期を見据えたテレワーク率の想定を3割としたこと、働き方などの変化をイメージした考え方を踏まえ

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
				て、新庁舎部分の床面積を約 20,000 m ² とよりコンパクトにしており、「コンパクトな本庁舎」とした基本理念に沿った取組であると考えています。
19	70		<p>整備基本計画である下記 3 項目は全く同感です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まもる ・やさしい ・つながる <p>ただ、個々の具体的な内容には、今後 50 年使用する新庁舎としては今を見るのではなく、今後を見据えての検討が良いかと思っています。特に「やさしい」の中の、対面型窓口、オンラインが苦手な人も安心。のくだりは、新庁舎が開庁する 2028 年には、どのくらいの方々がこの機能を必要としているかがいささか疑問です。また新庁舎は 50 年程度利用するとした場合、もっと先を見据えた使い方にすべきだと思います。例えば、オンラインの苦手な人のために、窓口対応を用意するより、オンラインでやりたい事ができない方を出さない方法を用意の方が正しいかと考えています。「できないから使わなくても良いよ」というより、使い方を丁寧に教えるしくみを作る方が、やさしさを感じます。市民としての必要な申請・書類の取得等はオンラインを利用する事を前提にし、建屋は・まもる、・つながるを前提に使い方を検討する事が肝要かと考えます。市民がつかうことで、災害に強い街を作る事の方が、個人的には楽しい鎌倉市を作る事ができると思います。</p>	いただいたご意見を参考に、今後、基本設計を策定していく中で検討していきます。

○ 防災拠点機能/消防機能

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
20	7		<p>4. 「本庁舎に導入する機能」の④の防災の欄ですが、防災倉庫は何か所に集中せず、現在の支所機能を高度化して機能的に配置利用し、危険の分散化を図ることではないでしょうか。</p> <p>つまり、本庁舎の最大の役割は、鎌倉市行政の核、センターとしての頭脳が収められた場にすべきだと思います。支所等はそのランチ、それだけに、支所には、住民が求めるノウハウを一体化して</p>	災害時の活動に必要な資機材を収める防災倉庫を新庁舎に導入する防災機能として考えています。

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			職員には達しておく必要があります。これに関連して、子どもの減少に伴い、学校の間を生徒だけに限定せず、住民との交流を積極的に図るために学校を地域活動の支援、介護・養護施設を含め広域に開放する必要があるのではないのでしょうか（子どもたちに弱者、障害者、老人など、自分を取り巻く人々と日ごろから触れ合うことの必要がますます重要だと思うのです）。変質者との問題がいわれませんが、より多い住民の目が被害を防ぐ役割があると思うのです。	なお、他の地域の支所との災害時の連携や市庁舎現在地の利活用でも防災機能を導入するなど、災害に備えていきます。
21	17	P. 75	<p>防災拠点機能について</p> <p>市、消防（市）、警察（県）との連絡体制はどのようになるのでしょうか説明願います。約 50 年前の鎌倉市は市役所、消防、警察が隣り合わせにあり、災害時に対し良い立地体制でした。今回は、市役所が消防の拠点（鎌倉、大船）、警察の拠点（鎌倉、大船）と離れてしまいコミュニケーションが取れなくなります。どのような連絡方法（連携、方法、エスカレーション）を考えているのか、またその流れについて説明をお願いします。旧庁舎の活用の活用として現在の庁舎を建て直して本部を置き、鎌倉消防署、鎌倉警察署と連携するべきと考えます。大手企業がテレワークを実施している中、本庁との連絡は如何様にできます。</p> <p>参考：ワークショップでは「鎌倉地域は観光地であることから、災害時には地域住民だけでなく大勢の観光客が訪れていることが想定されます。地域住民への防災機能に加え、観光客への対応機能も想定する必要」とあります。現在の本庁位置が適切です。</p>	<p>消防機能については、「大船消防署・消防本部と深沢出張所を統合し、深沢地域整備事業用地に移転する」とした「鎌倉市公共施設再編計画（平成 27 年 3 月）」の方針に沿って老朽化した施設の更新を効率的に進めるために大船消防署・消防本部と深沢出張所を当該地で集約する取組があり、更にこの集約する消防機能と移転整備する方針の新庁舎を複合化することで更に効率的な施設整備を目指しています。</p> <p>新庁舎と複合化することでより効率的な施設整備を図るとともに、「鎌倉市本庁舎等整備基本構想（令和元年 7 月）」で掲げた「1 堅固な建物で災害時に頼れる本庁舎」という基本方針で「消防本部との連携やグラウンド等の活用が可能な、受援</p>
22	30		<p>③について</p> <p>新庁舎計画の中の「フロア構成」を拝見すると、図書館、交流・創造の場などがありますが、市役所の防災に係る事務に専念するべきで、余計なものは必要ありません。</p> <p>地震・津波という災害を前提に新本庁舎を深沢地区に造るのが、最大の目的であるので、極端なことを言いますと、市長室と秘書課、議会のほか、地震・津波などの災害が起きた時の迅速で的確な対応をするための防災担当に特化していれば、問題ないと思います。</p>	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
				<p>力を持った強靱な本庁舎」を目指すこととしており、また、災害時に新庁舎と複合化する「災害対策本部」と「消防本部」が緊密な連携を取るとともに、周辺既設と連携し、一体的な防災拠点とする方針としました。</p> <p>また、大規模災害時には、行政機能が集約していること、集約したスペースがあることによって、職員が参集でき、指揮命令が容易な体制で、参集した職員が総力を挙げられることで、迅速な災害への対応が図れると考えています。</p> <p>また、災害時の本市の防災拠点となる新庁舎等（消防施設含む）と警察署（鎌倉・大船）との連絡方法については、現状と同様と考えていますが、市庁舎現在地についても鎌倉地域の防災を支える機能の導入を検討していきます。</p> <p>いただいたご意見については、担当部署へ情報提供します。</p>
23	20		○新庁舎設置並びに新たなまちづくりが推進されることにより深沢地域で就労人口が増えることが想定される。大規模地震等の災害が	新庁舎は災害時の情報収集やライフライン

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			発生した際、公共交通機関での帰宅困難者が多数発生することが考えられることから、帰宅困難者待機スペースを設けること。また、帰宅困難者待機の観点から、庁舎内に設けると考えられる便所については、閉庁時間帯であっても 24 時間庁舎外から利用できるよう設計すること。	復旧などの応急対策活動の役割があるため、帰宅困難者については、地域全体での対応を検討する必要があります。立地する民間施設との連携など、具体的な対応策を検討していきます。
24	51	P. 56 ~ 87	○消防は指令機能のみにしてコンパクトにすべき。	消防機能については、「大船消防署・消防本部と深沢出張所を統合し、深沢地域整備事業用地に移転する」とした「鎌倉市公共施設再編計画（平成 27 年 3 月）」の方針に沿って老朽化した施設の更新を効率的に進めるために大船消防署・消防本部と深沢出張所を当該地で集約する取組があり、更にこの集約する消防機能と移転整備する方針の新庁舎を複合化することで更に効率的な施設整備を目指しています。
25	96	P. 26 ~ 28	大船消防署、深沢出張所の機能を本庁舎に複合化すること自体に異論はありませんが、その場合は大船地域への出動が小袋谷跨線橋超えとなり、何らかの原因で跨線橋が通行不可となった際の対応を考える必要はあるでしょう。	新庁舎と複合化することでより効率的な施設整備を図るとともに、「鎌倉市本庁舎等整備基本構想（令和元年 7 月）」で掲げた「1 堅固な建物で災害時に頼れる本庁舎」という基本方針で「消防本部と

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
				<p>の連携やグラウンド等の活用が可能な、受援力を持った強靱な本庁舎」を目指すこととしており、また、災害時に新庁舎と複合化する「災害対策本部」と「消防本部」が緊密な連携を取るとともに、周辺既設と連携し、一体的な防災拠点とする方針としました。</p> <p>なお、いただいたご意見については、担当部署へ情報提供します。</p>

○ 交流・創造機能/深沢学習センター・深沢図書館

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
26	5		<p>2. 新市庁舎の交流・創造スペースについて</p> <p>市民活動に関わる立場からも期待をしております。交流スペースはカフェ的なスペースにして、自由に気軽に交流スペースがいいです。また、スペースの制約はあると思いますが、シンポジウム、オープンハウス展示、パネルディスカッションなどが行える施設、会議スペースを求めます。その施設はオンライン予約制(=ITの活用)にして、もし当日スペースが空いていればその場で簡単に予約できる柔軟な仕組みがいいと思います。室内環境は、室内で育てやすい植物を取り入れて、環境音楽をBGMにすると創造性が発揮できるスペースになります。リサイクル素材を建築にも使ったらどうでしょうか。SDGにも沿った施設が実現します。</p> <p>4-6名収容の個室も複数設けて、プライバシーが必要な相談に対応できるようにしたらいかがでしょうか。</p> <p>部署横断になりますが、市民相談、NPOセンター利用、市庁舎来訪者の応接スペースなどとして共有できれば、省スペースになります</p>	<p>いただいたご意見を参考に、本事業を推進していきます。</p> <p>新庁舎では交流・創造機能の面積を現庁舎よりも確保します。新庁舎等は、図書館機能と学習センター機能と一体となった交流・創造機能として、対面型のコミュニケーションを通じて、市職員同士あるいは市職員と市民・NPO・地場企業等が地域課題の解決に向けて協働したり、交流す</p>

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			<p>し、積極的、創造性あふれる交流につながると思います。</p> <p>いずれにせよいろいろな意味で、新市庁舎を単に行政の手続きのために行く場所ではなく、鎌倉市民の活動、交流の拠点、さらには観光客の拠点になれる場所に創造できればと考えます。</p>	<p>ることで、新たな文化を創造し、発信し続けることができる新しい場所にしたいと考えています。</p>
27	13		<p>新庁舎には誰でも使える学校の教室のようなスペースがあったらうれしいです。友達と集まって交流するため場所(屋内)が必要だと思います。</p> <p>図書館ではおしゃべりが出来ないし、支所は団体登録がないと利用できないし、一般のカフェやレストランは高級で気軽には行けません。</p> <p>中学や高校、地域の友達と一緒におしゃべりしたり、活動したり、集まったり、自由に使える屋内の場所がほしいです。</p> <p>できれば、ロビーのような大きなスペースと、各グループごとに使える小さめのスペースがいくつかあって、空いていたらすぐに使えるような感じだとうれしいです。</p> <p>行きたいときに行って、みんなが集まって気軽におしゃべりできる場所を新しい市役所に作ってください。どうぞよろしく願いいたします。</p>	<p>なお、情報公開と住民自治(市民参加)の促進、包摂性(インクルーシブ)やユニバーサルデザインについては、ご意見を担当部署と共有した上で、この新しい場所については、各機能の連携や共用化等のほか、より効率的・効果的なサービスの提供を目指して、今後、基本設計を策定していく中で検討していきます。</p>
28	20-2		<p>図書館内に、飲食可能なスペース、子ども連れ、親子が滞在できるスペース(うるさくしても気を使わないスペース)を設けてほしい。</p>	
29	27		<ul style="list-style-type: none"> 市役所機能の充実が求められている、情報公開と住民自治(市民参加)の促進についての具体化が描かれていない(わかりやすいビジョンがない) 併設される図書館と学習センターの床面積が現在より削減されている。充実させるべき。 市庁舎の機能として市民との対話に用いる会議室等を充実させるべき。 	
30	46		<ul style="list-style-type: none"> 図書館→市民が1日過ごしたいと思える空間、教育支援の機能を持たず、ワークショップの充実(例:岐阜県立みんなの森) 	
31	48		<p>鎌倉市市民活動センターのスタッフをしております。</p> <p>新庁舎に市民活動センターを入れて頂き、市民の皆さま、行政の皆さまと共に地域課題解決に寄与できればと思っております。</p>	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			理想は、東京都府中市市民活動センターです。 http://www.fuchu-platz.jp/use/index.html	(前ページのつづき)
32	53		<ul style="list-style-type: none"> ・コピー機器、切断機、折畳み機器等が利用できる、市民向けのフリーワークスペースを設置。 ・障害の有無にかかわらず、誰もが使いやすいコミュニティーな憩いの場の新設。 	
33	58		<p>緑地を作って市民の憩いの場所にするという説明にも表れていますが、場所・箱をつくれば人が集まる・憩えるという考え方は、松尾市長が動画の冒頭でコメントしていた「持続可能」というキーワードに合致するように思えません。場所的には観光客が多く訪れる場所になると思いますが、市民が利用した場合は何等かアドバンテージが得られるような事を考えてください。</p> <p>-ひとつ例に挙げると土日の市庁舎駐車場の料金について市民であれば割引適用するようなサービスです。箱を作れば市民が喜ぶわけもなく、箱を作ったその先で市民はどういう利益を得られるのか？という観点で検討をお願いします。</p>	
34	66		<p>新庁舎には以下のようなインクルーシブな場所を作っていただきたいと存じます。具体的でなくてイメージのような書き方で申し訳ないのですが、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤ちゃんから高齢者まで、年齢や様々な性別、障害や健常を問わず ・ここに来たら自分の居場所と思える ・ここに来て人と話す、触れ合うことで心が安心できるような ・室内と屋外と両方ある ・バリアフリーな ・もしもそこで出てきた問題点の解決にむけて、行政としてできる、できそうなことは関連部署につなげることができ（県や国も含む）、行政ではできなくてもとにかく情報を提供できるような ・時間と共に進化、改善していけるような柔軟な… <p>ような場所を作っていただきたく、よろしく願いいたします。</p>	
35	70		<p>また、個人的には「働く街鎌倉」を目指しているため、そのためにはテレワークのために、様々な地域から来てくれた方や、鎌倉市民が仕事ができる、仕事を通して出会いの場として活用できる場を検討したいと考えます。具体的には、下記の事を検討したいと考えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●できる限りITを活用する <p>→市役所内の職員は最小限で業務を進める事を検討する。ロボット</p>	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			<p>の活用も検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ●新庁舎は箱物と考え、できる限りフレキシブルに利用する →部屋や執務室は固定にせず、フレキシブルに使い方を換えられる市庁舎として欲しい、市役所内部署の壁の撤廃にも繋げて欲しい ●コワーキングスペースの設置 →強い Wi-Fi を設置し、テレワークがしやすい場を作り、仕事のシナジーが生まれる場を、市役所が作る。利用料を取って、鎌倉市の税の一部にする事を検討しても良いと考えます。 ●市役所職員と市民の相談は、個人情報を守られる事 →オンライン面談の利用検討を含め、通路のような場所で個人情報が漏れるような相談を実施しない <p>以上のような事を考えています。ただ、一度作ったら未来永劫そのまま使用するのではなく、変化させながら、その時期に一番使いやすい市庁舎に変更できるよう、最初から設計して作っていただきたいと考えています。勝手な思いを綴りましたが、市民も使い易く、ハードだけでなく、ソフト面で使いたくなる市庁舎を作っていただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。</p>	(前ページのつづき)
36	72	P. 77	<p>交流・創造機能として、待合ロビーに 750 平米、市民交流スペースに 1,150 平米（議場 1,160 平米とほぼ同じ）をあてる案が示されている。本庁舎に市民活動、市民交流、市民の憩いの場のスペースを設けることには大いに賛同する。しかし、深沢図書館・深沢学習センターの機能を別途移設することとのすみ分けは必要である。また、全市的に見た市民活動の中核拠点・NPO センター機能は、交通至便の市庁舎現在地（御成町）に置くべきである。市内各所からのアクセスに難がある新庁舎に設けるのは、あくまで市役所現在地に次ぐ「第 2 の拠点」との位置づけとするべきである。</p>	<p>○複合化について 深沢図書館及び深沢学習センターについては、鎌倉市公共施設再編計画に基づき、新庁舎に複合化することとしています。</p> <p>○規模について 図書館機能と学習センター機能は合計約 1,300 m²を想定面積としています。図書館機能と学習センター機能</p>
37	7		<p>この計画の中に、「深沢図書館及び深沢学習センターを本庁舎に複合化」とありますが、現在所在している各所の図書館、学習センター、行政センターなどの支所は、従来通りとし、より住民が使い易い仕組みに充実させることが先決だと思います。</p>	<p>は、第 5 章の平面計画で示すとおり、深沢図書館・深沢学習センター一部分は、図表 3-20 の「2. 共用スペース」のエントランスホールや、「5. 交流・創造機能」</p>
38	52	第 2 章 ～第 4 章 2-1 新庁舎 等に導 入する	<p>ここに、⑥その他機能として、深沢図書館と深沢学習センターを本庁舎に複合します、と述べてあり、P29～33 や P49～51 で説明されていますが、以下のとおり多くの疑問点があります。</p> <p>ア. 深沢地域で予定されているまちづくりが進めば、明らかに人口増が見込まれるにもかかわらず、図書館と学習センターの延床面積が増えておらず、むしろ大幅に減っているのはおかしくないでしょうか？現在のサービス対象人口は 33,988 人（R2 年 4 月 1 日）で</p>	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
		機能 第 5 章	<p>す。閲覧席は 42 席しかなく（一般 12、児童 6、その他 24）、市内では大船図書館につぐ少なさです。</p> <p>PC 席も 2 席しかありません。現状維持のスペースと人員体制ではこれまでのサービスより低下することが危惧されます。</p> <p>イ. 新駅ができた後には、現在藤沢市で行われている<u>図書館相互利用サービス</u>を利用する藤沢市民が大幅に増加することが予見されます。ちなみに現在の藤沢市民登録者は 387 名、貸出点数は 7,242 冊（いずれも R 元年度末）です。<u>設備、機能共に深沢図書館の拡充が必要です。</u></p> <p>ウ. 図書館は全世代の市民に最も活用される公共施設です。しかし、現在の深沢図書館には、国立国会図書館の自治体配信サービス館に対応すべきデジタル環境がなく、国立国会図書館デジタルライブラリーの資料複写サービスに必要とされる複写機の設置もありません。地域社会の<u>デジタル化</u>を目指す状況はまず全市民が日常的に利用する図書館利用からだと思います。</p> <p>エ. 図書館でこそ閲覧できる高額なデータベースの閲覧や複写は、これからの生活や学習に欠かせないと考えますが、現在では中央図書館のみでしか利用できません。図書館には WIFI 環境すらありません。以上のように、地域図書館利用者には、長年にわたる<u>デジタルデバインド</u>の状況が続いています。新庁舎にできる地域図書館に現在の機能に加えてこれらを整備するのは当然のことと考えます。</p> <p>オ. 現在の深沢図書館には、障害者サービスのための対面朗読室（市内では玉縄図書館のみ有）も、拡大読書器（中央図書館のみ有）もありません。新庁舎内の図書館には<u>ユニバーサルな環境整備</u>が必要です。</p> <p>カ. 現在、深沢図書館は「子ども読書活動支援計画」に則った<u>子ども読書活動支援センター機能</u>を有し、全市的な子ども読書活動支援サービスを担う中核施設になっています。小・中学校への学習パック配送はじめ、保育所、幼稚園や子どもの家などへの資料提供やおはなし会サービスはじめ、様々な形の読書活動支援を行っており、教育現場からも高い評価を受けています。このセンターを維持・拡充するためには、悪天候でも問題なく資料の搬送作業ができる駐車場設備と、災害時に浸水等の心配がない閉架書庫環境が必要です。</p> <p>キ. コロナ対応で一時は休館を余儀なくされた図書館ですが、県内でも先駆けてオンラインや電話等によるレファレンスや予約貸出を始め、HP やツイッターで逐次貸出サービスのお知らせが実施される等、迅速できめ細やかな対応がありました。東北大震災のときも、</p>	<p>の市民交流ペースと一体的に整備することにより、新庁舎の機能と融合した空間かつ全体としてゆとりある空間を整備します。</p> <p>○位置について 市民活動での利用しやすさや南側道路との連携を考慮し深沢図書館、深沢学習センター、交流・創造機能を 1 階に配置したモデルプランをお示ししています。</p> <p>○サービスと空間のあり方について 図書館機能と学習センター機能において提供するサービスや空間のあり方、交流創造機能等、他の機能との関係性については、いただいたご意見を参考にしつつ、運営に携わる職員や市民の皆さんとの対話を行いながら、今後、基本設計及び DX 支援業務において具体的に検討してまいります。</p>

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			<p>計画停電地域のお知らせや江ノ電やJRの走行状況など、生活情報が日々図書館のHPにアップされ大変助かった記憶があります。また被災地では、避難場所への移動図書館サービスがいち早く実施され、沈みがちな市民の心の健康に大いに役立ってくれたと、当地の教育長から聞いたことがあります。<u>防災拠点</u>でもある新庁舎にできる地域図書館であるならば、それ相応の図書館サービスができる仕様にすべきと考えます。</p> <p>ク. <u>デジタルデバインドへの対応</u>も図書館や学習センターでの取り組みが期待されます。日常的に利用し、職員とリアルでコミュニケーションがとれていればこそ、高齢者や子どもたち、障害者のデジタルスキル向上へのサポートが有効ではないでしょうか？海外の図書館ではタブレットの貸し出しを行っているところもあります。</p> <p>ケ. 現在中央図書館で行われている<u>歴史的行政文書</u>の仕分け作業ですが、新庁舎に地域図書館が入るのであれば、こちらで実施される方が効率的ではないかと思われます。その場合は、当然ながら新たにその作業場や一時保管場所など別途のスペースが必要です。</p> <p>コ. 新庁舎には議会機能が入ります。当然議会図書室や行政資料コーナーも開設されることと思いますが、地域図書館との連携によって議員はもちろんのこと、職員や市民にも開かれた議会図書室や行政資料コーナーになることが望まれます。鳥取県立図書館と県議会図書室との有機的な連携とその功績は全国でも注目されましたが、<u>鎌倉でも地域図書館が議会図書室や行政資料コーナーと密に連携し、議員や職員、市民、民間事業者などによる政策提案などに有効活用されることが望まれます。</u></p> <p>サ. 図書館が活発に利用され全世代の交流の場、居場所になることには賛成です。しかし、一方で、集中して調べ物をしたり、静かに読書することを望む市民もいます。そういった利用者が排除されない配慮が必要です。先進的な取り組みとしては、<u>静音室（読書、仕事、対面朗読など多機能に使えます）やグループ学習（談話）室、音楽室（楽器を持ち込んでもいい防音スペース）</u>が図書館内に設けられるなどの事例があります。</p> <p>第5章 施設計画がいくつか示されていますが、以上のことを考慮の上、再考されるべきと考えます。</p>	(前ページのつづき)
39	58		<p>現庁舎後に図書館・生涯学習機能を集約するとあります。新庁舎パブコメの趣旨から少しそれますが箱を作ればそれでよしとする昭和の考え方から脱却をお願いします。</p>	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			<p>現在の図書館の蔵書の質の低さは目に余るものがあります。図書館の蔵書を選定する担当の方に是非一度東京港区の図書館を見学するようお願いしたいです。</p> <p>箱だけ作っても今の蔵書では人は集まりません。</p>	(前ページのつづき)
40	59		<p>図書館の基本的な役割は、資料の収集・保存・提供です。居場所、交流の場、情報発信など、様々な役割が期待されるようになりましたが、最初にあげた本来の目的が果たされたうえで、それらの機能をどう加えるかを考えなければなりません。</p> <p>複合施設となっても同じことです。本庁舎機能としてはペーパーレスが謳われていますが、図書館は資料のデジタル化が進んだとしても、紙媒体での資料も AV 資料も必要です。そのうえ、深沢図書館は子ども読書活動支援センターの役割も持ち、学校支援の拠点として市内小中学校の学びを支えています。</p> <p>一般利用の蔵書の他に団体貸出し用の蔵書もあることから、書庫スペースも多く必要です。さらに、ユニバーサルサービスとして拡大読書機や音声読み上げ機、対面朗読室も必要となるでしょう。複合施設となり、賑やかな図書館を目指すのであれば、静音室も必要です。</p> <p>本基本計画では、図書館スペースは現在の 820 m²が 530 m²に縮小されることになっていますが、これで十分な機能が果たせるのでしょうか。p80 に書かれた「利用者層に応じた空間づくり」はぜひ実現していただきたいですが、少なくとも現在と同等の蔵書を置き、さらにこれらの閲覧スペースを確保するとすると、到底無理があるのではないのでしょうか。一部を共有部で補うとしても、現在の 721 m²が 703 m²に縮小されるのであれば、それも見込めないでしょう。一方、図書館は常に所蔵資料の毀損や紛失に悩んでいます。仮に共有部に閲覧スペースを広げるとなると、そちらへの対策も必要となります。p117 には資料の持ち出し範囲を検討するとありますが、ぜひ図書館スペースの取り方も再検討していただきたいと思います。</p> <p>図書館はその年齢や立場を問わず、市民の自由な学びを保障しサポートする場です。これは交流の場である以前に、基本的な役割です。居場所としての図書館という時、それは安心して一人で落ち着いて過ごせる場所というイメージを持つ人は少なくないと考えます。公園との違いは、干渉せずに見守ってくれる人の存在と、様々な世界への窓口となる本の存在ではないのでしょうか。図書館は賑わい創出の材料ではありません。そもそも創出したい「賑わい」とは何でしょうか。どのような状態を望ましいとされているのか、そして誰が</p>	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			<p>それを望んでいるのかもわかりません。新庁舎に図書館や学習センターが統合されれば、自ずと人は集まるでしょう。市民の交流スペースがあれば尚更です。</p> <p>ですが歴史と文化を後の世に継承し、市民の学びを支えるという本来の役割を果たせなければ、図書館は形だけの物になってしまいます。本計画では、サービスのオンライン化や職員のリモートワークについても書かれています。リモートワークやリモート学習は今や広く行われるようになった感がありますが、環境が整わなかったり、技術的に難しかったりと悩む声も多く聞きます。本庁舎でも図書館でも、それらのサポートも求められるように思います。時代に即応したきめ細かいサービスが実現できるよう、市民生活に役立つ施設としていただきたいです。</p>	(前ページのつづき)
41	62		<p>2. 図書館ネットワークを再構築するにあたっては、現場の司書の意見を聞いてください。</p> <p>3. 公共図書館の可能性を広げる図書サービスと、また、鎌倉の歴史文化が集積される（埋蔵文化財、古文書など）十分な予算を確保してください。器が立派でも中身が薄くては、悲しい。</p>	
42	63		<p>新庁舎に入る深沢図書館について</p> <p>① 現在新庁舎に入る深沢図書館については、深沢図書館よりも広いスペースの確保をお願いします。</p> <p>・深沢図書館は、地域の図書館として近隣の人々に親しまれているだけでなく、団体貸し出しの拠点として、市内小中学校や地域の団体と図書館との連携に、大きな役割を持つ存在でもあります。図書館のこうした活動は、子どもたちの未来のためにもとても有用なことから考えます。現在は深沢行政センター2階の深沢図書館のフロアと地下の書庫で作業をしていますが、現時点で既に手狭であり、効率的な作業がしづらい状況にあります。基本計画素案では、図書館スペースは530㎡とありますが、学習センターの共用部分があるとしても、これでは狭すぎます。現在の延床面積は820㎡で、それでも手狭な状況なのです。本を読む・探す・借りる、或いは市民交流の場としてだけでなく、対面読書室、催し物なのできる部屋なども欲しいところで、加えて図書館の重要な役目である団体貸し出しの作業が効率的にできる場は今以上に広いものがが必要です。図書館専用面積を増やし、更に設備を充実させるよう、要望します。</p> <p>② 図書館施設は二階に・図書館には紙製の資料が多くあります。水害からこれらを守る為には2階以上のフロアが好ましいと思われます。素案p68の案では、フロア構成はハ案に賛成です。加えて、重</p>	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			い図書館資料の運搬ため、作業用エレベーターの設置があると良いと思います。 以上です。ご検討よろしくお願いたします。	(前ページのつづき)
43	69	P. 67 ~ 68	第5章施設計画 5-2 ゾーニングとフロア構成 (2) フロア構成の比較 →新庁舎の図書館は小規模で中途半端な施設にしないで欲しい。今後ますます生涯学習の時代になると思われることから、1階に申し訳程度に設置するのではなく、「図書館等：2F~3F」と2フロアもしくは、別棟で設置すべきと考えます。ハ案を検討して欲しい。	
44	74		・図書館・学習センター1300㎡は少なすぎる。拠点校にも作るとのことだが、図書館は多量の紙を保管しなければならないし、小さい館を多数というのに適さない。「冷暖房費が出せない人は図書館へ」と言われる時代。中央図書館の貧弱さもあるが、深沢は住民も多いところ。もっと充実を。	
45	88		深沢図書館は深沢学習センターとともに新市庁舎に移転することになっている。そのとき延べ施設面積は現在の約820㎡から約530㎡に(学習センター及び共用部分を含めると約3000㎡から約2000㎡に)縮小されるとある。この縮小案の前提には公共施設再編計画があるように思える。この計画では地域図書館は学習センターなどとともに各行政区に造る予定の地域拠点校に複合化するというもので、規模は2000㎡と想定されている。したがって深沢地区にその拠点校ができればそこに移転する可能性が高い。そうすると交流・創造スペースと併せて市民の活動・交流をより盛んにするという目標は言葉だけのものになりはしないか。 深沢図書館は地域住民へのサービスだけでなく、子ども読書活動推進計画の担当館になっており、市全域にある小学校、幼稚園、保育園、子どもの家などを対象にした児童図書の特約貸出業務を行っている。通常は中央図書館が果たすべき機能を正職員が3名しかいない地域館が行っている。団体貸出の利用は多く、重要なサービスを担っているといえる。「深沢図書館機能」の項(P.80)にあるように、団体貸出専用の図書を所蔵するスペースおよび搬送・回収の際の自動車への積み下ろし作業のためのスペースも確保されねばならない。 深沢図書館は地域館のなかでは延べ床面積は広いほうだが、それでも閲覧席はきわめて少なく、調べ物をしたくても満席でできないことが多い。また、国立国会図書館の資料が著作権法の改正により閲覧できる範囲が広がるなどの動きが進み、より多様なデータベース	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			<p>へのアクセスが可能になっている。地域館もそれに備えてデータにアクセスし複写する機器を設置したコーナーを設けることが求められている。またデジタル化に関連していえば、Wi-Fi 環境の整備は公共施設としては必須の要件であることも付け加えておきたい。</p> <p>以上のことを踏まえると、約 820 m²から約 530 m²に規模を縮小すると(約 35%減)、サービスの充実どころか、これまで行っていたレベルの維持さえ不可能になる危険性がある。足りない部分は共用スペースを活用すればいいと考えているようだが、管理・運営の観点に立てば共用はあくまで共用である。専用スペースの代替にはならないし、すべきではない。</p> <p>1 階平面図を見ると(P.82)、「図書館・学習センター」とされた場所は共用部分も含めどのように区切られているか不明である。業務形態やサービス内容が異なる施設を仕切らずに同じ空間の中で機能させようとするのであろうか。これでは職員も仕事がしづらいし市民も利用しにくくなるのではないだろうか。</p> <p>隣接する交流・創造スペースについて他都市の例が紹介されているだけで、深沢ではどういう使い方をするのか「引き続き市民対話を実施し検討します」として具体的なイメージが示されていない。図書館・学習センターとほぼ同規模に設計されているが、社会教育施設のスペースを現状より減らしてでもつくり出したい「賑わいや交流」とは一体何なのか理解しがたい。</p> <p>冒頭で公共施設再編計画に触れたが、この計画に沿って図書館・学習センターの規模を縮小し、それに加えて両施設を同一空間に設計したのも管理・運営面で指定管理者制度を導入しやすくするためなのかと懸念される。市民サービスの充実よりも効率的運営を優先しているのではないかという疑念を持たれないためにも深沢図書館の縮小案は再検討してほしい。そのためには誰よりも図書館業務を熟知している現場職員の意見をよく聞き、併せて図書館を利用する市民の生の意見を聞く場を設けてほしいと考える。</p>	(前ページのつづき)
46	97	p. 50 p. 80	<p>深沢図書館のスペースが現在の 820 m²から 530 m²、学習センターが 1,186 m²から 767 m²、共用部が 721 m²から 703 m²へ、いずれも面積が少なくなる計画になっています。バリアフリーを考えた書架の間隔などを考えると、面積を減らしてしまってよいのか疑問です。</p> <p>深沢図書館の地下書庫で保管している資料のスペースを確保すると書いてありますが、図書館の面積が減らされると確保できるのでしょうか。深沢図書館は「子ども読書活動支援センター」の役割も持っている大切な図書館なので、スペースの確保を確実にしてほしい</p>	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			です。	(前ページのつづき)
47	100		<p>整備跡地全体の敷地面積は相当広く思われます。その一角に新庁舎を建てる計画になっています。</p> <p>もう少し広げるとは予算上や何かで不可能でしょうか。</p> <p>どうぞ図書館を現在以上狭くしないでください。約 300 m²減少は各機能の広さを十分に検討した上での案であろうか。目的に合わせた閲覧室や機能を持った部屋の確保・諸作業のためのスペースを考えると外すことのできない広さが必要になってくる。専門家（図書館設計建築・現場の図書館司書など）の意見はきちんと反映されているのでしょうか。この機会に何年か先を充分に見極めて細かな部分に気を配って欲しいです。共用利用部分が多くあるから減らすことが可能ということは机上の発想ではないだろうか。</p> <p>1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在深沢図書館は「子ども読書活動支援センター」を持っている。書架・準備整理・貸出搬送・回収など一連の作業を効率的にするには、それなりの広さが必要。 ・障がい者用対面読書室・録音室・静音質・Wi-Fi の整備などの整備。現在の図書館は一時代遅れている図書館環境です。書架の間は障がい者の方が車いすで通れる幅の確保。 ・学習場所の確保。現在書架の窓際などに椅子のみおいてあるが、これは学習場所とは言わない。 ・目的に応じて利用できる部屋・会議室の確保 <p>2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害についての配慮。是非 2 階に位置してください。紙資料は水災害に対して最たる弱者です。たぶん大丈夫では安易な考えです。書架の固定・床面から少し高い位置に本を置く？これで水害から守れるのですか。 <p>3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館を学習センター、ホールと同一視は絶対にしないでください。機能は全く別です。単独の機能を持っています。利用目的に合わせて考え設計して欲しいです。ごちゃ混ぜは避けてください。 <p>賑わって何でしょうか。学校帰りに仕事帰りに、買い物のついでに、休日に気分転換に、サボりたい時に、子どもの宿題に付き合っ、何かしら見つけたくて、ボーっと本の背表紙を眺めたくて、と図書館へ行く目的は人々々です。世代を超えて国籍を超え、誰でもいつでも行きやすい、利用しやすく出入りの出来る場所、人の行き来が気安く出来る場所を作ってください。お弁当、食事、飲み物を</p>	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			取る場所が必要ですが、全国至る所にあるカフェは不必要だと思います。	(前ページのつづき)
48	101	P. 29, 5 0, 80, 8 2	<p>P. 29 (2) 「深沢学習センター及び深沢図書館」では深沢図書館の面積は約 820 m²でした。</p> <p>P. 50 (4) 「深沢図書館・深沢学習センター」では深沢図書館の面積は約 530 m²と 2/3 に縮小されています。そして「地域拠点校選定の考え方」という文言の中で、拠点となる学校に複合化する公共施設として、両施設の共用部分を含めて市民交流スペースとして、ゆとりある空間をつくる、これは机上の空論のように思います。具体的なイメージがわかりません。</p> <p>P. 80 (7) 「深沢図書館機能・深沢学習センター機能」にあるように「深沢図書館は、地理的に本市の中心に近いことから子ども読書支援センター機能を持つ図書館」です。このことは地域住民への書籍貸出業務だけでなく、基本計画にあるように市全域の小学校・保育園・幼稚園・子どもの家などへの団体貸出業務を現在地下書庫で行っています。これらの書架はどこへ移すことになるのか具体的に示し、保管書庫を必ず確保してください。しかも、この業務を数少ない職員で行っているのです。さらに、ここで「インターネット環境におけるサービス提供についても検討します」と明記されています。ご存知のことですが、いまインターネットでの資料検索は急速に便利になっています。いつでも、どこでも、だれもがインターネットを使った検索、コピーが市内のどこの図書館でもできるようにしてください。現在は国立国会図書館のデジタルデータは中央図書館でしかコピーできません。豊かな文化都市を造ろうという市民の声を聞いていただきたいと思います。</p> <p>P. 82 (2) 「図書館、学習センターをはじめとする交流・創造機能に関するスペースを配置することで賑わいを創出します」とありますが、本来図書館と学習センターは機能的に別のものです。複合施設の一つではありますが、図書館は「賑わいを創出する」ものではありません。深沢地区の新しいまちづくりの拠点が新市庁舎で、東海道線の新駅も出来るということなら、一層図書館へ本を借りに来る人は増えると思います。利用者の希望に応え得る図書館に、みんなと知恵を出し合って作りませんか。閲覧室を十分広くし、この(素案)を作成なさった職員の方々も大いに利用し、いい図書館ができたと市民とともに喜びあえる施設を是非一緒に考え、作っていきたいと思っています。</p>	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
49	104	P. 4, 82	1Fの市民活動（交流・対話）スペースも、深沢地域の人限定のようなもの。それよりも小ブロック単位で各地域に町内会館を提供していただいた方が有難いです（必要です）。（空家を利用、災害時の避難場所にもなります。）	新庁舎等は、図書館機能と学習センター機能と一体となった交流・創造機能として、対面型のコミュニケーションを通じて、市職員同士あるいは市職員と市民・NPO・地場企業等が地域課題の解決に向けて協働したり、交流することで、新たな文化を創造し、発信し続けることができる新しい場所にしたいと考えています。

○ 配置計画/ゾーニング/フロア構成

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
50	14		1) あらゆる物事の変化、進歩が目まぐるしい時代であることから、今計画及び検討している事が新庁舎が完成時に既に古くなっている可能性が高いため、あらゆる変化に対応できる計画、建築にしていきたいです。	環境の変化に柔軟に対応しながら事業を推進すること、完成後の環境の変化への対応も見据えてフレキシブルな計画であることの必要があるとの認識の下、引き続き検討していきます。 なお、いただいたご意見を踏まえて、フレキシブルな計画を目指すことを補強する表現に修正しました（基本計画P. 76に反映）。
51	17	P. 67	ゾーニングとフロア構成について	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			イロハの各案について議場等が最上階にあります。理由を説明願います。逆に消防関連は低床階にあります。会議室は災害対策で利用できますが議場は使えないと考えます。低層階が良いのでは。議場が災害対策で利用できるなら具体的利用方法をお教えてください。消防など災害対策床が最上階で浸水被害のない配置にすべきと考えます。	市民活動での利用しやすさや南側道路との連携を考慮し深沢図書館、深沢学習センター、交流・創造機能を1階に配置しています。また、来庁者のアクセシビリティを考慮し2階にロビーと窓口機能を配置しています。職員のコミュニケーションを考慮し、事務機能は3階から上層階に順次配置し、結果として議場は最上階に配置したモデルプランを作成しています。消防については、1階に緊急車両を配置するため、消防機能は2階、3階の配置としています。
52	38	P. 66～	議場が最上階というのは、身近ではなくなるのでは？	この基本計画で示している配置計画、外部計画、フロア構成、平面計画は、各室などの設置階数や間取りの決定図ではなく、あくまでコンセプトを形にした一つのモデルプランです。
53	96	P. 67～ 68	「様々な市民活動」のなかには地方自治の根幹である議会も含まれると個人的に考えております。その観点から議場等を低層階に配置するのはいかがでしょうか。アクセスしにくい最上階にあっては議会が開けた場になるのは難しく思われます。	このモデルプランでは、検討したモデルプランの中での有力案として、市民活動での利用しやすさや南側道路との連携を考慮し深沢図書館、深沢学習セン

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
				<p>ター、交流・創造機能を1階に配置しています。なお、来庁者のアクセス性を考慮し2階にロビーと窓口機能を配置しています。職員のコミュニケーションを考慮し、事務機能は2階から上層階に順次配置し、結果として議場は最上階に配置しています。</p> <p>なお、いただいたご意見を担当部署と共有した上で、各機能の連携や共用化等のほか、より効率的・効果的なサービスの提供を目指して、今後、基本設計を策定していく中で検討していきます。</p> <p>また、市議会の機能に関するご意見については、担当部署と共有した上で、市議会と調整を図りながら取り組んでいきます。</p> <p>なお、敷地の浸水可能性については整理No. 162の市の考え方をご参照ください。</p>
54	17	P. 82 (52 他)	<p>各フロアの概要 (サービスロビーが2階にある理由)</p> <p>市役所には図書館や交流に来るのは本来の目的ではありません。本来の目的は役所でなければできない事務(処理)をするために来ます。(来庁の最大目的は事務処理)それなのに、その事務を行う所(サービスロビー)を2階に設置するのはおかしいです。わざわざ2階</p>	<p>新庁舎と市庁舎現在地で提供する行政サービス(手続きや相談)については、現在の市役所本庁舎と深沢支所の役割・関係を参考に、整</p>

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			<p>に誘導しないで、対面、対話を重視するなら1階ですぐに対応すべきです。この主従関係を逆にした説明をお願いします。(深沢地区は水没する前提で役所事務は2階以上にしたのですか) 図書館や交流は旧市役所に設置すれば、新本庁の増床になりスペースが空きレイアウトの自由度があがります。(現本庁跡地利用にも同様の計画があり二重投資です)</p> <p>(食堂) フロア図を見てもどこにも食堂がありません。現在の市役所にあった展望の良い食堂(市民、職員利用)がありません。食事はどこでするのでしょうか職員厚生施設を踏まえて説明願います。近隣にはめばしい食堂はありません。再開発に期待するのですか。市民・職員が利用できる展望食堂の設置を希望します。6Fのロビーは何のためにあるのか判りません(議会へのサービスですか) 市民への良いサービスを提供する前に職員の満足行く住環境が無ければ良いサービスは生まれません。</p>	<p>備時期における行政サービスの提供のあり方、利用者の利便性を踏まえて、引き続き検討していきます。</p> <p>サービスロビーが2階にある理由については整理 No. 51 をご参照ください。</p> <p>なお、図書館については整理 No. 36 を参照ください。本市では「鎌倉市図書館ビジョン(平成31年3月)」を策定しており、鎌倉の5地域に一館ずつ計5つの図書館を「いちばんそばの情報センター」として充実させることとしています。新庁舎には深沢図書館を複合化し、現在地には中央図書館を再整備する予定です。現在も中央図書館及び深沢図書館があり、中央図書館は市庁舎現在地で、深沢図書館は新庁舎で、移転し複合化するもので、二重投資には当たらないと考えています。</p> <p>食堂は計画していませんが、職員が食事等に利用可能なスペースは整備する予定です。</p>
55	17	全体	<p>新本庁と跡地利用について別々に計画されていますが両拠点は密接な関係があります。両拠点の役割分担を整理して設計すべきです。役割分担を踏まえて計画すべき部分と単独で計画する部分の整理と説明をお願いします。(どちらの計画にも図書館があり、二重投資です)</p>	<p>の図書館を「いちばんそばの情報センター」として充実させることとしています。新庁舎には深沢図書館を複合化し、現在地には中央図書館を再整備する予定です。現在も中央図書館及び深沢図書館があり、中央図書館は市庁舎現在地で、深沢図書館は新庁舎で、移転し複合化するもので、二重投資には当たらないと考えています。</p> <p>食堂は計画していませんが、職員が食事等に利用可能なスペースは整備する予定です。</p>
56	41		<p>1階に市民交流センターがあるのは一見とても良いように思えるのですが、市役所へ諸手続に行くのにその場が2階にあるのが年寄り</p>	<p>いただいたご意見を参考に、バリアフリー、</p>

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			には不便に思います。	ユニバーサルデザインに配慮した新庁舎となるよう、今後、基本設計を策定していく中で検討していきます。
57	46		配棟はD案がベターだが、画一的でつまらない	いただいたご意見を参考に、本事業を推進していきます。
58	51	P. 56 ~ 87	<p>○2階をロビー階としているが、ロビーを待合ロビーとして位置付けており、現庁舎のロビーの域を出ていない。</p> <p>○シティーホールの祝祭の場としての位置づけが必要。</p> <p>○2階ロビーを市庁舎シティーホールと位置づける必要がある、3階まで吹き抜けたスペースを設け、そこには2階と3階を結ぶ階段を設置すべき。その場では市政や市民活動の内容を伝える展示、発表会、音楽コンサートなどができ、レセプションスペースとしての位置づけも必要。</p> <p>○3階は吹き抜け周りに回廊を設置し市民は回廊から2階ロビーでの催しを見下ろせるようにすべき</p> <p>○議会が6階にあるが別棟にしたらどうかその場合、駐車場の一部の上を議会棟にし、2階床レベルのデッキで市庁舎と結ぶ案も考えられるはず</p>	いただいたご意見を参考に、今後、基本設計を策定していく中で検討していきます。
59	104	P. 84	5Fの会議室、5Fなんて、市民を遠ざけている気がします。市民の目が届きやすい所に配置して下さい。	各種相談など市民とのコミュニケーションは1階、2階が中心となります。5階は職員同士の会議及び業者との打合せに使用する予定です。

○ 景観計画・構造計画・設備計画・環境計画

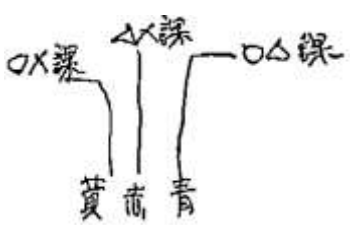
整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
60	18		<p>2 あらゆる設備、電化製品などを新しくすることによって出来るだけ省エネ対策をする事。</p> <p>3 鎌倉市が利用する車は電気自動車にすること</p> <p>4 市民が庁舎を利用してる間に電気自動車を充電出来るようにする</p>	いただいたご意見を参考に、今後、基本設計を策定していく中で検討していきます。

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			<p>事</p> <p>5 太陽光発電などの設備を利用し省エネ対策をする事</p> <p>2～5 は台風、地震等の災害で停電になった時の対策をする事。</p>	(前ページのつづき)
61	44	P. 90	<p>【意見：素案の一部変更】</p> <p>第5章 施設計画 5-6 構造計画・設備計画・環境計画 (2) 設備計画</p> <p>図 5-27 防災スペック一覧 電力対応例の第二カラム</p> <p>以下のとおりに変更することを提案いたします。(赤字が変更部分)</p> <p>比較的地震に対して信頼性の高い中圧ガス <u>を利用し、高効率自立分散型電源であるガスコージェネレーションシステム(CGS)を採用し、ガス及び備蓄燃料により、商用停電時に長期間対応可能な計画とする。</u></p> <p>【理由】</p> <p>素案 p. 90 には、「来庁者や職員等の安全性、快適性及び省エネルギーに配慮し、経済性も考慮した計画とします。また、庁舎の持つべき機能が十分に確保され、周辺環境に対しても十分に配慮された計画とします。さらには、ランニングコストを低減させるために、省エネルギー、省資源、地球環境及び周辺環境に配慮した計画とします。」との記載があります。CGS は、ガスエンジン等により発電し、その排熱を空調や給湯等に利用するシステムで省エネルギー性に優れています。また、停電時でも起動できる「停電対応仕様機」を採用すると商用電源が停電してもガス供給が継続する限りは発電と空調等の利用が可能になります。新庁舎等は地域の防災拠点でありエネルギー源の多重化が必要不可欠と考えます。素案では概ね3日以内のインフラの応急復旧を前提に備蓄燃料による非常用発電・蓄電設備の設置が計画されていますが、想定を超える停電の際には備蓄燃料が途切れ、運転停止のリスクがあります。このリスクを回避するために、重要負荷への給電機能を持つ中圧ガス導管供給による停電対応仕様 CGS 導入を計画することを提案します。なお、中圧ガス導管は、耐震性に優れた溶接接合鋼管を採用しており、阪神・淡路大震災、東日本大震災レベルに地震でも十分耐えられる構造になっています。東京ガスネットワークの高圧・中圧ガス導管は、災害時においても原則として都市ガスの供給を停止しません。</p> <p>【参考：ガスコージェネレーションシステムについて】</p>	<p>いただいたご意見については、今後、基本設計を策定していく中で検討していきます。</p>

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			<p>✓ガスコージェネレーションシステムはクリーンな天然ガスにより、電気を使用する場所で発電する「分散型発電設備」です。</p> <p>✓発電と同時に発生する廃熱を冷房・暖房・給湯・蒸気などにムダなく利用することができる省エネルギーシステムです。</p> <p>✓電源の二重化、安定化を図ることができ、特に、停電対応（BOS：ブラックアウトスタート）仕様機を採用することにより、購入電力の停電時における重要負荷への電力供給が確保できます。</p> <p>※【巻末資料】参照</p>	(前ページのつづき)
62	46		<ul style="list-style-type: none"> ・構造計画→免震は必要だが、防災エリアのみでもよいのでは（コスト削減） ・設備計画→未来を想定した設備計画（環境型、防災型、ランニングコスト軽減） ・緑化率 30%、CASBEE S と高い環境目標 	いただいたご意見を参考に、今後、基本設計を策定していく中で検討していきます。
63	54	P. 91	<p>新庁舎建築においては、自然の景観の中心となる鎌倉らしい外観に最新の DX を備えた建築になると思いますが、鎌倉地区のホテルのような四角いものではなく、御成小学校や大船中学校、北鎌倉郵便局のようなデザイン性も考慮してほしいです。そして近隣の都市型住宅や、業務施設と外観的バランスについて、条例を作り、開発地全体の美観を統一し、富士山を望める自然豊かなバウンダリーのないオープンな土地利用となるようなシンボリック役割を担ってほしいと考えます。水脈、風の流れ、葦原、鎌倉でここにしかないキリギリスや渡り鳥が来る素敵な場所大切に守ってほしいです。発掘調査の出土品は展示してほしいです。</p> <p>https://www.hoshikatta-kurashi-lab.com/project/3951/ （つくば プロジェクト人のつながりを生むランドスケープデザイン）</p>	いただいたご意見を参考に、今後、基本設計を策定していく中で検討していきます。
64	60		<p>2) 本質的な自然との共生</p> <p>本拠点のグリーンについては、“大地の再生”や“地球守”など、本質的に自然本来のあり方を大切にする手法を導入することが望ましいと考えています。（一般の建設会社様の標準手法である、見た目だけを整える、成長の速さだけを重視したグリーン植栽ではなく）</p> <p>植物が呼吸でき、水と空気が循環する自然の本来のありようを導入していくこと。それを住民がケアする仕組みとすること。それらがウォークアブルなオープンスペースの中で鎌倉の子どもたちや住人が日々体感・共有していく場ともなることで、「自然と共生するあり方が鎌倉の街に広く根付く」と考えます。</p>	いただいたご意見を参考に、今後、基本設計を策定していく中で検討していきます。

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
65	61		<p><脱炭素社会を指向した新庁舎等の整備> 少子・高齢化対策としてユニバーサルデザインの活用、安心安全なまちづくりとして防災・蓄電システムの整備、環境保全対策として脱炭素社会の構築に今後は取り組むべきである。</p> <p>従って、新庁舎整備への提案<脱炭素、ZEBの実現> 環境政策としても、地球温暖化防止、省エネルギー対策及び再生可能エネルギー導入への一層の取組みなどによる ZEB（ゼロ・エネルギー・ビルディング）を実現させる。電力供給面でのピークシフト/カットなどへの貢献および安定供給の確保など、鎌倉市の新たな新庁舎等整備に際して、深沢地区の再開発事業において脱炭素まちづくりに向けた複合的なスマートシティの実現と普及・拡大をめざす一環として計画するべきである。</p> <p>(1)環境共生の新庁舎 ・環境共生のまちづくりをめざす鎌倉の未来図は、どれだけエコロジーであるかが街の価値を決めるので、まちづくりの基本方針として新庁舎等整備が「エコロジーの象徴」にしていくことを切に願う。</p> <p>(2)SDGs 未来都市に向けた新庁舎等整備 ・SDGs（持続可能な開発目標）の観点からも、住民への幸福度や満足度、不満や社会の課題などについて、「地域の持続性」を確保したまちづくりが求められている。スマート化でデータが手に入ることにより、都市のエネルギーの消費を抑えたり、最適な都市開発を促すことによって支出を抑制したり、住宅の価格を低減したりするなど、自治体や住民のメリットは大きい。 ・鎌倉市では既に「SDGs 未来都市」に選定されているが、地域が自立して環境、社会、経済の3側面からの価値を創造する「自律的好循環」が期待されるので、深沢地区の再開発では是非とも実現を目指すこと。 ・鎌倉らしさとして、緑豊かなまちづくりと持続可能な都市経営『SDGs 未来都市かまくら』の創造をめざしており、歴史遺産を守りながら、経済、社会、環境のバランスがとれたまちづくりの一環として新庁舎等整備に取り組んでほしい。</p> <p>(3)新庁舎等整備をスーパーシティ構想の実現に中核として位置付け ・鎌倉市は、新たに成立した改正国家戦略特区法に基づいて、内閣</p>	<p>いただいたご意見を踏まえ、SDGs や環境配慮について、表現を修正しました（基本計画 P. 14, 15 に反映）。今後、基本設計を策定していく中で検討していきます。</p>

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			<p>府の「スーパーシティ構想」の対象区域指定を目指しており、AIやビッグデータなど最新の先端技術を活用して、少子高齢化や観光・交通など地域課題の解決を目指す取り組みに期待している。まちづくりでも、デジタル技術で都市機能や暮らしを向上させるスマートシティを展開することにより新たな価値観を創出してほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的には、再エネで充電した電気自動車（EV）のカーシェアリングを実施し「動く蓄電池」として活用することで、地域のエネルギー自給率向上、災害時の非常用電源として防災性向上の効果を狙うこと。また、再エネを利用した交通手段の提供により、点在する地域資源を新たにつなげ、地域が抱える地域課題の解決を目指すこと。新たな本庁舎をはじめとして各地にEV及び充放電器を設置して、こうしたエネルギーマネジメントの要素を組み込んだ、EV特化型カーシェアリングを地域に本格的に展開していくこと。環境省「脱炭素イノベーションによる地域循環共生圏構築事業」に申請して、脱炭素地域交通モデルの構築の採択事業をめざす。また、高齢化社会や人手不足の解決につなげるなど、物流、医療、教育などあらゆる分野の先端技術を組み合わせ、その相乗効果で住みやすいまちづくりをめざす。 <p>(4)脱炭素都市をめざしたモデルとしての新庁舎等整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鎌倉市は、2050年二酸化炭素排出実質ゼロの地方公共団体（ゼロカーボンシティ）に取り組むことを表明しており、国内でゼロカーボンシティを既に実現したケースは、市有施設から排出される二酸化炭素について、市が保有するクレジットを活用して「カーボンオフセット」をすることで、実質ゼロとしている。対象とする温室効果ガス排出量に対し、目標設定型排出量取引制度において、省エネ等によって創出された二酸化炭素排出の超過削減量（クレジット）で埋め合わせることも加味する。 ・電気自動車および燃料電池車のカーシェアリング（共用）、自動宅配車、無人運転シャトルバス運行、無信号機、無人充電・水素ステーションの設置など、モビリティの近未来社会づくりにチャレンジしてほしい。 ・災害時も電気と熱を100%供給することにより「環境性に優れ、災害に強いまちづくり」を目指すこと。新市庁舎等整備については、脱炭素のゼロカーボンを目指してほしい。 	(前ページのつづき)

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
66	80		<p>① 目で見える情報は 道光板フラット 掲示板（光） 大型？ 中型？（何か起きた時、知らせるよう に。ニュースも）</p>  <p>道通線（？） 来客が室内を通 るしるべを取り入れて下さい</p> <p>・色分けで目的に引かせるようにな れば…。</p> <p>・耳が不自由な人だけでなく、聞こえにくい人々は受付に聞けない と迷ってしまう例があったのです。</p> <p>③ 横浜市中区役所で実験中ですが、（音声変更を）“スクリーン文 字表示” 設置予定？各課に置いてくれば、たすかるかも。</p>	<p>いただいたご意見を 参考に、今後、基本設計 を策定していく中で検 討していきます。</p>

○ 施設規模/コスト・予算・財源/事業手法

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
67	7		<p>鎌倉市新庁舎等整備基本計画（素案）を読んで 以下は、本案についての概論的意見をランダムに記しました。</p> <p>1. 冒頭に新庁舎の計画の理由を述べていますが、①老朽化、②職 員数の増加による執務スペースの狭小化を挙げられていますが、① ②は曆年的に当然の現象であり、とりわけ、②については、今後の IT化、あるいは、人口減少に伴い、ソフト面として大いに考慮の必 要があるのではないのでしょうか。つまり、仕事に応じた人的確保と その充実、そして鎌倉の遺産としてのものの増加、その確保と保管 場所などをより考慮する必要があります。</p> <p>5. 「図表1-4 本庁舎の延べ床面積の考え方」について。必要機能 の計算を基本に各階のフローアは部屋の役割に応じて可変性と柔軟 性のあるパーティションで区割りすれば（防音などの装置を含め）、 臨機応変、いざというときの対応も取れ、かつ、コスト的にも（取 り壊しなど）都合が良いのでは。</p>	<p>いただいたご意見を 参考に、本事業を推進 していきます。</p>
68	14		<p>2) 建築コストかかったとしてもその後のランニングコストを抑え ることが見える化している計画が望ましいです。ズバリ人員を削減</p>	<p>庁舎の維持管理費削 減については、今後、基</p>

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			しての少人数オペレーションを実現していただきたい。	本設計及びDX支援業務を実施していく中で具体的に検討します。職員の人員数については、鎌倉市職員数適正化計画（現在は第四次まで策定）の中で検討します。
69	17	P. 49 (72, 73, 74)	施設規模について 特に職員利用スペース5, 170㎡の根拠について説明願います。 前出のサービスイメージが実現した場合のスペースですか？現状の市役所の職員数から割り出した必要スペースは何㎡になりますかこの値と職員利用スペースに乖離がある場合はその説明をお願いします。	「鎌倉市本庁舎等整備基本構想（令和元年7月）」では、職員数（座席数）をもとに総務省や国土交通省の基準や他自治体との比較で試算した床面積が27,262～32,471㎡である中、職員数にはよらず床面積約25,000～30,000㎡と想定していた規模を下限值である25,000㎡に設定しています。
70	65	概略版 P. 2	施設規模としてコンパクト化したとする新庁舎の規模(24,300㎡)の算出に当たって条件とした職員数から、現庁舎位置に設けている窓口業務にあたる職員数を割り引いた再計算を行う必要がある旨、以前のパブコメで指摘されていますが、結果はどうなりましたか？ ★余計な人数を含めて計算しているのですから、差し引けば新庁舎に必要な規模はさらに小さくなる認識です。 枠組みとして、支所のほぼ全部を集約するのではなく、基本的に深沢には全市的施設として災害対応庁舎、深沢地区に必要な施設として深沢出張所・深沢図書館・学習センター等を集約する事で、現状の案より格段にコンパクトにする事が出来、大幅な投資抑制が実現します。	更にこの基本計画では、開庁時期を見据えた来庁者数予測やテレワーク率の想定を3割としたこと、働き方などの変化をイメージした考え方を踏まえて、新庁舎部分の床面積を約20,000㎡とよりコンパクトにしており、職員全員分に応じた執務室等を設けるという考え方で床面積を定めていません。 なお、床面積約20,000㎡の庁舎を他自治体と
71	95		2 新庁舎の計画について 建物の延床面積の積算根拠がいい加減である。現庁舎10,000㎡に対し、何が不足していて、どれだけの面積が必要なのか？現に利用していて、すぐにでも求められるのではないかと、他市を参考にして、20,000㎡を導き出すというのは、ただ現庁舎が古いという事だけで鎌倉がどの様な町であるべきかが計画の根底に無いのではないのか	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
				の人口比のデータで捉えた場合、床面積約25,000～30,000 m ² と想定していた当時の計算ですが、人口14万人都市の庁舎という試算になります。このように、開庁時の詳細な職員数を捉えた床面積の考え方ではありませんが、「コンパクトな本庁舎」とした基本理念に沿った取組であると考えています。
72	86		<p>日本社会全般にダウンサイジングへと舵尾をとる時代にあって、新庁舎を中心に木質造(ハイブリット工法)により環境負荷の軽減をはかりつつ(IT、ペーパーレスオンライン、AI) デジタル社会に向けてスマートでコンパクトな21世紀に相応しい新庁舎を切望します。</p> <p>1階：図書館・学習センターと交流……。狭い鎌倉市内にあっちも・こっちにももう要らない。</p> <p>2階：手続と相談窓口はオンライン化の一層の充実と促進を行、スペースの縮小。</p> <p>3階：災害時、迅速に、連携対応できる施設へ、ライフライン7日間自走可能に。</p> <p>4～5階：執務はペーパーレス・テレワーク・IT等テクノロジーにより業務の効率を高め、職員とスペースの削減を行う。</p> <p>6階：市議会議員は1万人に1人として18人に減員。市民の声はオンライン・SNS等により議会に反映させて、議会・議員・関係者スペースの縮小。以上により、施設規模の2割縮小と施設整備費の2割削減を計る。</p> <p>財政の弾力性の向上と職員の削減をはかりつつ、テクノロジーを効率よく利用する事で市民のニーズや社会情勢の変化に応える、シンプルでコンパクトな本庁舎実現に期待しております。</p>	<p>施設規模については整理 No. 69 をご参照ください。</p> <p>本市では「鎌倉市図書館ビジョン(平成31年3月)」を策定しており、鎌倉の5地域に一館ずつ計5つの図書館を「いちばんそばの情報センター」として充実させることとしています。</p> <p>なお、いただいたご意見を担当部署と共有した上で、各機能の連携や共用化等のほか、より効率的・効果的なサービスの提供を目指して、今後、基本設計を策定していく中で検討していきます。</p> <p>また、市議会の機能に関するご意見につい</p>

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
				ては、担当部署と共有した上で、市議会と調整を図りながら取り組んでいきます。
73	46		・ PFI-BTO 方式の提案型で更なるコスト削減、民活の定借地を用意（旧庁舎跡地、鎌倉消防署跡地、体育館跡地等）	事業手法は DBO または PFI-BTO を有力と考えています。旧庁舎跡地、鎌倉消防署跡地、体育館跡地等の有効活用については、いただいたご意見を参考に、今後、具体的に検討します。
74	47		3) 予算の問題 移転計画時から「コロナ」「ウクライナ危機」「物価上昇」「円安」と状況が大きく変わりました。嵩上げ。杭打ち。土壌改良。防災整備を含めて当初予算をほぼ大きくオーバーすることは明白です。税金を投入する事業です。再度、白紙にして検討する必要があります。	施設整備費用の 170 億円（税込）については、8 月時点で約 26 億円まで基金を積み立てており、基金と市債による費用準備を考えています。補助金については、環境配慮や木質化への部分的な補助金等の活用の可能性を探索します。また、官民連携事業手法を導入することで、施設整備費の圧縮と適切なコスト管理を行います。物価高騰については、施設整備費見直しの必要性の検討も含め、今後の社会情勢等を注視していきます。
75	72	P. 95 (1) 施設整備費の構成及び概算費用	建築工事費、外構工事費、調査・設計費、備品更新費、移転費を合算した施設整備費として約 170 億円という金額が示されているが、これに加えてインフラ整備に関する経費を考慮する必要はないだろうか。洪水による浸水のリスクへの対応策として行う造成は土地区画整理事業によって行うとのことである。しかし、2028 年に予定している開庁が深沢地域整備事業用地の実質的「まちびらき」であるということは、地域全体の社会インフラ（上下水道、電力、通信網、ガスなど）が整わないことも考えられ、新庁舎に必要なインフラを部分的に先行整備する事態もありうる。そのことによる経費増（市費負担）の心配はないのか。また、新庁舎が再生可能エネルギーの多用など独自のグレードのインフラを必要とした場合、土地区画整理事業で賄われるインフラ整備の経費から上乗せ分が発生するようなことはないのか。	
76	87	P. 112	④ 本庁舎移転と整備費 170 億円という従来の試算は、実現不可能だろう。 ・ 世界情勢の悪化や国内の金融政策の失敗により、エネルギーや資材の不足、異常な円安や物価高で試算どおりに進む可能性はほとんどない。村岡新駅に要する費用を合わせると莫大、起債し、巨額の借金を未来の若い市民に押し付けるのは無謀。	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
77	95		<p>4 庁舎維持のための経費の試算は出されていますが、現在との増減対比がなく、歳入とのバランスを考えた検討がなされているのか説明の中では有りません。今でも市有財産の維持がなされていない中、経費増となる工事をしてよいのか。</p> <p>総事業費の手当てをどうするのかについても説明が無く、示して欲しい。</p> <p>5 計画中（建設中に於いても）に国の財政破綻も有り得ますが、その際はこの計画は共に破綻するシナリオも考慮されていますか。どうする積りですか。</p>	(前ページのつづき)
78	52	第6章	ここに示されている事業手法については、何度読んでも理解できず、もう少しわかりやすい説明が欲しいと思います。厩大な予算と長期にわたる維持管理に係る重要な決定事項に関することです。これに特化した説明会が開催される必要があると思います。最大の施主は一人ひとりの市民であることを忘れないで、尚一層の説明責任を果たしてください。	新庁舎の整備に当たっては、引き続き、様々な手法を活用し、市民の皆さんへの分かりやすい情報提供等に努めるとともに、新本庁の舎整備に生かせるよう、皆さんのご意見を伺いながら、取り組んでいきます。
79	74		・コンパクトと言っているが、コンパクトとは思えない。特別職 360㎡とかロッカー室 840㎡とか、多いような気がする。フレキシブルな間仕切であれば多様につかえるだろうが。	いただいたご意見を参考に、今後、基本設計を策定していく中で検討していきます。

○ 今後の進め方

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
80	51	P. 56 ~ 87	<p>○新市庁舎の計画及び設計は公開コンペで公募するのか、あるいは設計者を指名して行うのでしょうか。</p> <p>○P56 から明示されている配置計画、平面計画、断面計画は、設計者にどのような制約を課するのでしょうか。</p> <p>○配置計画、平面計画、断面計画については説明会を開き、意見募集を行うべきだと思います。</p>	設計者の選定方法及び建築計画に関する条件は、今後、具体的に検討します。
81	62		1. 新市庁舎設計者選定にあたっては、プロポーザル方式で、建築家を選んでください。史跡に建てる建物ですから、鎌倉らしさもあり、未来への可能性も感じる建築を。どこにでも見られる特徴のな	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			いゼネコン仕様の建物の設計にならないように希望します。	(前ページのつづき)
82	52		また、今後予定される基本設計案策定に向けては、必ず、有識者(含図書館や生涯学習の研究者)や障害者団体、図書館や学習センターや防災担当課の現場を支える職員や、市と協働している市民団体、地域住民やまちづくり団体、教育関係者や防災担当など、 <u>分野や立場を超えた人材を交えた委員会をたちあげ、詳細にわたって活発に議論されることを願います。</u>	基本設計段階で有識者等による委員会の立ち上げは予定していませんが、基本設計者等がどのように関係者の意見を確認しながら業務に当たるからは、今後、具体的に検討する仕様書等によるほか、プロポーザル等においても基本設計者等から提案をもらい、その姿勢を評価したいと考えています。

○ 素案に対するその他の意見

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
83	7		3. 本庁舎は、コストパフォーマンスを極力抑え、機能的で人口減少、多様化する市民ニーズ、IT化への対応をしたコンパクトな庁舎を目指すがありますが、これを実現するには、「図表 1-2 基本方針とその抽出」よりいえば、1につき、堅固な建物は必要なし(最終局面は、まず逃げることだから)。予想できる耐震、水害などの自然災害を考えたうえ、撤去を考えた(SDGs)(ゴミとならず、再生可能な)建築様式、そして市民にも愛される鎌倉の歴史を考慮した特徴あるデザインの公募。2, 5, 6に関連して、住民が最も使い勝手の良いワンストップで問題を解決してくれる行政システムの考案、この区画に生まれてから墓場までの施設(母子の保健施設、死者の焼き場)、ごみ焼却施設(住民としての基本的施設は自前で)、3. 文化施設(音楽会、劇など野外施設、多機能の施設)、4. 民の経営による集会所、憩いの場、レストランなど。	耐震性については、(平成 25 年制定)官庁施設の総合耐震・対津波計画基準及び同解説令和 3 年版(国土交通省 令和 3 年(2021 年)2 月)」に準じ、I 類・A 類・甲類の耐震性能を確保することとしています。民の経営による機能導入については、カフェ等の飲食機能やコンビニ・売店等の物販機能の導入を想定しています。 SDGs については整理 No. 65 を、デザインの公

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
				募については整理 No. 80 を、文化施設については整理 No. 26 の市の考え方をご参照ください。
84	7		<p>今後の行政の最大の役割は、オープン化した情報公開です。住民に情報を公開し、考えてもらうことが、行政にとってリスクを抱えることなく、住民からより良い回答を得られるのではないのでしょうか。</p> <p>つまり、警察機能（市民警察としての交番）、町内会との有機的な日常の取り組みを図り、もっと住民を利用して（元気な高齢者を、そして各分野の専門家集団 NPO を巻き込み）、ともにわが町を抵抗なく作り出すことが、より将来への鎌倉の発展の可能性を生み出してくれるのではないのでしょうか。</p>	<p>新庁舎の整備に当たっては、引き続き、様々な手法を活用し、市民の皆さんへの分かりやすい情報提供等に努めるとともに、新本庁の舎整備に生かせるよう、皆さんのご意見を伺いながら、取り組んでいきます。</p>
85	12		<p>当計画は深沢地区の鎌倉市新都心としてのインフラ整備と同時進行で実施されるものと理解します。</p> <p>然しながら、基本計画書の中には関係インフラの整備が、誰の費用によって、何時どの様な規模・レベルにて実施されるのかが明確になっていません。</p> <p>危惧される点は二つ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 周辺整備建設物に必要とされるインフラに比して高いレベルを求めた時の追加費用（例えば通信） 2. 敷地外で発生する鎌倉市のインフラの整備費用（深沢から山崎への下水幹線増強等） <p>いずれも、先行してインフラ整備側と交渉・情報交換の上基本計画を補強しなければ、鎌倉市民にとって「市庁舎建設に伴う・・・」追加費用の負担が起きてしまう。</p> <p>等々、基本計画がやや建物計画に偏り過ぎている様に見える。</p>	<p>深沢地域整備事業（土地区画整理事業）に伴い、必要となる深沢地区内のインフラ整備は、同事業の事業費として別途見込んでいます。このため、新庁舎等の整備はインフラ整備が完成した街区（更地）に建設をするところからの施設整備費を見込んでいます。</p> <p>なお、ご指摘いただいている深沢から山崎への下水幹線については、当地区の開発分は現行のままで対応可能と判断しております。</p> <p>いただいたご意見を担当部署と共有した上で、引き続き、深沢地域整備事業（土地区画整</p>

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
				<p>理事業)と連携を図りながら取り組んでいきます。</p> <p>なお、いただいたご意見を踏まえ、インフラ整備費を深沢地域整備事業で見込んでいる点について、表現を修正しました(基本計画P.97に反映)。</p>
86	19	P.66	<p>市役所入口に、給食の大量調理施設と同等の大きな手洗い場を設置し、来庁者が液体ハンドソープを用いた手洗い、アルコール消毒、ペーパータオルでの手拭きを手軽にできるようにする。</p>	<p>手洗い、消毒、手拭き等の感染症対策については、今後の社会動向や専門機関の見解を注視しながら、適切に対応していきます。</p>
87	20		<p>市民が新庁舎に親しみを持ち、人が集まる施設となりうるよう、庁舎外に大船駅東口交通広場同様のシンボル時計を設けること。</p>	<p>いただいたご意見を担当部署と共有した上で、庁舎外(敷地内)のシンボル時計については、今後、基本計画を策定していく中で検討していきたいと考えています。</p>
88	29		<p>地方自治法から</p> <p>第4条 地方公共団体は、その事務所の位置を定め又はこれを変更しようとするときは、条例でこれを定めなければならない。</p> <p>2 前項の事務所の位置を定め又はこれを変更するに当つては、住民の利用に最も便利であるように、交通の事情、他の官公署との関係等について適当な考慮を払わなければならない。</p> <p>3 第1項の条例を制定し又は改廃しようとするときは、当該地方公共団体の議会において出席議員の三分の二以上の者の同意がなければならない。</p> <p>2項の交通事情 他の官公署との関係</p>	<p>地方自治法第4条第2項については、昭和27年(1952年)の改正によって設けられたが、市町村の配置分合等に際して、事務所の位置の決定は最も重要な問題の一つとされることからであるそうです。</p> <p>時代が変わり交通手段が増え、便利になっているほか、行政サー</p>

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			<p>昭和 22 年法律第 67 号・・・時代が変わりました。</p> <p>交通・・・電車・バス・車・タクシー・・・当時に比べて移動が便利</p> <p>官公署・・・鎌倉市内にあるのは水道局・裁判所・・・これだけしかわかりません</p> <p>3 項の出席議員の三分の二以上</p> <p>この項目もよくわかりません・・・最低出席議員をうたっていません。</p>	<p>ビスのオンライン化も進んでいます。「住民の利用に最も便利であるように」と規定されているとおおり、全ての住民の利便性の考慮を前提とし、交通アクセシビリティ、他の官公署との関係のほか、災害（地震、津波、土砂災害等）に対する安全性、行政機能のネットワーク、立地環境などを踏まえて、総合的に判断し、「鎌倉市役所の位置を定める条例」の改正について、議会に諮りたいと考えています。</p>
89	30		<p>あわせて、市庁舎移転と共に、現鎌倉地区の公共施設、国県などの機関が、一緒に移ってしまうことのないようお願いします。例えば、銀行、郵便局、ガス水道電気などの機関、警察、税務署、商業施設の移転も困ります。</p>	
90	39		<p>p 82～84 の平面図において、組合事務所や食堂など福利厚生等の施設が明示されていません。組合事務所を本庁舎敷地内に戻す方針については、平成 27 年から 30 年にかけての労使協議を受けたもので、その後も踏襲されています。また、食堂については平成 26 年 2 月議会や平成 29 年 2 月議会などで必要性が指摘され、対応していく旨の答弁がなされています。</p>	<p>職員の食事場所については、昼食に限らず食事・休憩に使用できる場所を打ち合わせや業務・作業など多目的に使えるスペースとして設けることを検討しています。</p>
91	46		<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援施設が必要ではないか（行政職員も利用可能な学童・保育園等） ・室内アリーナは多目的とし庁舎（フリースペース）・広場と一体利用を可能とする空間広場を中心に空間に繋がりをを持たせる（例：大阪 てんしば） ・4階に見える議場、食堂（災害時にも機能）、屋上の活用（開かれた行政、市民参政） 	<p>なお、子育て支援施設や室内アリーナを設ける予定はありませんが、いただいたご意見を担当部署と共有した上で、フリースペースや広場、屋上の活用などについては、各機能の連携や共用化等のほか、より効率的・効果的なサービスの提供を目</p>

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
				指して、今後、基本設計を策定していく中で検討していきます。 また、市議会の機能に関するご意見については、担当部署と共有した上で、市議会と調整を図りながら取り組んでいきます。
92	46		・公用車の在り方→台数の削減による駐車スペースの削減一般利用も可とするリース車	いただいたご意見を参考に、今後、基本設計を策定していく中で検討していきます。
93	53		<p>この度は新庁舎パブリックコメント募集の市長の説明動画に手話通訳のワイクをつけてくださり、ありがとうございます。我が協会でも拝見させていただき、内容を理解することが出来ました。</p> <p>新庁舎建築に向けて我々聴覚障害者をはじめ、他の障害者を含めた市民がより良いサービスを安心して利用出来るようにとの願いを持っております。我が協会からパブリックコメントを提出いたします。</p> <p>また、昨年、7月の新条例に関して■■と障害福祉課と話し合いを重ねたように、今回新庁舎建築に向けて、松尾市長をはじめ、市街地整備課の皆さまとの意見交換会を実施したいと思います。実現できたら幸いです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視覚的情報ツールの配置。(各階すべて、電光掲示板、パトライト、緊急性を要するお知らせアラート、エレベータに緊急用のモニターで手話通訳や字幕等表示など。) ・聴覚障害者及び他の障害者が災害等で取り残されないように、隣接の消防署に連携するシステムを構築。 ・窓口受付のためのタッチパネル設置し、アクセシビリティを選択出来るボタンを設置。(聴覚障害者なら手話通訳か文字による情報伝達を選択する。他の障害者もニーズに合わせた配慮を選択する。) ・有人の総合受付窓口にタブレットを設置して、テレビ電話(ビデオ通話)で通訳出来るシステムを配置。(文字表示も選択出来るように。) ・手話通訳者が常駐することで聴覚障害者が安心して暮らせるような体制。 	<p>いただいたご意見を参考に、今後、基本設計を策定していく中で検討していきます。</p> <p>なお、バリアフリー、ユニバーサルデザインの導入に向け、関係者への情報発信、ご説明に取り組み、ご意見を施設整備の参考としたいと考えています。</p>

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			<ul style="list-style-type: none"> ・聴覚障害者協会の事務所や当事者の窓口となる場を設置。(鎌倉市にとって神奈川県聴覚障害者福祉センターの様な場が必要) ・高齢の聴覚障害者や、障害を持つ高齢者に特化した、専門的なデザイナーの場や、地域包括支援センターの機能を持つ場の設置。 	(前ページのつづき)
94	54	P. 3	<p>「人や民間資金を呼び込む本庁舎」 → 「人や民間資源を呼び込む本庁舎」</p> <p>図表 5-28 本事業における環境配慮の代表的な取組例</p>	「人や民間資金を呼び込む本庁舎」については、鎌倉市本庁舎等整備基本構想からの引用のため、原案どおりとします。
95	54	P. 91	<p>今後、人工的な世界の中で住んでいくときに、余裕のあるご家庭は自然に触れる機会（キャンプなどの旅行やペットを飼う余裕）があると思いますが、誰でもが参加できる「市民農園（センサーガーデン）」「ふれあい動物園（ヤギ、ポニー、猫、烏骨鶏など飼育ボランティア）」「インクルーシブプレイグラウンド」「インクルーシブパブリックスペース」「DYI スペース」は子どもたちの情操養育に欠かせないものだと考えます。</p>	いただいたご意見を参考に、今後、基本設計を策定していく中で検討していきます。
96	55	P. 91	<p>歴史的文化的環境の確保 泣塔の保全及び適切な管理</p> <p>現在、やぐら部分の落石により立ち入り禁止となっているフェンス内は、2年前まで鎌倉風致保存会のご協力もあり、当会でも「アダプトプログラム」清掃活動がされてきておりました。</p> <p>しかし、現在手つかずの状態になっております。塚がもろくなり、昨今の雨事情により、倒木などによって、泣塔に被害が及ぼす危険は考えられます。しかし、鎌倉泣塔クラブとしては、過去7年間の活動において、宝篋印塔（泣塔）は、塚（岩山）と一体となすことでそれ自身の歴史的存在意味があり、鎌倉・深沢の歴史を語っていることを実感しております。塚を壊して泣塔単体で保存するという方向性は、長い目で見ればデメリットになるでしょう。（泣塔と塚の一体性）</p> <p>現状、開発地エリアと塚周辺の植生は、海岸からの渡り鳥などによって運ばれてくるユニークな草花があり、様々な鳥、小動物や昆虫などの生物多様性の生態系が育まれています。かつて田畑だったころの名残の矢羽草なども見られることから、この土地ならではの在来種を引継ぎ、温故知新を100年、200年先の子ども達へ深沢の郷</p>	<p>本市の指定有形文化財である泣塔（土地も本市所有）は、背後のやぐらとともに保存し、新庁舎等の建物や隣接する西側エリアとの一体性を確保します。その上で、多くの方が泣塔等の文化財に親しむことができるよう活用に取り組みます。</p> <p>なお、泣塔の活用に関するご意見については、担当部署へ情報提供します。</p>

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			<p>土史として伝えられるような、触れられる自然を残していただけることを切に願います。(参照:自然保護協会 自然観察指導員 ■■氏、鎌倉泣塔クラブ会員) この泣塔の塚は鎮守の杜的役割も担うものと考えます。</p> <p>「塚」と「泣塔」という歴史的存在性が住民及び来訪者へ、温故知新の中にあるウェルビーイングを体現し、「新しい街」のコンセプト適しており、重要なアイコンとして、引き続きこの地域ランドマークになってくれるのではないかと鎌倉泣塔クラブ会員からも意見をもらいました。(太平記・梅松論)</p>	(前ページのつづき)
97	57		<p>基本構想はとてもよいと思います。</p> <p>昨年実際に訪れた岡山県高梁(たかはし)市の市役所が、羨ましいと感じたこと、思い出しましたので、お伝え申し上げます。せっかくの機会ですので、ご参考にしていただけたら、と思います。インターネット上ではあまり伝わってきませんが、海を感じるデッキ、民間のカフェ、図書館、貸スペース本屋、オシャレな空間で、職員の方々も生きいきされていました。ご参考まで。</p>	<p>いただいたご意見を参考に、今後、基本設計を策定していく中で検討していきます。</p>
98	60		<p>本構想の下、進められていく上で、今後期待したいこと</p> <p>1) 住民による運営参画</p> <p>本スペースの運営には、徹底して「鎌倉の人」という地域資源を最大限に活かすことを期待いたします。それが市に投入されたお金を外に出すことなく、地域内で循環する経済的効果を生み出すものと考えます。</p> <p>例：住民運営のカフェ、住民による緑の管理等</p>	<p>いただいたご意見を参考に、本事業を推進していきます。</p>
99	69	<p>P. 75 第 5 章 施設計画 5 - 3 各機能 部の概要 (3) 議会機能</p>	<p>→「図表 5-9 議会機能に関する検討事項」の中に『図書館の設置』とあり、これは地方自治法第 100 条 19 項の「議会図書室」を指していると思われませんが、この議会図書室の設置は極めて重要と考えます。市政の運営に際して、二代表制をきちんと機能させ議会機能の充実化を図るべきと考えます。そのためには、議員が執行部と議論するための情報力が不可欠です。議員の調査研究に資する議会図書室の設置は新庁舎において大変重要で、次世代の議会に十分貢献できるスペースと体制をぜひとも備えてください。現庁舎の議会図書室は「倉庫」状態です。議員は独自の情報収集に加え、恐らく執行部からの説明資料のみで質問づくりをしているとしたら、議員の皆さんも十分に力を発揮できません。新庁舎の議会図書室は、活用される蔵書、レファレンスに答えられるベテラン司書、データベースの導入、鎌倉市中央図書館や国立国会図書館等との連携などと連</p>	<p>図書館と議会図書室については、各機能の連携や共用化等のほか、より効率的・効果的なサービスの提供を目指して、今後、基本設計を策定していく中で検討していきたいと考えています。</p> <p>なお、市議会に関するご意見については、担当部署と共有した上で、市議会と調</p>

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			携し、鎌倉市議会の政策力・行政監視力を向上させて欲しいと願っております。なお、議会図書室について、ぜひ横浜市役所の議会図書室を視察して、レファレンス強化を検討ください。	整を図りながら取り組んでいきます。
100	93		<p>鎌倉市新庁舎が整備される事で他方の人たちが集まってくることを楽しみにしております。(今後深沢地域に住む予定なので) 以下に要望を記入しますので、よろしく願いいたします。大船や藤沢からも人が集まってきて欲しいと思います。</p> <p>①新庁舎に食堂をつくってほしい&くつろげるカフェスペースもつくってほしい。(常にみんなが行きたくなる場所にしてほしいと思う)</p> <p>②周辺にプールの施設や、トレーニングジム等をつくってほしい。</p> <p>③レンタサイクルや新駅にアクセスしやすい方法をつくってほしい。</p> <p>④イベントスペース等のもよおしものが出来るスペース(季節ごとにイベントを楽しみたい)があると楽しいと思う。(プラネタリウムや宿泊施設もあると便利だと思う) →鎌倉の名物などを販売や紹介してほしい</p> <p>⑤図書館も大和駅や海老名のような大きな図書館があると色々な人が利用すると思う。</p>	いただいたご意見を参考に、本事業を推進していきます。
101	94		・市役所に毎日食べに行きたくなる、おしゃれで安くて美味しい食堂や、広めでゆっくり落ち着ける図書館などを作ってほしい	いただいたご意見を参考に、本事業を推進していきます。
102	97		「鎌倉市新庁舎等整備基本計画(素案)」は、全体的に外来語による専門的な言葉が多くて、理解しづらいところがたくさんありました。	新庁舎の整備に当たっては、引き続き、様々な手法を活用し、市民の皆さんへの分かりやすい情報提供等に努めるとともに、新本庁の舎整備に生かせるよう、皆さんのご意見を伺いながら、取り組んでいきます。
103	99		<p>質問です。</p> <p>○基本的には新庁舎は反対です。</p> <p>☆お金をかけて新しい土地を求めるのか。</p> <p>何故 現在地で新庁舎と市民の場を作れないのか。(たとえ一時的な不便があっても理由が分かれば市民は我慢するだろう。)</p>	<p>新庁舎の整備に当たり、用地を購入する計画はありません。</p> <p>基本計画素案の作成者は鎌倉市であり、職</p>

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			<p>何故なら 目の前のことを改善してほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第二小学校が古くなっているのを新しくする ・思いもよらない災害に備え、山の整備 雨水の処理・海の砂浜が侵食されているのを阻止 ・「歴史的鎌倉」を守る（建築の発掘跡地をうまく説明し残す—発掘した家のところに写真等を載せ、鎌倉時代をしのぶ） <p>☆資金が足りなくなったらどうするのか。 ☆基本計画素案を作成した人の名前が記載されていないのはなぜか。 ☆知人の間でこの草案を知っている人はほとんどいない。市民により深く知るように、理解されるように努力しているか。市民は署名運動等、反対運動をしても市は受け入れてくれないので少々あきらめ、勝手に市が進んでいると口をはさむことはできないと思いきまされている。 ☆生涯センターに書類を取りに行ったが、受付の人は置いてあることすら知らなかった。何と言って置いていったのか。 ☆広報はいつもつまらない。逐一新庁舎に対する市民の声を載せないのか。結果報告では一方的。 尚、私の質問に対する返答は広報をお願いします。</p>	<p>員ではないため、名前を掲載していません。</p> <p>なお、意見公募手続（パブリックコメント）については、「鎌倉市意見公募手続条例」等に基づき実施しているもので、現在は、11か所の配布場所に関連配布資料を送付するルールで運用していますが、配布場所でのご案内が十分でなく、申し訳ありませんでした。</p> <p>また、広報かまくらによる情報発信についても、ご意見を参考にして工夫してまいります。</p> <p>意見公募手続（パブリックコメント）や広報についてのご意見については、担当部署へ情報提供します。</p> <p>資金についてのご質問は整理 No. 74 を、取組の周知については整理 No. 140 の市の考え方をご参照ください。</p>

○ まちづくり（深沢地域整備事業/アクセス・交通網・道路整備）

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
104	3		<p>鎌倉の市役所が移転するのに、最寄駅の名称が「湘南深沢駅」のままだと対外的にややこしくてわかりにくいし、「湘南」というワードは、世間的には茅ヶ崎市や藤沢市のイメージの方が強い）—市民</p>	<p>いただいたご意見を担当部署と共有した上で、引き続き、深沢地域</p>

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			<p>目線からもチグハグに感じられて違和感があります。</p> <p>「鎌倉深沢駅」、「鎌倉市役所前駅」など、「鎌倉**駅」みたいな「鎌倉」というワードを絡ませた駅名に変更した方が市役所移転先の最寄の駅名としてふさわしいし、市民ももっと愛着がもてるようになると思います。</p> <p>湘南モノレールと市で、駅名の改称を協議してほしいです。</p>	<p>整備事業（土地区画整理事業）や湘南モノレール株式会社と連携を図りながら取り組んでいきます。</p>
105	2		<p>本意見公募は、新市庁舎もしくは、現市庁舎の利活用に関することのみを対象としているのかもしれませんが、鎌倉市新庁舎等整備基本計画（素案）</p> <p><https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/chousyaseibi/document/s/shinchouya_kihonkeikaku_soan_pubcom.pdf></p> <p>の「図表 1-18 深沢地域整備事業の土地利用計画（案）」には、商業施設や都市型住宅等の整備が明示されているので、その点について、意見を述べさせていただきたいと思います。</p> <p>まず、商業施設ですが、ひと言でいえば、多くの人が村岡新駅を利用するような商業施設を作ってほしいと思います。</p> <p>村岡新駅は、藤沢市にできるわけで、藤沢市にできる駅になぜ鎌倉市がお金を出すのか？という批判を打ち消すことが出来るほどの商業施設を作ってほしいと思うのです。</p> <p>具体的には、</p> <p>① 2万人ほどの収容規模を誇る球技場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Jリーグ及びサッカーのアジアチャンピオンズリーグの開催が可能で、観客席はすべて屋根で覆われたスタジアム ・ コンサートを行うことが出来るなど球技以外にも多目的な用途に活用できるスタジアム <p>② アウトレットモール具体的には、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 有名セレクトショップ ・ 有名アパレルショップ ・ 大手スポーツブランド ・ 有名アウトドアブランド <p>のお店を中心とし、地場の人気飲食店がテナントとして入るフードコート併設したアウトレットモールです。</p> <p>このような商業施設が出来、村岡新駅を利用する人が多くなれば、鎌倉市が駅建設にお金を出した意義というものも生まれてくると思います。駅建設にお金を出すのは、開発のための補助金を得るのが一番の目的かもしれませんが、一般の人には、集客力のある商業施設を作るといふことのほうが、駅建設にお金を出す意義を見出せま</p>	<p>現在お示ししている土地利用計画については、まだ確定したものではありません。現在検討中です。いただいた意見につきましては参考させていただきます。</p> <p>なお、いただいたご意見については、担当部署へ情報提供します。</p>

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			<p>す。</p> <p>ちなみに、</p> <p>(1)球技場は、鎌倉市がモデルとしているシンガポールのタンピネス・スタジアムは、大変中途なスタジアムであると考えます。</p> <p>タンピネス・スタジアムは、スタンドはあるものの、そのスタンドは、メインサイドにしかありません。</p> <p>即ち、スタンドを設け、お金が掛かっているのに、それは一部分のみであり、従って、J リーグや、サッカーのアジアチャンピオンズリーグを行うことのできないスタジアムということとなり、大変中途半端です。</p> <p>もし、仮に作るのであれば、すべてのサイドにスタンドを作り、観客席を屋根で覆ってほしいと思います。</p> <p>(2)アウトレットモールは、横浜(鳥浜)、御殿場、南大沢にありますが、湘南地域にはなく、深沢にできれば、湘南の住民には大変ありがたい施設になりますし、西湘地域の東部や、県央の南部も商業圏になると思います。</p> <p>なお、具体名を出して恐縮ですが、湘南モールフィルや、ららぽーと、イオンモールのようなチープな商業施設は絶対にやめてほしいです。</p> <p>次に都市型住宅等の整備ですが、Fujisawa SST のような住宅地の整備を希望します。</p> <p>即ち、主に電力について、脱炭素、エコといったことをテーマにした住宅地とし、また、同地に湘南 T-SITE のような商業施設があれば、無味乾燥な住宅地ではない、魅力的な住宅街となるかと思えます。</p>	(前ページのつづき)
106	4		<ul style="list-style-type: none"> ・全体的な開発イメージは辻堂の駅前を想像しました。歩道も広く、公園などもあり、嫌いではないのですが、鎌倉らしく、緑を増やし、また、全体な建物の高さを抑制した品のある開発を希望します。 ・シンボル道路は作るものの、そこまでの道の混雑を心配します。大仏や八幡さま周辺ではないので観光による大渋滞にはならないと思いますが、商業地区が多いので、地元民の車で混みそう、と思っています。(藤沢の湘南モールフィルの規模感を想定してます)渋滞対策も検討ください。 ・都市型住宅は恐らくマンションと思いますが、マンションは圧迫感があるので、道路ギリギリに立てない、外構でしっかり緑をいれる、高さを適度に制限するなど工夫してほしいです。最近たてられたオイコスを見ていても、圧迫感がすごいです。 	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			<p>・住宅用地ですが、こちらは戸建てを想像しました。同じような話になってしまいますが、昨今 50, 60 m² くらいの三階建て建て売りが増えて、鎌倉らしい景観が減ってきていますので、ある程度庭が作られて、2 階建てがたてられるくらいの m² での文筆してほしいなと感じます。</p> <p>・公園やグラウンドはとてもありがたいですが、グラウンドでの試合時に駐車場も併設してほしいです。また、どこかの業務用地の建物などに入るのかもしれませんが、屋内の子供の遊び場もあるとより楽しいと思います。</p> <p>・グラウンドに少し余裕を持たせて、いまのように近隣の幼稚園、保育園の建て替え、サーカス、その他用途に使えるようにしたらいかがでしょうか？災害時にも役に立つはずです。</p> <p>・中外の研究所も戸塚に移転すると聞きました。隣ですし、まとめて開発することを希望します。大きな土地が出る度にマンションになるのは少し残念です。もちろん、研究所や工場を改めて誘致することは歓迎します。</p>	(前ページのつづき)
107	14		<p>3) 周辺の施設には収益性が高く、また、話題性のある商業施設を作っていただきたい。昨今、鎌倉は「食」で注目されているので新しい形の道の駅的な商業施設たとえば</p> <p>・新たに農業に参画した若者が販売できる場所、鎌倉でレストランを出店計画している若者がテストケースで短期間出店できるイートイン、を安価で提供</p> <p>・ハンディキャップの方が運営する SHOP、レストラン</p> <p>4) 周辺の広場、公園もデザイン性を高くして、鎌倉に訪れた観光客が必ず訪れるスポットになるようにしていただきたい</p> <p>5) ちょっと路線は外れますが、新庁舎の予算を少しでも削っていただいて、市内の電柱の地中化にまわしていただきたいです。住んでる方も観光客もみんながハッピーになるかと思います。熱望いたします。</p>	
108	31		<p>新庁舎を中心とした鎌倉市（深沢地区）再開発への要望</p> <p>①ショッピングモール（シネマコンプレックスを含む）等の新しい商業施設</p> <p>※鎌倉市は古い商店街が多く、買物には不効率で、非常に不便。</p>	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			<p>特に高齢者は買物難民が多い。</p> <p>②深沢地区の交通網の整備と共にガタガタの古い道路の改修を望む。また電柱の地中化も…。</p> <p>③市民がくつろげるきれいで整備された公園の建設 (ロンドンのハイドパークのような…)</p> <p>④一般社団法人の病院ではなく、住民と心の通う市民病院、大学病院の建設と共に最新の医療検査器具を揃えた総合健診センターの建設</p> <p>⑤美術館、博物館…等</p> <p>※千葉の幕張新都心。すその市のスマートシティのような…50～100年先にも通用するIT技術を駆使した街づくりを強く望みます。</p>	(前ページのつづき)
109	32		映画館やディズニーストア等 子どもや家族そろって楽しめる施設をつくって頂きたいです。(遠くまでいかないかと近くに無いので…)	
110	5		<p>先日、第7回 鎌倉市深沢地区まちづくりガイドライン策定委員会を傍聴させていただきました。また、私は長年観光業界(旅行会社、ホテル、リゾート不動産)に従事し、昨年末、現役を引退しました。地元鎌倉に戻り、この4月より鎌倉市市民活動センターに非常勤職員として勤務しております。その経験から意見を述べたいと思います。</p> <p>1. 深沢地区まちづくり全体の交通ランドデザインについて(主に深沢エリア、新庁舎へのアクセスについて)</p> <p>基本的に湘南深沢駅と JR 新駅からのアクセスを想定しているようですが、旧庁舎、鎌倉地区とのアクセスも考慮が必要かと思えます。バスの路線開設も視野に入れていると思いますが、それに加え、バイク、自転車、電動スクーター、電動車椅子、さらに自動運転シャトルバスなどの交通手段も想定していただきたいです。アクセス道路となる市役所通りは問題ないかと思えますが、藤沢鎌倉線は、自転車などの通行に課題がある箇所が複数ありますので、その整備も必要です。</p> <p>地区内も最初の計画の段階で、自動車、徒歩、バイク、自転車、電動スクーター、電動車椅子など多岐に渡る交通手段での移動を想定した道路、駐車スペース整備が求められます。</p> <p>また、駐車スペースも同様にさまざまな交通手段に対応した充電、水素ステーションなどの整備も考慮しないとなりません。</p> <p>さらに、観光の視点ですが、パークアンドライド用の駐車スペース、</p>	<p>新庁舎の建設予定地は土地区画整理事業として新たに道路や公園などを整備し、鎌倉駅周辺、大船駅周辺に並ぶ第3の都市拠点として、新たなまちづくりを進めていくエリアです。</p> <p>ご指摘いただいた点につきましては、現在まちづくりガイドライン等にて検討中です。いただいた意見につきましては参考させていただきつつ、取り組んでいきます。</p> <p>なお、いただいたご意見については、担当部署へ情報提供します。</p>

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			<p>そして地区から観光に出かける交通手段として、レンタサイクルや電動スクーター、電動椅子の貸出ステーションを設置したらどうでしょうか。深沢を大船、鎌倉に次ぐ、第3のアクセスポイントに出来れば、交通渋滞や電車混雑の分散化が可能です。</p> <p>観光案内所も設けたら、深沢を起点として台峯、広町、大仏などのハイキングコースも案内できますし、市外になりますが、江の島へも湘南モノレールを利用してアクセスが便利です。</p> <p>こちらも観光需要の多角化、分散化に寄与できます。</p> <p>鎌倉インテルのホームグラウンドは継続するのでしょうか？市内最後に残された広大な深沢再開発地区を観光資源化することによって、地区への観光客の流入促進、また鎌倉市全体の観光客の分散化も可能です。</p> <p>多少飛躍がありますが広大な土地があるので、外国人観光客誘致のために大型ホテルの誘致をしたらどうでしょうか。外国人観光客は、1泊だけでなく数泊してもらえ、観光素材のある鎌倉地区や江の島などへの移動距離、時間も問題になりません。外国人観光客は平日も利用しますので、平日の稼働もあがりも事業採算性が上がります。これは、遠方からの国内観光客にも当てはまります。シニア層は土曜日宿泊に限りません。地方からのアクセスには JR 新駅が便利です。</p> <p>夏に深沢地区から由比ガ浜ビーチシャトルなどの交通手段を用意したり、モノレールを活用して片瀬東浜、西浜などを紹介すれば、ビーチリゾートを求める層にもアピールできます。</p> <p>点ではなく面での展開が大切と思われます。</p>	(前ページのつづき)
111	94		<p>新庁舎の近くに住むことになっていますので、新しく出来る周辺の施設を含めて毎日訪れたいような街づくりをしてほしいです！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民のための温水プール、トレーニング室、ウォーキングやジョギングができる施設を作してほしい ・買い物ができる場所が少ないので、ららポートのような大型のショッピングモールを作してほしい（他の地域からも人を集めれる） ・水害の危険もあるのでタワーマンションを作してほしい（他の地域からも人を集められる） 	<p>スポーツ施設については、「鎌倉体育館、大船体育館、鎌倉海浜公園水泳プールを集約し、深沢地域整備事業用地に総合体育館（屋内プール併設）を新設する」とした「鎌倉市公</p>

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			鎌倉駅周辺のなどは古い歴史や文化があり「古い」イメージですが、深沢は最先端で新しい街を作って「新しい」イメージにしてほしいです！ロンドンなどもそうですが、新旧ある街の方が魅力的です。鎌倉市のイメージアップに期待します！	<p>共施設再編計画（平成27年3月）」の方針に沿って老朽化した施設の更新を効率的に進めるために鎌倉体育館、大船体育館、鎌倉海浜公園水泳プールを当該地で集約することを考えています。</p> <p>また、現在お示ししている土地利用計画については、まだ確定したものではなく、現在検討中です。いただいた意見につきましては参考にさせていただきます。</p> <p>なお、いただいたご意見については、担当部署へ情報提供します。</p>
112	9		6、交通不便の地区への配慮はお考えですか。	移転後の新庁舎周辺と市庁舎現在地周辺との交通連絡等については、関係機関と連携し、来庁者の視点に立った公共交通の確保に配慮していきます。深沢地域のまちづくりに関連した交通ネットワークについては、関係する交通事業者等と意見交換をしつつ、現在検討中です。いただいた意見につきましては参考にさせていただきます。
113	11		3. 将来的に行政手続のデジタル・オンライン化の進展に伴い、各支所での事務を削減、廃止が予想される。その時の対面相談の為にア) 住民の拠点との巡回バスや イ) P38 の基幹系 17 業務を処理できる「出前バス」を住民の各拠点に巡回させる、ことも念頭に素案を推進して下さい。	
114	30		<p>②について</p> <p>仮に、移転した場合の実質的な不利益を解消するための施策が必要です。</p> <p>交通の便が悪くなることから、自宅から（仮想）新庁舎までの交通の確保が必要です。年齢的に自動車運転免許証を返納する時期になっているさなか、自動車やバイクでの移動ができなくなる不便さ。時間的損失だけでなく、費用としても現在よりかなり負担となることは確実です。</p> <p>交通手段の確保として、JR 鎌倉駅から現本庁舎・長谷大谷戸・梶原口を経て湘南深沢駅までの交通手段の確保として、たとえば、こ</p>	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			の区間をはじめ、市内の各行政センター、公共施設間を結ぶ区間に (ア) ライトレールを敷設し頻繁に定時運行する (イ) 大型カート をまんべんなく走らせる (ウ) タクシーを気兼ねなくリクエストで きる体制を作るなど、高齢者対策は口だけでなく行動で示してい だきたいです。いずれも 65 歳以上の市民は、完全無償とすることが 絶対条件です。	<p>なお、交通渋滞に対 する懸念については、 深沢地域整備事業に関 する既往調査の交通推 計（新庁舎を含む各街 区の想定される土地利 用による発生交通量を 想定した推計）を基に、 周辺交差点の混雑状況 の検証を行い、概ね問 題はないという結果を 得ています。新庁舎へ のバスルートの確保に 加え深沢地域整備事業 区域の周辺道路整備等 について、今後、具体 的な検討を進めていき ます。</p> <p>いただいたご意見を 担当部署と共有した上 で、引き続き、深沢地域 整備事業（土地区画整 理事業）と連携を図り ながら取り組んでいき ます。</p>
115	33		3. つながる、については立地やアクセス性が悪く、また渋滞を助長 する懸念もあるため、その点こそ現在の市庁舎の利活用基本構想で 考える点ではないでしょうか？また、市の西に位置し、渋滞の多い 手広交差点手前でもある事から、アクセス性の悪さには触れられて おりません。逆に支所を拡充したり電子申請を増やして、現計画よ りコンパクトにするなど、その点十分な検討をお願い致します。	
116	39		p 24 記載の事業スケジュールによると、新庁舎開庁から新駅開業 まで 4 年の差がありますが、その間の職員の交通手段としてモノレ ールやバスの輸送能力が足りるか不安です。	
117	41		現市庁舎へ行く時は電車で鎌倉駅へ行けば年寄りでもさほど不便を 感じませんが、交通の便が不便になります。	
118	46		・新庁舎と旧庁舎跡地・拠点を繋ぐ新たなモビリティの構築、電 動バスの利用等 ・新駅から湘南深沢駅までの中央道路は歩行者専用とし、道路から 湘南深沢駅まではペDESTリアンデッキで接続（バリアフリー化と 安全性の向上）	
119	47		2) 交通の問題 新庁舎予定地に行くには、モノレールしか鉄道がありません。4 両 編成のモノレールに通勤時や帰宅時に学生や住民で現状も混雑する 上に毎日、職員や出入りの人々約 2 0 0 0 人がさらに加わることは 不可能です。市長は時間差通勤を提案して居ますが、対処方法の提 案であって、そもそも、「市庁舎は市民にとって、交通の便が最もい いところに。」という法律に反しています。	
120	53		・現在地の市庁舎から新庁舎への無料シャトルバス路線を新設。ま た、江ノ島モノレール深沢駅と新庁舎との連絡歩道の建設。	
121	62		4. 様々な世代の市民が、アクセスしやすく、利用しやすい公共交通 網の構築をしてください。観光地としての価値を保つためにも、パ ークアンドライドのシステムなどの導入など思い切った政策を官民 でできるチャンスだと思います。 簡単ですが、よろしく申し上げます。	
122	64		【課題】	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			<p>掲記の移転計画により、鎌倉市は、新駅拠点、大船拠点、旧市街地区拠点、との3都市拠点となることになるが、問題は、これら3拠点（3角形）が物理的かつ有機的につながることが大切。</p> <p>この3拠点の内、新駅拠点と大船拠点、そして大船拠点と旧市街地区拠点、とはいずれもJR、モノレール、バス等の公共交通でアクセスが比較的容易に可能。しかしながら、新駅拠点と旧市街地区拠点とを結ぶ動線については、公共交通としてはバスが辛うじてあるのみ。しかもこの間の道路は混雑時には最悪、また、JR大船駅での乗り換えには時間がかかる。つまり、新駅拠点と旧市街地区拠点を結ぶ交通インフラに問題があり、計画を進める前提としてこの問題を解決する必要が急務である。</p> <p>【対策案】</p> <p>案1) 新駅拠点と旧市街地区拠点を結ぶ公共交通の強化が必要。例えば、モノレールの新設、市電の新設、直結道路の新設（例えば現在計画道路となっている134号線由比ガ浜から北鎌倉小袋谷への混雑時抜け道計画の修正活用も含む）、バス増便等が考えられる。</p> <p>案2) 「旧鎌倉街道上の道」の復活活用。</p> <p>かつての鎌倉街道の上の道は、旧市街地⇒仮粧（化粧）坂⇒洲崎⇒藤沢方面へ抜ける道であった。これを遊歩道と自転車専用道路として、市民或いは観光客がぶらりと歩いて（または自転車利用で）新駅から旧市街地へ、“いざ鎌倉”の気分を味わいつつ楽しんで行き来できるようにする。道中、化粧坂のような急な登りに際しては、歩く舗道、ロープウェイ、電気自動車等いずれかが利用できるユニバーサルなものにする。また、途中、新駅拠点—旧鎌倉市街地区拠点の中間地点にある野村総研跡地の活用も検討する。</p> <p>或いは、新田義貞軍が海側（稲村ガ崎経由）に回ったルートも別途開発するのも考えられる。途中、“道の駅”等を設け歩く楽しみを味わえるようにする。</p> <p>以上。</p>	(前ページのつづき)
123	65		<p>本編(不足点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最寄り駅の輸送能力が脆弱 <p>以前のパブコメ時にあった、時差通勤等を行わないと市役所職員の通勤だけ(※1)でモノレールがパンクする点について、記載が無くなっているようですが、もう具体的な解決方法を示していただかないと判断が付けられない時期に来ていると思います。</p> <p>※1 深沢地域の人口増を勘定に入れないでも普通に登庁はできない。</p>	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			<p>・ 深沢地域整備事業/市庁舎の整備が行われた場合の(新駅を見込むのであればその分も)周辺交通への影響/混雑の回避策の検討がまったく示されていない。こちらも急務です。深沢地域整備事業の北側で東西に道を結んでも、渋滞が起きている大船や藤沢⇄鎌倉線へ抜ける部分が変わらないのでスループットは上がりません。新駅部分で車両が線路の反対側へ抜けられる予定がないのも深刻です。(トラヒックの抜け先が無い)</p> <p>質問: 以前のパブコメ(※2)で深沢の交通渋滞の緩和策に関して「幅員」を広くすると記載がありましたが、「車線」を増すではないと読み取りました。「幅員」を広くするとどうして渋滞が起こらなくなるのでしょうか?</p> <p>質問: 同じく以前のパブコメ(※2)で「自動運転やオンデマンドなどの新しい技術の導入等も視野に入れながら」との記載もありましたが、例えばでよいので、どんなものを導入できる可能性があり、具体的にどの地点にどのような効果を見込めるのか?</p> <p>※2 深沢地域整備事業の土地利用計画(素案)に対する意見と市の考え方</p> <p>効果の見込める解決策が出せないのであれば、このまま計画を進めてはいけないと思います。</p> <p>逆に、5章のフロアの配置設計などは必要面積を出しているのですから、後はデザイン上の問題で今後いくらかでも入れ替えが可能なので優先度は低いのです。</p>	(前ページのつづき)
124	87	P. 21 ~ 23	<p>① 予定地深沢は大半の市民にとって交通アクセスが悪くなる</p> <p>・ 地方自治法でも明記されているように、行政府の立地はすべての市民にとり交通アクセスの利便性が保障されなければならないが、深沢に立地となれば、十二所や浄妙寺や西御門や雪の下面の市民はバス・JR・モノレールと乗り継ぎ、扇ガ谷や由比ガ浜や材木座や大町や小町の住民はJR・モノレールを乗り継ぎ、七里ヶ浜や稲村ヶ崎や極楽寺や坂ノ下の住民は、江ノ電・JR・モノレールと乗り継がねばならず、現行の何倍もの費用と時間の負担が増す。</p> <p>・ 深沢地域整備事業の土地利用計画案の1-18図表によれば、ここは鎌倉市の西端に位置し、柏尾川と県道腰越大船線、南は常磐梶原線、東は大船西鎌倉線、北は幅が狭く曲りくねった市道に囲まれている。いずれも片側一車線で歩道も設備されていない狭路で、古館橋交差点、山崎跨線橋交差点、深沢小学校入口交差点、深沢交差点は常に交通渋滞で交通事故もしばしば起きている状態</p>	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			だが、川、工場群、鉄道基地、路線バス車庫、自動車学校、水質浄化センター、住宅、商店、モノレール、病院、老人ホーム、寺社、基地等が迫り、道幅を広げ渋滞を緩和するのは困難で沿線には小学校も2か所あり、本庁舎の移転により喚起される交通量の増大は危険。	(前ページのつづき)
125	93		⑥深沢小学校の交差点から古館橋の道が狭いので整備して欲しい。	
126	102		・現在の市役所のままで、移転はしない方が良い。もし新庁舎に移転する場合、現市庁舎（鎌倉）から新市庁舎へのシャトルバスを運行してほしいです。 ・安心して行政サービスを受けられない。	
127	11	P. 62 P. 68	2. 素案にない項目を提案します。 ①モノレールと新市役所をペDESTリアンデッキでつなぐ。 配置ゾーニングはA案、フロア構成はD案。 ②仮称、村岡新駅とはバス路線でつなぐ。 ③梶原川を暗渠化し、道路を拡幅する。 長谷～手広線を含む、周辺の道路を見直す。 ④柏尾川の“想定外の”氾濫にも対応できるよう、土地のカサ上げとエリア全体に「大きい貯水タンク」を設ける。 →平時の活用も考える。例、雨天時のスポーツ施設等	ご指摘いただいた点につきましては、深沢地域のまちづくりの中で現在検討中です。いただいた意見につきましては参考させていただきます。 新庁舎については、神奈川県みんなのバリアフリー街づくり条例への適合した施設とするほか、最寄りの交通機関や交通広場からのアクセスについても、いただいたご意見を担当部署と共有した上で、引き続き、深沢地域整備事業（土地区画整理事業）と連携を図りながら取り組んでいきます。 なお、いただいたご意見については、担当部署へ情報提供します。
128	20		○新庁舎ロビーは2階に設けるとのことだが、今後バリアフリー化工事が行われことが想定される庁舎最寄の湘南モノレール線湘南深沢駅との導線について、移動に制約を持つ者であっても最低限の上下移動をもって移動できるようペDESTリアンデッキ等でつなぐ設計をすること。 ○視覚障害者等が容易に市庁舎に到達できるよう湘南モノレール線湘南深沢駅改札口付近から市庁舎ロビーまで誘導チャイムを設けること。 ○路線バスで市庁舎に出向くことが容易になるよう、庁舎に結節した交通広場を設けること。	
129	93		深沢モノレールの駅にエレベーターを設置してきれいな駅にしてほしい。いまだに階段なので不便です。	
130	80		② 湘南モノレールの場合は、駅員いない各駅は、駅の音声が聞こえない。観光客とか耳が聞こえない人々でも多いそうですが。なん	いただいたご意見を担当部署と共有した上

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			<p>とか「筆談案内」を取り入れれば安心できるかも。よろしく願い致します。(兵庫県の川西市にある能勢電鉄本社でたずねてみてはいかがでしょうか。</p> <p>④ 目の不自由とか、足が不自由ある方は、ミニバスをいたら望ましいです「鎌倉市役所の前」に直行バスでお願いします。例えば、新しい駅から—大船—深沢—新設した市役所に迎えて、前のり 100 円を払い乗るが、各窓口に手続きを済ませた分の代りに証明できる印をもらい、帰りはまた 100 円を投入し、帰るようになればいいと思います。</p>	<p>で、引き続き、深沢地域整備事業（土地区画整理事業）や湘南モノレール株式会社など交通事業者と連携を図りながら取り組んでいきます。</p>
131	21		<p>4-3 配置計画に関する意見です。配置案として 4 案示されていますが、グラウンドの配置については、現在、湘南深沢駅前に設けられている「鳩サブレースタジアム」が道路からのアクセスの良さや駅前ということで、保育園児からお年寄りまで利用され、湘南深沢駅からは富士山への眺望も確保され、深沢に活気をもたらし、深沢地域住民に愛されているこの 1 年間の動きが、全く考慮されていないものと考えます。深沢らしいまちづくりということであれば、深沢の現状をしっかりと把握していただき、配置計画の前提となっている土地利用計画案やまちづくりガイドライン基本方針の見直しも含め、鳩サブレースタジアムをそのまま活用することを検討願います。</p>	<p>鳩サブレースタジアムについては、土地を所有している東日本旅客鉄道株式会社（JR 東日本）から土地区画整理事業の工事に着手するまでの暫定利用であると聞いております。</p> <p>なお、いただいたご意見については、担当部署へ情報提供します。</p>
132	23	全体	<p>市役所移転整備で 170 億円、経済の先行きが見えない中、村岡新駅との一体となる区画整理で、鎌倉市の財政負担とリスクがさらに増えるのは明らかです。</p> <p>新駅一体の計画を中止し、駅なしで成立する計画にして、税金は、「市民の暮らしを守る」ために使うべきです。</p>	<p>深沢地域の新しいまちづくりは、本市の産業基盤を強化することにより、「働くまち鎌倉」を実現し、持続可能な都市経営を目指すものです。新駅整備のみならず、深沢地域の新しいまちづくりの実現により、地域の利便性が向上し、ほかにはない魅力的な環境やまちのブランド力の醸成をはかり、その結果、土地の価値、ひいては地域全体の価値の向上がは</p>
133	26		<p>② JR 新駅建設について</p> <p>コロナ禍で人の流れは変わりました。1 日の乗降客数が予想を見込めず、誘致する企業からの法人税と地価が上がる予定の近隣住民からの固定資産税収入が、建設費の財源であるのなら、安定した収入は、予想通り見込めるのでしょうか？ 見込めない分は、市債の発行、市民税の増税という形で、私たち市民の未来に降りかかってくるのではないのでしょうか？</p> <p>東海道線の大船駅と藤沢駅を結ぶ 4 分間に、もう 1 つ駅は必要でしょうか？</p> <p>住所は藤沢市である駅に、鎌倉市が同じ比率の 4 億円を負担する必要があるのでしょうか？</p>	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
134	27		<p>・村岡新駅との一体となる区画整理で、鎌倉市の財政負担とリスクが増える。駅なしで成立する計画とすることが必要である。</p>	<p>かられると考えています。これまで以上に地域の方々が「住みたい、住み続けたい」と感じていただけるまちづくりを実現し、市民のみなさまのご理解を得ていきたいと考えています。</p> <p>なお、いただいたご意見については、担当部署へ情報提供します。</p>
135	107		<ul style="list-style-type: none"> ○ 深沢地域国鉄跡地周辺総合整備事業は、戦時中に、日本国帝国海軍の命令により、深沢村の農民から没収し、敗戦後日本国有鉄道の国鉄車両修理工場にした。日本国有鉄道民営化（昭和62年4月1日）の際に、東日本旅客鉄道（株）に15.97ha（工場地12.47ha 官舎地3.50ha）国鉄清算事業団用地8.1haに分割した。 ○ 東日本旅客鉄道（株）の工場地12.47haを工業地域から昭和62年10月16日付で工業専用地域に変更し、固定資産税を半分にした。 ○ 東海道本線の藤沢駅と大船駅の間（仮称）村岡新駅設置・駅前広場・シンボル道路は、深沢地域国鉄跡地周辺総合整備事業は、東日本旅客鉄道（株）の15.97haの土地の価値を上げるのが目的である。また、（仮称）村岡新駅設置は、神奈川県が武田薬品工業（株）新研究所を誘致する際に、藤沢駅と大船駅の間に（仮称）村岡新駅設置を松沢知事が武田薬品工業（株）新研究所の起工式に松沢知事本人が約束したことを挨拶で話している。 ○ 東日本旅客鉄道（株）が、深沢地域整備事業用地内に所有している約15haの土地の価値を上げるために、また、新駅の乗降客数を増やすために、深沢地区の国鉄跡地（東日本旅客鉄道跡地）マンション住民を増やすため、鎌倉市が深沢地区の国鉄跡地の整備を進めていた。現在、村岡地区と深沢地区を一体施行に切り替え、前述の一部の企業のために、鎌倉市が新駅設置・インフラ整備に公金を投入で進めている。 ○ 鎌倉市防災情報ハンドブックの情報では、柏尾川沿いは、洪水 	<p>浸水・洪水対策については、深沢地域の開発により周辺地域へ過剰な負荷がかからないよう、調整池の整備や、地区全体の盛土による嵩上げ等、治水対策を計画しております。</p> <p>なお、脱酸素社会の実現など、環境に配慮したまちづくりの実現につきましては、現在まちづくりガイドライン等にて検討中です。いただいた意見につきましては参考させていただきます。</p> <p>また、いただいたご意見については、担当部署へ情報提供します。</p> <p>新庁舎については整理No.162の市の考え方をご参照ください。</p>

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			<p>浸水想定区域になっている。当新庁舎予定地も洪水浸水想定区域になっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 上記のことから、新庁舎及び新たな街はつくらない。 ○ 深沢地域整備事業用地（市所有地 8ha 及び JR 所有地 16ha）は遊水地にし、平時はサッカー場、野球場にする。また、ごみ焼却施設を作り、その熱を再利用し、温暖化対策に貢献する。 ○ 国際社会の総意は 50 年までに温室効果ガス排出を「実質ゼロ」にすることだ、5月の主要7カ国（G7）気候・エネルギー環境会合でも電力部門の大部分を 35 年までに脱炭素化することを確認した。グリーン 再生可能エネルギー。 	（前ページのつづき）
136	38	P. 21	村岡新駅は新庁舎に何のメリットもないと思います。	新庁舎は、新駅設置を前提に計画しているものではありません。
137	45	P. 21	<p>素案には東海道線の新駅予定地が書かれ、「一体的なまちづくり」との表現がありますが、土地区画整理法第 6 条第 9 項には、「事業計画については、施行地区は施行区域の内外にわたらないように定め、事業施行期間は適切に定めなければならない。」との規定がある。</p> <p>東海道線の新駅に鎌倉市の区画整理事業の保留地処分金を充当することは、この法に抵触します。新駅設置を前提に新庁舎の交通体系を考えることは間違っています。</p>	<p>村岡地区と深沢地区は、2 地区併せて一つの事業として行う予定です。よって、村岡地区に設置する新駅に対し、鎌倉市が保留地処分金を負担することは支障ありません。</p> <p>なお、いただいたご意見については、担当部署へ情報提供します。</p>
138	46		・調整池の活用（単なる池としない、修景への活用・災害時の利用・消防用水等）	<p>深沢地域整備事業（土地区画整理事業）に伴う調整池の整備についてのご意見を担当部署と共有した上で、引き続き、深沢地域整備事業（土地区画整理事業）と連携を図りながら取り組んでいきます。</p> <p>なお、いただいたご意見については、担当</p>

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
				部署へ情報提供します。
139	74		<p>・ウェルネスの看板はかかげたままだが、言葉だけの「ウォークブル」「公園」というだけでなく、福祉、医療の相談や指導、体験が出来る場が必要</p>	<p>ご指摘いただいた点につきましては、現在まちづくりガイドライン等にて検討中です。いただいた意見につきましては参考させていただきます。</p> <p>なお、いただいたご意見については、担当部署へ情報提供します。</p>

【事業の進め方に対する意見】

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
140	1		<p>「鎌倉市新庁舎等整備基本計画（素案）」および「鎌倉市市庁舎現在地利活用基本構想（素案）」の両方について。</p> <p>まず、これらの計画に対して、現時点では賛成することはできません。</p> <p>その理由は、こうした巨額な市民税等をつかう大きな計画は、市議会の多数決や市長だけで決定すべきことではなく、全市民の賛否を問うた上で行われるべきことだからです。</p> <p>私は一市民として、市議選や市長選等で計画推進派の主張の一端を耳にし、また春先には地元での説明会があったことは知っておりますが（残念ながら仕事で参加できず）、これらの計画が我々市民の了承を得られたとは全く認識しておりません。</p> <p>日本の民主主義は代議制が主ですが、地方自治体レベルではもっと直接民主制によって行われてしかるべきであります。選挙で推進派が多数派として選ばれたからといって、それによって免罪符が得られたという保証はどこにもありません。政治的イデオロギーとは関係なく、行政や生活上の個々の問題点ごとに、こまめに市民の意見を吸い上げるべきです。</p> <p>鎌倉市の由比ヶ浜では、意味もない（むしろ地元へ負担がかかる、地域の商店街や文化を破壊するのみの）利権がらみ利益誘導の大型</p>	<p>新庁舎等の整備に向けた取組と併せた市庁舎現在地の利活用に向けた取組に当たり、これまで、市民対話、出前講座やふれあい地域懇談会、パブリックコメントなどの実施による市民の皆さんの意見収集や、委員会の公開、広報紙、市ホームページ、公共施設再編ニュースの発行などによる周知を図ってきたところで</p> <p>これまで関連計画の検討段階で行った市民対話で言えば、平成 28 年度（2016 年度）には</p>

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			<p>商業施設誘致の動きがあったと聞いておりますが、深沢地区の再開発もはたしてどれほどの意味があるのでしょうか。</p> <p>まず深沢地区の住民たちの意見を十分に聞いているのでしょうか。説明会で反対意見がなくとも、賛成しているとは限りません。当該地区住民の了解を得ているというような報告はどこかにあるのでしょうか。</p> <p>個人的には、一昨年でしたか、市長氏宛に、深沢地区のあの広大な広場の利用方法について、提案をしたことがあります。そのような計画はないという返事があっただけでした。</p> <p>あの広大な平地は、理想的には何も建てない（少なくとも大きな建築物はなし）で、市民のための、家族のための公園にする、寝そべりながら富士山や丹沢全山、箱根山、それに宮前の丘陵を眺められる、これだけで立派な利用価値があります。広い空間と雄大な自然景観はそれだけで価値があるものです。下手に開発してしまうと、二度と手に入らない、貴重な景観です。エコノミック・アニマルのごとき新資本主義？的な発想で、軽々に失われてしまうには、あまりにももったいない。また、国鉄時代からの横須賀線からの線路跡も残っていますが、これも、この公園に来るためのSLやトロッコなどの鉄道とか馬車道にする。周辺住民に迷惑がかからない方法で。もちろん、これは個人的な意見で、当該地域住民の意見やアイデアが何よりも優先されるべきです。</p> <p>市庁舎は古くても何の問題も感じませんが、まあそこで働いている人にはいろいろと要望もあるでしょう。それについても市民によく説明されているのでしょうか。また財源についても、市民に過分の負担がかからない保証があるのか。東京都庁のような、無意味な規模とあたりを睥睨するがごとき醜悪な奇岩城はバブルの遺物であって、必要最小限の規模にする、あるいは機能的に分散させるなど、市民感覚で構想していただきたいものです。</p> <p>別の話かもしれませんが、鎌倉を世界文化遺産に登録したければ、醜悪な電信柱を全てなくすくらいはしなければ、まず無理でしょう。世界の当該都市はどれも町全体の美的な調和がとれています。深沢地区も、あの景観こそが宝物です。</p>	<p>全5回延べ81名、平成29年度（2017年度）には全3回延べ127名、平成30年度（2018年度）には全5階107名の参加で実施を重ねてきています。基本計画の策定段階においては、グループインタビューや市民対話（第1期全5回延べ116名参加及び第2期全3回延べ83名参加）などを行い、意見収集や市民参画に努めました。</p> <p>同様にこれまで関連計画の検討段階で行った出前講座で言えば、平成29年度（2017年度）には42回延べ818名（同年10月以降分から集計）、平成30年度（2018年度）には7回209名（別途市長出前講座を4回66名）の参加で実施してきています。基本計画の策定段階においては、出前講座を8回139名の参加で実施しているほか、令和3年末（2023年末）から実施しているまちづくり計画部による深沢地域整備事業を含めた説明を自治町内会に案内しており、24回（26団体）延べ373名（令</p>
141	6	P. 75	<p>議会機能とあるが、そもそも二元代表機関である議会側と何の調整もないのに、どうしてこのような文や「検討事項」を提示できるのか。「市議会側の検討内容に基づき…」と記載されているが、議会</p>	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			<p>運営委員会で議会運営等に関する検討項目40「本庁舎等整備について」が議題となっており、今後、その中で議論の方法を含めて協議することになっている。平成30年に行われた総務常任委員会所管事務調査においても、「議会棟のあり方について」が論点の一つとされたが、整備構想段階では議論が先送りになっており、これからである。</p> <p>つまり、議会機能について、議会として同計画策定にむけた議論は未だ行われておらず、行政側から何らの検討依頼もされていないなかで、勝手に素案として作成されたと理解する他ない。全く手順が間違っており、このような前提条件を書いた素案は認められない。</p>	<p>和4年（2022年）7月末現在）の参加で実施しております。</p> <p>今回のパブリックコメントの実施に当たっては、ページ数の多い本編だけでなく、分かりやすい情報提供のために概要版を作成したり、従来の広報紙及び市ホームページの掲載に加え、SNSやメディア等を活用した情報発信による周知を図ったほか、地域ごとに説明会（各地域2回ずつ全10回89名）などを開催しました。</p>
	P. 84		<p>【6F平面図】とあるが、議場及び議員関係エリアとなっており、これもまた議会側と具体的な調整はされていない。広報かまくら6月号の2面下「フロア構成（モデルプラン）」の図を見て、驚いたところである。現庁舎において議会は2階に配置されているが、素案では最上階である。来庁される主権者の市民等から最も遠く高い位置に議회를配置することが望ましいと、行政側が一方的に示したものであると考えざるを得ない。</p> <p>以前に、議会改革を先進的に行っている他自治体を視察した際、議会の場所は市民に最も近く、気軽に往来しやすい1階であった。市議会がこれから検討しようとしている段階で、何らの配慮もせず、一方的に「市民から議会を遠ざける」ような配置案を平然と示したことに開いた口が塞がらない。「議会軽視、ここに極まれり」である。このように、手続き上の前提条件を欠いた素案は断じて認められず、責任ある対応を強く求めるものである。</p>	<p>新庁舎の整備に当たっては、引き続き、様々な手法を活用し、市民の皆さんへの分かりやすい情報提供等に努めるとともに、新本庁の舎整備に生かせるよう、皆さんのご意見を伺いながら、取り組んでいきます。</p>
	P. 118		<p>「市民共創」とあるが、限られた公募市民を対象にした「市民対話」を一面的に強調し、地域に根ざした市民との対話・合意形成を行っていないことは、市民軽視であると言わざるを得ない。上記に記載した市民代表機関の議会軽視は、市民軽視そのものである。</p> <p>本事業は、多額の税支出を要するだけでなく、鎌倉時代から今日まで続いている行政の中心地を新たな地域に変更しようとする歴史的・文化的な大事業であり、そのことへの十分な認識を欠いたまま、行政主導で進めようとしても必ず頓挫することを警告するものである。</p> <p>公共施設再編の重点事業として、後世に恥じない歴史的な責任を少しでも自覚するのであれば、コンサルや委託頼みでなく、市職員</p>	<p>なお、「鎌倉市役所の位置を定める条例」の改正については、行政実例で「市町村の事務所位置の変更に関する条例の制定時期を新事務所の建築着工前とするか、建築完了後とするかは、当該市町村</p>

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			自らが地に足を付けて歩き、各地域住民の声を真摯に受けとめ議論し、今からでも計画素案の見直しと再構築を図るべきである。遅くはない。	の事業によっていづれでもさしつかえないが、建築に必要な財源のみとおしもたない時期に制定することは適当でない。」とされているため、時期は明確にはまだ決めていませんが、基本設計を行い、施設規模や費用が固まっていく中で、議会に諮りたいと考えています（整理 No. 88 の市の考え方もご参照ください）。
142	9		5、土地の古老などの意見参考にされましたか。	議会機能や議場の位置については整理 No. 51 の市の考え方を参照ください。
143	16		<p>1. 説明会を開く意義はありますか？</p> <p>説明会に参加しました。土曜日午後にも関わらず、参加人数は 30 名以下で、平均年齢は推測するに 70 歳以上と思われます。50 代後半の小生が恐らく最年少と見受けました。活発な意見が出、議論された内容も充実していましたが、子育て世代～子供が高校・大学にいるような世帯の意見はゼロです。このような説明会の意義は、市民に広くこのプロジェクトを知らせるもの、とは決して言えず、単に、事業を推進させるための「アリバイ」作りとしか言いようがありません。</p> <p>本当に広い世代の意見を集めたいのなら、なぜ、YouTube の CM や Facebook の CM など、若年層から壮年層まで毎日見ざるをえないような媒体を通して、もっともっと宣伝して、意見を集めようとしないのでしょいか。ホームページに載せてあります、だけでは、何もしていないのと同義です。営業マンが、大丈夫、うちのホームページにちゃんと載せときましたから、と言って、椅子に座っているのと同じです。鎌倉市役所職員の年代層は、とても若返っていて、説明会の、高齢者 VS 若者ら、という図式がとても印象的だったのですが、市職員の世代層から、若年層～壮年層への食い込むための手段は、いくらでも持っていて発揮できたはず、これからもできるはず、と感じました。それをしないのは、やはり、「アリバイ」作りだからと、言われても仕方ありません。</p>	市議会を尊重し、市議会の検討内容に基づいて、方向性を検討していく考えを示しており、議会を軽視したものではありません。
144	24		パブリックコメントを求めたり、市民の声に耳を傾けると市当局は公言しているようだが、検討会などを傍聴した知人の感想では、市当局は、はじめから聞く耳持たずという高圧的な態度であるという印象を受けたということである。	
145	25		<p>市民が納得していない計画に対して市民の大切な税金を使うことには反対です。</p> <p>デジタル化などを進めて、今ある各地域の支所をなくすのではなく、住民にとっては近くて行きやすく窓口で相談できる支所として、今よりも充実させて残すべきと考えます。</p> <p>鎌倉の緑を守り、街づくりに参加してきた市民として、一方的に計画を進めるのではなく、市民参加の街づくりを切望します。</p>	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
146	26		<p>「2028年度の開庁をめざす」と聞いて、驚いている市民は、私だけではないでしょう。</p> <p>あと6年しか時間がありません。</p> <p>仮に、建設に着手して完成まで3年、計画や設計に3年がかかるのなら、2022年現時点で「新庁舎を移転する・しない」の決定が、市民の総意でなされている必要があると思います。</p> <p>しかし、市民はいまだに、老朽化による新庁舎の建設は必要だとは思いますが、現在の御成町にあるほうが鎌倉の顔になって良いと思うとか、深沢の開発で一極集中が心配だとか、大金をかける必要はなかりノバージョンはできないのか等のさまざまな意見を持ち、「でも、まだ何も決まってないでしょ?」と考えている段階だと思います。</p> <p>私は、新庁舎移転に関して、民意を問うべきだと思います。2018年に住民投票の請求がなされましたが、市議による投票で15対10の否決となり、実現しませんでした。</p> <p>松尾市長の考えは民意を反映しているのか?とえば、前回2021年の市長選で3万5801の得票です。鎌倉市の有権者数は14万9563ですが、投票しなかった方々の票と、他の2候補の得票2万5927を合わせると、市民の信任を得ているとはいいたいと思います。選挙の争点を市民に明確に示さないのですから、選挙への関心が薄くて当然です。</p> <p>もしも選挙の争点が、「市役所移転・新庁舎建設」「JR新駅建設」そして「ごみ処理場建設」の3つであり、この先10年で市民負担400億円を超える大きな事業であることを示せば、市民の関心は高まり、投票数は違ってくるでしょう。</p> <p>「市役所移転と新庁舎建設」「JR新駅建設」「ごみ処理場建設」に、この先10年で400億円超を費やしても良いのかどうか——これを、住民投票を行なって決めるべきです。</p>	(前ページのつづき)
147	27		<ul style="list-style-type: none"> ・市民の議論の積み重ねが不十分。時間をかけてでも、各種市民団体(NPOセンター登録団体等)との懇談を実施すべき。 ・市役所移転には「市役所位置を定める条例」(特別決議)の改正が必要(議員の2/3の賛成が必要)なのにもかかわらず、既成事実化するやり方は、議会無視、住民無視のやり方だ ・現庁舎の周辺住民や商店街の十分説明されていない。 	
148	28		<p>3) これほどの税金を投じる大規模な計画の内容は、もっと大々的に市民に知らせ、議論を重ねてしかるべきだと思います。</p>	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
149	30		<p>最後に、この市役所移転計画が、精神面での損失が大きいこと、実務的にも、私にとっては、何一つメリットがないこと、恩恵も得る利便さも全くありません。</p> <p>過日、子供たちがワークショップを行って、いろいろな意見、発想があつて、これらの構想が出てきたことについては、それはそれでよいのですが、置き去りにされる高齢者のことは、何一つ考慮されないまま、あれよあれよという間に計画が進められてしまったのです。市長が私たちから摂るものだけ取って、「みなさん、もう高齢なので、我慢してください!」「静かに家で過ごしてください」といわんばかりの施策です。市長の温かさが全く感じられないのは、私だけではないと思います。</p>	(前ページのつづき)
150	37		<p>基本構想(素案)以前の本庁舎移転に関し意見を述べる。</p> <p>(1) 何故市役所の場所を定める条例の改正をしないのか</p> <p>そもそも様々な意見があるにもかかわらず深沢移転を前提にして着々と計画をすすめるという手法に大いに疑問を感じている。様々な意見がある場合の最終決着は多数欠によらざるを得ない。住民投票による方法もあるが、せめて議会にはかかってもらいたい。市役所の場所を定める条例の改正を特別決議してほしい。前回(現庁舎)の場合に開所式の直前に決議を得たのだからそれを踏襲するという考えかもしれないが、あのときは議会が不審火で焼失するという不祥事もあったし、本庁舎の新築そのものに反対は少なかった。今回の深沢移転計画には反対意見があるのだから前もって議会にはかるべきだ。</p> <p>(6) まとめ</p> <p>基本構想(素案)に対する意見になっていないことは十分承知しているが、既定路線をただひたすら進むのではなく、今一度反省してもらいたい。</p>	
151	43		<p>市民が不安をもったまま、その不安に対する答えが見えないまま、ことが進んでいる。</p> <p>○経済状況が悪化していて、少子化が進む中、大金を使っていいのか?</p> <p>○そもそも、今の市役所が手狭で、高さ制限もあって大きく建て直せない、が出发点だったが。</p> <p>○各支所を完成させ、今の市役所は逆に大きくしないでコンパクトに作り直すことを考えてほしい。</p>	
152	45	P. 116	「広報かまくら」6月号には、「市役所の位置については、地方自	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			<p>治法第4条第1項により、条例で定めると規定されており、…当該条例改正の議会の議決が必要ですが、その時期は現在検討中です」とあります。説明会の席では、「基本設計が終わり、実施設計を実施する段階あたりまでいかないと、概要を議会に示せない。このくらいまでいった際に議決を考えたい」との見解を示されました。予算を次々消化した段階で特別議決に付すというのは、地方自治法違反ではないかと考えます。</p>	(前ページのつづき)
153	47		<p>4) 責任の所在の不明 当該地にハザードを無視して市庁舎を移転したとして災害が起きたり、予算オーバーした場合の「責任の所在」は松尾市長ですか？幹部や担当職員ですか？防災委員会ですか？ことが起こった時に当事者である市民に被害が及びます。 *無謀な計画に中止を要望します。</p>	
154	67		<p>又、地方自治はその地方の住民の意思に基づき行うものであるから、本件の様な多額の資金（税金）を必要とする重要案件の場合、大方針は投票により住民の理解を得た上で推進するのが本来の地方自治の姿。従い、本案件を実行するに当たり市行政はまずは事前に本庁舎建替を現在地と移転地で実施した場合の両方のメリット・デメリットをマトリックス図にして広報かまくら及び説明会を通して市民に明確に提示した上で市民投票を実行の上大方針を決定すべき。</p>	
155	77	P. 118 P. 15 P. 11	<p>H25 公共施設再編計画基本方針（案）にはじまり、H26 の素案、市民生活にとって大切な事なので、きちんと理解し、意見を出そうと冊子をしていねいに読み、パブリックコメントも出し、出来る限りワークショップ、説明会、傍聴会にも参加してきました。広報やタウンニュースで移転が決定したかの様に取り上げられ、多くの市民は困惑しています。今回も二つの分厚い冊子とパブコメ。P. 118 に徹底的な利用者目線での今後の行政サービスのあり方を具体化します、と書かれ、線引き強調されています。この事を今から本気で実現して下さい。 5 グループ計 27 名のインタビュー。公募市民 38 名（延べ参加人数 116 名）5 回。これだけで市民対話が十分だと思わないでください。不要な紙ゼロにより業務の効率化を図るという考えには反対です。莫大な税金を使っでの移転計画です。今、又コロナ・インフレ・物価値上げ。気候問題 etc. 多くの人々が生活に不安をかかえながら、けんめいに生きています。議員 2/3 による特別多数議決が必要な「位置条例」も提案されていない中、このパブコメがだされ、これらのパブコメも形だけ市民の意見を聞くという市政であってほしくはあ</p>	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			りません。	(前ページのつづき)
156	99		<p>市庁舎現所在地活用基本構想(77頁)、新庁舎等整備基本計画(122頁)を素人が読むにはページ数が多すぎる。あまりにも専門的。全てを読み終わらないのに該当ページをあげることは避けたい。今からでもできる、市民の声を書きます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎計画に市役所が一人歩きしている感がある。 ・かかる費用は市民の税金である。127億がこれで収まると思えない。この物価高、それではすまないだろう。 ・あくまでも造ってやろうと言うのではなく、市民と共に意見を交換しながらすべきではないか。その途中で意見がぐいちがっても、そこが大切なのである。市民の納得のいく方法を模索すべきだ。 ・今からでも遅くない。御意見番制度を作る。市民の中から設計者何人か、何かあった時に法的な見方をするため弁護士、全くの素人、その話し合いの結果を広報鎌倉に載せる。つまらない現在の広報を市民も興味を持つだろう。 ・結果、今までとは異なり、意見を述べやすくなり、新庁舎の理解が深まる。又、反対の意見も市は理解出来る。 ・賛否両論の市民投票を何故しないのか。 	
157	101		<p>はじめに：この計画書を作成したのは鎌倉市ですね。この事業の施主は鎌倉市民です。市民が意見を出した段階で、意見を計画にどのように盛り込んでいくのか全く見えません。意見書が提出された段階で、例えば図書館業務を熟知している現場の職員、設計者、市民との話し合いの場を作ってくださいようお願いいたします。効率を重視し、既に学習センターは指定管理者制度が導入されました。その並びで複合施設として図書館・学習センターをひとまとめに指定管理者制度導入はしないでいただきたい。</p>	
158	104	P. 8 P. 16	<p>コンパクト化、AI化、DX化と横文字が並びますが、その通りにすれば深沢も支所で十分だと思います。6F建てを税金でつくるのは無駄。JR跡地の土壌汚染は解決したのですか？これほど大事なことは、住民投票をして市民に決めさせてほしいです。条例作成を否決した市議会や市長は、本当に民主主義ですか？市民ファーストを無視しないでください。深沢の人たちは本当に歓迎されていますか？ワークショップ、市民対話の参加者約200名？少なすぎます。もっと対話集会を開いてください。</p>	
159	105		<p>土壌そのものから開発していくという大規模な工事とのことであり、そのような大がかりな計画が進められていることに気づくのが遅くなってしまいました。交通の利便性や、また、新しい駅といっ</p>	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			た様々なことが絡んでくるにあたり、透明性が求められると思います。	(前ページのつづき)
160	52	第1章 1-1 基本構 想の概 観	<p>経緯・基本理念・基本方針の中には、新庁舎の移転後の<u>深沢支所の活用</u>について、これまで全く説明がないと思います。今回は、現在地市庁舎の利活用基本構想についても同時にパブリックコメントが求められており、現在地の<u>中央図書館や生涯学習センター等の公共施設</u>の利活用についても同様です。</p> <p>新庁舎新築と現在地市庁舎改築(?)という長期にわたっての歴史的事業ですから、今後市民全体に多大な影響が及ぶことは必至です。徹底した情報公開ときめ細やかな説明に努めてください。</p>	<p>鎌倉市公共施設再編計画(平成27年(2015年度)3月)で、「遊休・余剰資産の売却等による、再編に必要な事業費の捻出も視野に入れた有効活用を図る。」としています。新庁舎等の整備や市庁舎現在地の利活用により深沢行政センターや中央図書館など集約・複合化した施設の建物や用地の利活用については、いただいたご意見を踏まえて、再編計画の方針を補足する表現に修正しました(基本計画P.29, P.33に反映)。今後、具体的に検討し、市民の皆さんに情報発信、説明を行っていきます。</p>
161	101	P.55	「市民対話ワークショップで挙げられた市民の声①」の8つの声のどれが基本計画に盛り込まれたのでしょうか。	<p>素案P.55に記載の市民の声①については、いずれの意見も参考として重視するポイントの「ユニバーサルであること(やさしい)」、「リアルな場の価値をいかすこと(つながる)」、コンパクト化、働き方などの面で基本計画に盛り込んでいます。</p>

【新庁舎の移転整備に関する意見】

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
162	9		<p>さて、新庁舎建設について、40 年在住者の意見を申し上げます。</p> <p>1、当該地は海拔が相当低い。(8～10m) 程度と思われませんが対策はいかがですか。古代の地図(鎌倉市史参照)では当地は入江でした。洲崎、大船、津などその名残です。国道 134 号線の七里ガ浜と同程度の高さです。電柱表示による。</p> <p>2、ハザードマップ不掲載ですが 20～30m の津波が相模湾に押し寄せたとき、柏尾川の海水逆流での冠水対策はお考えですか。</p> <p>3、柏尾川の豪雨など最近の氾濫の歴史はお調べになりましたか。</p> <p>4、グランドラインは大丈夫ですか。</p> <p>※【巻末資料】参照</p>	<p>いただいたご意見に対し、市の考え方として経過や検討内容に対するご理解をいただくため、これまでの経過等について掲載します。(周知や市民参加などの取組については整理 No. 140 の市の考え方も参照ください。)</p>
163	10		<p>さて、この件は市庁舎移転について時期は遅いと思いますが、私の考えを記入いたします。</p> <p>市民でも大半の方が今の市庁舎が一番良い場所と考えているようです。</p> <p>私の考えを申し上げます。</p> <p>① 今の御成町が良いと思います</p> <p>② 私の住所は寺分で深沢地区には便利になりますが、今の旧鎌倉市が一番良い処です。</p> <p>③ どうしても市長に御願いたい理由は</p> <p>1) 市庁舎を移転するには数年かかると思います。</p> <p>2) 私は現在の駐車場に新規市庁舎を建設する。</p> <p>その基礎を深く掘削すると鎌倉幕府の遺跡が出ることは誰も考えます。</p> <p>④ 現在の駐車場を直ぐ無くし、そこに新規市庁舎を建設する。文化庁で遺跡調査に数年掛かりますと思いますが、今すぐ開始したら如何でしょうか。</p> <p>⑤ 駐車場は無くして、電車、バスで数年辛抱して頂く。同じ場所に新規市庁舎ができる。</p> <p>⑥ 駐車場に面積の関係で今の市役所が移転したら、現在の市役所後に新規駐車場を作ります。</p> <p>⑦ 深沢地区に市庁舎を移転しても数年はかかると思います。</p> <p>⑧ 何処に移転しても数年が必要で、結果は同じくなり、将来的にも良いことに成ると思います。時期が遅く成りましたこととお詫び申し上げます。</p> <p>又、忙しい処失礼な言葉をお許してください。</p>	<p>○現在の市役所本庁舎の課題</p> <p>昭和 44 年(1969 年)に整備した市役所本庁舎は、整備から約 50 年以上経過し、建物や設備の老朽化が著しく、また、行政需要の増大に伴う職員数の増加等により市役所本庁舎だけでは執務スペースが不足し、分庁舎の建設や一部執務室の敷地外への移転などを進めた結果、業務の非効率化とともに、市民の利用にも支障をきたしています。</p> <p>また、平成 17 年(2005 年)までに実施した耐震改修工事により大規模な地震により、建物が崩壊する危</p>

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
164	15		<p>この意見書を手にとったあなたは旧鎌倉生まれの旧鎌倉育ちの方でしょうか</p> <p>もしも違うのならば 残念ですが私の気持ちを理解するのは難しいでしょうね</p> <p>本庁舎の定義がなんなのか 私は知りませんが市長の執務室と市議会会議場とが新庁舎にあれば</p> <p>そこが本庁舎と呼ばれそうですね</p> <p>深沢の新庁舎を本庁舎と呼ぶ、または定める、となれば私にとっては もうここは鎌倉市ではなく深沢市になってしまうのです</p> <p>判らないでしょうね この気持ち</p> <p>鎌倉が鎌倉であること つまりそのアイデンティティーですよ、本庁舎の所在地は。</p> <p>是非、三方を山に囲まれ、海に開けた旧鎌倉市内に本庁舎を置いておく、少なくとも本庁舎と定めることを検討してください</p> <p>必要ならば本庁舎と呼ばれるべくその機能を旧鎌倉に残してください 鎌倉のアイデンティティーを守ってください</p>	<p>険性は低いものの、発災後に業務を継続するために求められる耐震性能は有しておりません（現在の建物は、Is 値（※）0.6 の耐震性能を確保し震度 6 クラスの地震に際して建物が倒壊又は崩壊する危険性は低いものの、業務継続に求められる通常の 1.5 倍の Is 値 0.9 の耐震性能は有しておらず、災害への迅速な対応、被災者支援、復旧・復興など、発災後に必要となる業務を安定的に継続することが</p>
165	16		<p>2. 現在位置での、耐震強度 IS 値 0.9 への工事のみで、十分です。ブレースやダンパーが窓にもっと入ったっていいではないですか、会議室の真ん中にブレースが入ったっていいではないですか。壁が増えたっていいではないですか。人口はどんどん減少していきます。市庁舎サイズももっと小さくしていけばいいではないですか。お金がないんですから。</p> <p>もちろん、お金が余っているのなら、私はむしろ市庁舎現在地利用活用基本構想に大賛成です！とても便利になる訳ですから。ただ、単なるお金がない人の夢物語には賛成は出来かねます。</p> <p>現在のこの市庁舎移転プロジェクトの話は、私にはこんな風にしか聞こえません。</p> <p>登場人物：おじ、母、子、祖父母の 5 人家族。</p> <p>母と高校生の子と祖父母の 4 人家庭のところに、おじさんが居候してきた。おじさんは、今後一生この家に住む気などない。10 年もすれば出て行ってしまふようなフーテンの人間。でも、古くなった狭いこの家で 5 人の生活に嫌気がさしている、もっと綺麗な家に住みたい。だから、大規模修繕で莫大な工事費がかかるまで、新築から 10 年位まで新しい家で生活できたら、あとはどうなっても構わない、そんな思惑で、こんなプロジェクトを考え出しちゃった。</p>	<p>できません。) 加えて、神奈川県が公表している津波浸水想定範囲に敷地の一部が含まれているといった課題を有しています。</p> <p>こうしたことから、平成 27 年（2015 年）3 月に策定した『鎌倉市公共施設再編計画』において、市役所本庁舎は、「「現所在地建替え」、「現所在地長寿命化」、「その他の用地への移転」の方策などについて検討し、平成 28 年度末（2016 年度末）までに将来の整備</p>

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			<p>おじは、ちょっと不便だけど、広い土地で、建て替えより安くきれいなマイホームが建つから、引っ越そう！と言う。</p> <p>電車を利用して夜遅くまでパートに通ったり、高校に通う親子や、もう歩くのもやっとな友人や病院が遠くなる祖父母は、不便な所には行きたくないし、その引っ越し先は、土壌汚染のリスクが高いらしく、母親として息子や祖父母の健康被害がとて心配。しかも、うちには、すでに 850 万円の借金があり、毎年毎年死ぬ気で返済しながら、それでも家計はぎりぎり、もちろん貯金なんか殆どできない。家庭内のゴミ処理すらままならず、ゴミは家の中に溜まり出しているし、もしかしたら、深夜に他の自治会のゴミ捨て場に捨てに行かなければならなくなるかもしれない、息子の机も勉強道具もボロボロになってしまったけど、買い直す余裕がない、しかも自分の持病や祖父母の医療費や息子の教育費もこれからずっと必要で、もう日々暮らすのが精一杯な状態。おじさんのプランは、新築の家が 170 万円、そして、土地の形がよくない旗竿地なので、道路付けよ良くしたくて、土地を買い増そうとしていて、その分が 41 万円、合計 217 万円かかると言う、だけど引っ越し先に既に買い取った土地があって、それが 36 万円で売れると皮算用しているし、頭金も 26 万円たまってるから大丈夫！と言う。しかし、親子は、そんな健康被害のリスクがあるような土地で、しかも最近ごく普通になった線状降水帯にみまわれてしまえば、あっという間に氾濫しそうな川のそばの土地なんて、そんな高値で売れるはずがないと思っている。</p> <p>そして、おじさんはフーテンです。生活費は入れてくれません。家計は、母親のパートで賄っているのです。高校生だって、自分のノートや参考書を買うためにアルバイトしているのです。おじさんは、大丈夫、大丈夫、銀行が 20 年ローン組んでくれるから。だって、高校卒業すれば、あとずっと働いて、息子が返し続けてくれるじゃん。OK、OK。まあ、その頃には、このプロジェクトを考えたおじさんは、またふらっとどっかに行ってしまうと、二度と戻ってくることはありませんけど。そう言いながら、おじさんは、4088 円かけて、引っ越し先の間取りをどうしようか、吹き抜けはあった方がいいなあ、カーテンの色はどうしようか、などと、計画書を作らせて、お金を無駄遣いし、パートで疲弊している母親や、この先おじさんプロジェクトでローン地獄から抜け出せなくなるかもしれない高校生は、とても暗い顔をしています。もうだめだお母さん、早く鎌倉から出て行こうよ。そんな声が聞こえてきます。</p>	<p>方針を決定する」こととしました。</p> <p>(※) Is 値：建物の強度や粘りに加え、その形状や経年状況を考慮した耐震指標。Is 値が大きいほど耐震性が高い。</p> <p>○「移転して整備する」方針を決定した理由</p> <p>平成 27 年度（2015 年度）に「本庁舎機能更新に係る基礎調査～本庁舎整備方針策定に向けて～」を実施し、現在の本庁舎が抱える課題、求められる機能・性能、必要な庁舎面積、配慮すべき条件等の整理を行った上で、平成 28 年度（2016 年度）に学識経験者や公共的団体が推薦する者で構成する鎌倉市本庁舎整備方針策定委員会（以下「策定委員会」といいます。）を設置し、必要となる床面積 25,000～30,000 m²（総務省基準等に基づき算出）に対してどのような市役所本庁舎の整備パターンが考えられるか、「現在地建替え」、「現在</p>
166	22		新市庁舎建設には反対。	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			<p>1. 災害時に備えて海に近い御成からの市役所の移転は賛成だが、新しく豪華な市庁舎をつくる必然性が見出せない。御成の市役所で担っている機能を深沢ほかの行政センターに移してはどうか。災害時に備えるなら市役所の機能を各支所に分算した方が効率的だ。市役所も図書館も大きさや豪華さより市民のアクセスしやすさが最優先であろう。1 箇所や 2 箇所の大きな市庁舎を建造して他の支所を廃止するようなら本末転倒だ。</p> <p>2. JR 村岡新駅の建設前なので、建設後、人の流れが深沢に増えるかわからない。村岡新駅にバスターミナルをつくり旧鎌倉との交通を便利にする計画があるかどうか不明のうちは新市庁舎建設に賛成できない。</p>	<p>地長寿命化」、「その他の用地への移転」について、「防災・減災」、「機能・性能」、「まちづくり」及び「時間・コスト」の観点から検討していただきました。</p> <p>その結果、現在地での整備では、①地震等の直接的な被害による市役所本庁舎の機能停止だけでなく、道路の寸断により庁舎が孤立して機能不全となるおそれや、市域全域に対する災害への対応が困難な事態に陥る可能性も考えられ、災害時の対応力・受援力の発揮など災害応急対策活動には適さないこと。②風致地区による建物の高さ制限（10m）により高層化ができず、更に周知の埋蔵文化財包蔵地であるため地下の利用も制約を受け、市役所本庁舎としての機能を維持するために必要な床面積が確保できないこと。③建替え時に分庁舎や仮庁舎の整備や引っ越し費用等も必要となり、移転に比べ多額の費用がかかることなどから、「本庁</p>
167	23	全体	<p>深沢の区画整理地域に建物が建つ前に市役所だけが移転する計画となっており、新駅ができる前なので、周辺も空き地となっている状態が予想され、市役所として成り立つのか疑問です。</p> <p>また、位置としても、保健所や税務署、県水道営業所などから離れてしまい、市と国県の連携が損なわれるので、市の中心地から外れ、市境近くに移転するメリットはないと考えます。</p> <p>支所の廃止や支所機能の削減はどうなるのかも不明であり、むしろ支所は廃止ではなく充実すべきであって市役所一極集中ではなく、地域や市全体を元気にする計画になっていません。</p>	
168	24		<p>現在の庁舎は歴史的に見ても鎌倉市のシンボリックは中心地にある。</p> <p>ヨーロッパの歴史ある都市は旧市街と新市街とを截然と区別し、旧市街は多少の不便があっても伝統を維持することにつとめている。古都を称し、それを誇りとする鎌倉はそのような配慮が欠けている。その結果が小町通の惨状だ。そして世界遺産になれないのも、歴史的市街としての旧市街の保存、あるいはさらに進んで、その復元に意を注いでこなかった結果だろう。市役所は旧市街にあって、そのシンボルともなるべき存在であらねばならない。</p> <p>お隣の藤沢市の豪勢な市役所を見てるにつけても、古都鎌倉は旧市街に質素な存在であることをむしろ誇りにしたい。</p> <p>これからはリモートワークや IT のますますの進展にともない、大きな庁舎は必要ない、税金の無駄遣いを絶対に避けてもらいたい。</p>	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			新庁舎の深沢地区移転に反対する。	<p>舎は移転して整備する」との方針が策定委員会から市長へ提言され、平成 29 年（2017 年）3 月に「本庁舎は移転して整備する」ことを含む『鎌倉市本庁舎整備方針』を策定しました。</p> <p>○移転先を「深沢地域整備事業用地（行政施設用地）」とした理由 新庁舎の移転整備は、まちづくり、地域経済、市民サービス等に大きな影響を与えるため、広くまちづくりの視点を持って検討することが必要であることから、平成 29 年度（2017 年度）に、鎌倉市公的不動産利活用推進委員会の中で、他の公的不動産の利活用やその効果を含めて全市的な視点から適地の検討を行い、平成 30 年（2018 年）3 月に策定した『鎌倉市公的不動産利活用推進方針』において、市役所本庁舎の移転先を深沢地域整備事業用地内の行政施設用地（以下「行政施設用地」といいます。）としました。</p>
169	25	全体	深沢地域では大雨の時の浸水（盛土をすることです）や道路の状況からして交通渋滞が心配です。	
170	26		<p>それでは各論に入ります。</p> <p>①新庁舎について</p> <p>老朽化と耐震不足による、現在の市庁舎は、すみやかに手を入れる必要があると思います。</p> <p>しかし、深沢へのすべての機能を移す新庁舎構想は、リスク分散の観点から得策ではないと思います。</p> <p>市庁舎は市の顔であり、現在の御成町は鎌倉の中心地です。これを完全に建て替えてしまうと、条例により 4 階建てから 2 階建てに縮小しなければならず、埋蔵物法により、建物を軽量化する必要が生じるそうです。建て替えでは、津波避難場所としての優位性を失ってしまいます。</p> <p>そこで、現状をフルリノベーションし、鎌倉らしい外観の津波避難機能を備えた「半分（または 3 分の 1）の庁舎」としましょう。そして、もう半分が深沢の新庁舎です。深沢は、地形的に豪雨災害時に浸水の危険があると言われています。防災機能を双方に持たせることで、津波の際には防災拠点は深沢に、豪雨の際には御成町に速やかに移行し、機能停止というリスクを分散させられます。</p> <p>「新庁舎」のキーワードは、半々の丁度よさ。リスク分散、スリム化・コンパクト化。これで、双方に起きうる交通渋滞も緩和できます。新駅ありきで、深沢の開発を大規模にしようとするから、事業費が膨れ上がっていくのです。</p> <p>市役所の説明によると、新庁舎建設費 170 億円とも、深沢地区区画整理事業費 205 億円とも言われています。</p>	
171	27		<p>市役所移転に以下の理由で反対します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市役所（消防本部含む）が大丈夫でも周辺が水浸しては災害対応できない。災害が予想される地域に公共施設を建設するべきではない。 ・地球温暖化で気候が激変している。想定で計画しており自然災害に対する対応が十分ではない ・保健所や税務署、県水道営業所などが離れてしまい、市と国県の連携が損なわれる ・市の中心地から外れ、市境近くに移転するメリットはない。区画整理と新駅を成立させるためではないのか 	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			<ul style="list-style-type: none"> ・ 深沢の区画整理地域に建物が建つ前に市役所だけ移転する計画となっている。新駅ができる前で、周辺も空き地となっている状態で市役所として成り立つのか ・ 流動化が起きる地域との調査結果があるが、周辺が流動化した場合、施設への出入りができなくなるのではないかと ・ 市内全域から来庁することを考えると、現状では交通のアクセスが良くない土地である ・ 現在の市役所をリノベーションした方が経費はかからない。 ・ 新庁舎建設よりごみ処理問題など優先的に解決する事業が他に沢山ある。 	<p>検討に当たっては、原則として市有地であることや、必要となる床面積 25,000～30,000㎡の新庁舎が整備できる土地の面積を有することなどの移転整備候補地抽出の基本的な考え方にに基づき、まずは、梶原四丁目用地</p>
172	28	P. 21	<p>1) 多額の資金を新庁舎の建設に投じる必要はあるのでしょうか。</p> <p>2) p. 21 : 新庁舎建設地である深沢の、まさにあの土地に以前、住んでいました。父が国鉄に勤めていたからです。柏尾川が氾濫し、車が廃車になりました。あの周辺に昔から住む人であれば、深い沢を意味する深沢という名のある地がその名の通りの土地であることをよく知っています。水害発生の可能性の高い場所に、なぜわざわざ移転する必要があるのか。</p> <p>ゲリラ豪雨が頻繁に起きる昨今の気象状況を考慮しているのでしょうか。水害予防の措置をとるとしたら、現在の庁舎の場所よりも建設費用がかさみます。</p>	<p>(野村総合研究所跡地) 及び行政施設用地を候補地とし、市民の利便性及び全市的なまちづくりの視点から評価を行いました。</p> <p>市民の利便性の視点では、市域全体に対し効率的にバランスの良い行政サービスの提供が可能であるかの検討を行い、鎌倉駅周辺、大船駅周辺、深沢地域の3拠点における行政サービスの提供が、市民の利便性の維持とサービス提供の効率化の面で優れていること、深沢地域は人口重心</p>
173	30		<p>まず、私は他市から転入した昭和 45 年から、ずっと鎌倉を愛し続け、鎌倉市と鎌倉市民、鎌倉来訪者への協力を積極的に行ってきました。そして、当たり前ですが、市民としての義務でもある市税の納付を一度も滞納することなく、行ってきました。</p> <p>転入当初は大船で生活していましたが、昭和 54 年に市内転居し現居住地の長谷で生活しています。ここは、みどりに囲まれ、海にもほどほどの距離があり、静かで空気もきれいな場所で気持ちよく暮らしています。</p> <p>定年後は、市役所に訪れることも多くなりました。現市役所は、鎌倉駅や中心市街地までの途中にあるため、とても便利で、助かってます。なにより、現市役所は、古都鎌倉の雰囲気満ちた、市民はもちろんのこと、他市から訪れる人たちにとっても、十分印象付けすることができる場所にあります。</p> <p>市長には、市内には、この私のような「鎌倉大好きな市民」がたくさん住んでいることを知ってほしいのです。</p> <p>市長から見れば、本庁舎移転反対の市民のことを「一市民のエゴ」とずっと以前から考えていることでしょう。</p>	<p>(※) が位置するなど、行政施設用地がより多くの市民にサービスを提供することに適した場所であるとの結論に至りました。</p> <p>また、全市的なまちづくりの視点からも、</p>

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			<p>もう一度言います。私は鎌倉大好き市民の一人です。</p> <p>意見の本論については別紙で述べます。</p> <p>別紙</p> <p>まず、①反対の理由と概要を述べます。</p> <p>次に、②それでもなお、容赦なく移転計画を進めるとした場合について意見を述べます。</p> <p>また、③その他の意見を述べます。</p> <p>①について</p> <p>現在の本庁舎が建設された当時から愛着を持って市役所を利用しています。建っている場所が、鎌倉の中心市街地で歴史的にも由緒ある土地にあること。ここから別の地域に移転することは、私だけでなく、昔から本当に鎌倉を愛する市民のよりどころをなくしてしまう（魂がなくなってしまう）ということ、とても寂しく、断腸の思いであること。実際の生活面からも、今、自宅から JR 鎌倉駅までの経路にあり、定年後も、各種手続きのため、何度も訪れていること。これができなくなるので、とても不便このうえないです。証明書が発行できればよい、と安易に考えては困ります。</p>	<p>都市機能が集積する場所で行政サービスを提供することは、まちの暮らしやすさの向上、行政サービスに係るコストの削減につながることから、鎌倉駅周辺、大船駅周辺、深沢地域の3拠点で行政サービスを提供することが望ましく、また、行政施設用地に本庁舎機能を整備することで、周辺に一定の機能が集積することや賑わいの創出などを想定すると、梶原四丁目用地と比べて、今後、新たなまちづくりを進める行政施設用地の方が優位性が高いとの結論に至りました。</p> <p>更に、こうした視点に加え、行政施設用地に新庁舎が移転整備した場合、総合体育館や消防本部と連携した整備等を行うことにより、建設コスト削減や、官民連携の手法の導入による費用負担の縮減が可能になります。そして、深沢地域に新庁舎を移転整備し、深沢地域のまちづくりを推進することで、他の公的不動産の</p>
174	34	P. 95	<p>今後、少子高齢化が加速し、人口減少が顕著になるのが明白なのに財政に余裕もない市が 170 億も市庁舎建設に使うのは次世代に負担を押し付ける箱もの行政そのもので反対です。大震災による津波や温暖化による海岸浸食や海面上昇と台風強大化による大規模災害に備えるべきであり、起きると莫大な費用が必要となる。また、図書館に Wifi を入れるとか鎌倉体育館など古く、トレーニングマシンなども古いものが多く、数が少なく順番待ちとなるうえ使用料も決して安くはない。市庁舎以外にも整備、充実すべき施設やサービスがたくさんあると思います。市庁舎ばかり立派なものを建てないで、市民税を支払っているにもかかわらず市のサービスを受けるのにゴミをはじめ全て別途料金をとるような行政サービスの改善に使うべきだと思います。</p>	
175	35		<p>* 深沢地区への市庁舎移転に反対です。</p> <p>* 移転には 170 億円かかるということですが、市民税は、市民の豊かな、幸せな生活のために使うのが本来の使い方です。</p> <p>* 「子ども会館」を次々に閉鎖し、子どもたちやお母さんたちの居場所を無くしておきながら、新市庁舎を造るためには市民の納めた</p>	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			<p>税金を使うとは、どう考えても納得できません。</p> <p>* 移転のための 170 億円の市民税は、子どものため、市民のために使ってください。</p> <p>古い学校の補修、避難所に使う体育館にもエアコンを設置する、学校給食の充実、市民の活動の場であり居場所でもある公民館の運営や図書館の充実など、市民税の使い道はいくらでもあります。</p> <p>* コロナ禍で貧困に喘いでいる市民のためにも使ってください。子どもたちを飢えさせないでください。</p> <p>** 市庁舎移転を考えるより、行政がするべきことはいくらでもあります。</p> <p>誰のための市政なのか??? 市民の現状をよく見て、考え、市民のために働いてください。</p> <p>** 新市庁舎は必要ありません。</p> <p>移転より、現在の役所の仕事をもっと充実させてください。</p>	<p>利活用のポテンシャルを高め、更に鎌倉駅周辺拠点や大船駅周辺拠点それぞれの資源や魅力、都市機能に磨きをかけることで、鎌倉市全体の都市機能の強化やまちの魅力向上につながる事が期待できることから、行政施設用地を移転先としています。</p> <p>交通渋滞に対する懸念については、深沢地域整備事業に関する既往調査の交通推計（新庁舎を含む各街区の想定される土地利用による発生交通量を想定した推計）を基に、周辺交差点の混雑状況の検証を行い、概ね問題はないという結果を得ています。新庁舎へのバスルートの確保に加え深沢地域整備事業区域の周辺道路整備等について、今後、具体的な検討を進めていきます。（交通網については整理 No. 112 の市の考え方も参照ください。）</p> <p>（※）人口重心：人口の一人一人が同じ重さを持つと仮定して、その地域内の人口が全</p>
176	37		<p>（2）洪水の恐れのある深沢</p> <p>思い出すと、旧庁舎は若宮大路沿いにあったので津波の心配が明確にあった。そこで新庁舎を現在地に建設するにあたってはなるべく高台を選んだ。御成小学校の海拔では心配だということで更に高台とした。しかし、そこには諏訪神社があった。そこでおそれおおくも遷座してもらい、御成中学校を移転し、さらに池を埋め、土盛りをして現在の駐車場とした。</p> <p>今回の本庁舎移転計画のはじめの段階では現庁舎は津波被害が予想されるから別の土地を探すという話だった。しかしながら最新のハザードマップでは分庁舎のあたりが 0.5 メートル未満となっている。一方、移転先は深沢地域であり今度は水害の恐れのある場所である。私は 1970 年代を上町屋で仕事をしていたので体験しているが、数年おきに水害があった。2メートルの埋め立て地であったが水が出た。工場内にはボートまで用意されていた。土嚢をつくり、製品をフォークリフトで台にのせた。その後柏尾川の掘削により洪水はすくなくなったが、新川の合流点をみると出口が見えている。柏尾川の水位があがればバックウオータ現象で新川が溢水するだろう。笛田リサイクルセンターのところで柏尾川は大きくまがり境川に合流する。センターの前はコンクリート製の堤防ができています。これは増水したときこの地点で水位が上昇する可能性に備えているのである。旧国鉄跡地は最新のハザードマップでは3メートルの浸水可能性ありということになっている。新庁舎はモノレール側の高台だから大丈夫だ、もしも心配なら土盛りするとの考えのようだが、</p>	<p>域整備事業に関する既往調査の交通推計（新庁舎を含む各街区の想定される土地利用による発生交通量を想定した推計）を基に、周辺交差点の混雑状況の検証を行い、概ね問題はないという結果を得ています。新庁舎へのバスルートの確保に加え深沢地域整備事業区域の周辺道路整備等について、今後、具体的な検討を進めていきます。（交通網については整理 No. 112 の市の考え方も参照ください。）</p> <p>（※）人口重心：人口の一人一人が同じ重さを持つと仮定して、その地域内の人口が全</p>

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			<p>柏尾川側の県道は水没するので新庁舎は山側からしかアクセスできない。防災拠点として消防本部を市庁舎と統合するとのことだが危機管理の考えでは分散しておくほうがよい。最新のハザードマップで再評価するべきだ。</p> <p>(3) 旧鎌倉地区こそ行政の中心地である。</p> <p>歴史を振り返ると、旧鎌倉地区は奈良時代から行政の中心であり国衙の跡もみついている。鎌倉時代はもとより室町時代にあっても関東地方の行政の中心地であった。</p> <p>明治になって御用邸ができたり、別荘地になったり、海水浴の普及やサナトリウムなど保養地として、そして勿論観光地としての発展もあった。旧鎌倉を中心に周辺の村が合併して現在の鎌倉市が誕生したことはいうまでもない。横須賀線の鎌倉駅の近くに市役所があって何が悪い。旧鎌倉地区の住人としては市役所を深沢へ移転するなどのもってのほかである。</p> <p>(4) 現本庁舎は強固な地盤の上にある</p> <p>ところで、鎌倉市の発表する震度情報は大抵震度1となっている。これは現庁舎が地震につよい強固な地盤の上にたっていることを示している。御成山の一部を削った地形の影響であろう。液状化などの心配はない。現在の建物は耐震指標(Is値)が不足しているというが、強固な地盤の上にあるので、震度は1以上減少するのではないか。</p> <p>それに比べて深沢は柏尾川の氾濫区域で田んぼだったところなので、地盤強度はもともとないと思われる。長い杭をうつから大丈夫との説明ではあろうが費用がかかる。</p> <p>現庁舎の最大の課題として電源設備水没の可能性が指摘されていた。確かに現在の電源設備は地下設備なのでその通りであろう。それならば御成山に受電設備を移設したらよい。美しいやり方ではないが機能的には大丈夫だろう。知恵をだしましょう。</p> <p>(5) 再度現在地での建て替えを検討してはどうか</p> <p>現庁舎を作ったとき、次の建て替えについてどのような議論があったか私はわからない。しかし、第一に検討すべきは現在の駐車場の位置に新庁舎を建設することである。</p> <p>この案に対し、遺跡調査に時間がかかることと、建物の高さ制限の問題があるとのことで、早々と立ち消えになった。しかし遺跡調査は永遠につづくわけではないし、高さ制限対策にしても解決策はあるだろう。先人は諏訪神社を遷座するという事までしているがそうした発想が現在進行中の深沢移転計画には見受けられない。</p>	<p>体として平衡を保つことのできる点。</p> <p>○施設整備費などについて</p> <p>施設整備費用の170億円(税込)については、8月時点で約26億円まで基金を積み立てており、基金と市債による費用準備を考えています。補助金については、環境配慮や木質化への部分的な補助金等の活用の可能性を探索します。また、官民連携事業手法を導入することで、施設整備費の圧縮と適切なコスト管理を行います。物価高騰については、施設整備費見直しの必要性の検討も含め、今後の社会情勢等を注視していきます(整理No.74の市の考え方より)。</p> <p>本事業については、前述のとおり市役所本庁舎の課題解決のため、市役所第3次総合計画第4期基本計画(令和2年(2020年)4月策定)に基づき取組を進めています。施設整備費や他の計画・事業について、本事業</p>

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
177	38	P. 1	現庁舎が老朽化して、移転せざるを得ないことは、理解できますが、移転先の深沢用地が果たして災害に耐えられるのか、不安です。	を進める中で引き続き、連携・調整を図っていきます。 ○災害リスクについて 移転先の決定後、行政施設用地の防災面に 関する不安の声があったことから、令和元年（2019年）7月に策定した『鎌倉市本庁舎等整備基本構想』の検討に当たり、改めて、最新のデータを用いて、 防災面に関する再検証を当時行いました。 本市では、地震によって引き起こされる建物や施設の被害に加え、津波や土砂災害、液状化、大規模降雨による洪水浸水や内水氾濫、土砂災害等が災害のリスクとして想定されますが、災害リスクが全くない場所は存在しないため、比較的災害リスクが少ない場所で、それにどう対処できるのが重要であると考えています。 新庁舎の移転整備先としている行政施設用地は、津波による浸水については、『鎌倉市津波ハザードマップ（平成25年（2013
178	41		○以前神奈川県が発表した災害マップに新庁舎建設地域は浸水する地域に入っていたと記憶していますので心配です。	
179	43		○深沢という場所の不便さ、水害の危険など、どう考えてもいい場所ではない。 ○市議会も移転するのか？市民が見守るには不便すぎる場所！	
180	45	P. 26, 58	<p>素案は新庁舎に「防災拠点機能」を導入すると記載していますが、令和2年（2020年）4月に公表された「鎌倉市洪水ハザードマップ」では0.5m～3.0mの浸水想定区域に指定されています。このような場所に新庁舎をもつてくること事態、実におかしい計画といえます。まして浸水地域に「防災拠点機能」をおくことは非常識の極みです。「ハザードマップ」は、1000分の1確率（1000年に1度）の降雨を想定しているの、実際にはおこりえない被害だと市側は説明会で述べています。しかし、浸水想定基準とした24時間雨量632mmの降雨は、地球温暖化の影響でかなり起こりうる被害となっています。令和元年10月12日伊豆半島に上陸した台風19号は、箱根町で1000mmを超える降雨を記録したほか、東日本を中心に17の地点で500mmを超える大雨となりました。このように、線状降水帯の豪雨災害が日常的に起こり得る現状をかんがみると、洪水浸水想定区域に新庁舎を建てる計画は見直すべきです。</p> <p>「災害リスクの整理」の項には、「特定都市河川に指定されている」とあります。特定指定都市河川浸水被害対策法では、特に浸水被害が発生する危険な河川流域を都道府県知事が指定し、被害の防止のための対策を講じるとしている。柏尾川に通じる境川が神奈川県では平成26年6月にこの特定都市河川に指定されています。「著しい浸水被害が発生するおそれがある」として基本的には流域の開発を抑制し、親水公園等を整備すべき場所と考えるよう、国道交通省も指導しています。このような場所に新庁舎を建てることは見直すべきです。素案は「対応方針」として浸水高（東京湾平均海面以上）を床の高さにすると記載しているが、液状化にも対処するには、杭打ち等の甚大な経費が必要です。約170億円という費用では足りないと考えます。ましてロシアとウクライナとの紛争勃発で建設資材が高騰しており、事業費がさらにかさむことが予想されます。</p> <p>前出の「対応方針」には盛土造成も含まれると認識するが、熱海の土石流災害を受けて、国は令和4年3月に宅地造成規制法の一部を改正する法律案を閣議決定し、令和4年5月20日には新たに盛</p>	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			土規制法を成立させ、危険な盛土を包括的に規制するとしています。都道府県知事が規制区域を指定し、安全対策を講じるよう指示を強化しました。こちらも、大規模な盛土をともなう新たな開発は抑制するとの趣旨です。盛土をして新庁舎を建設する行為は、この国の方針にも背くものではないでしょうか。	年) 3月(令和2年(2020年)4月改定)』及び『神奈川県津波浸水想定図(平成27年(2015年)3月)』を基に当時検証を行っており、想定はありません(改定版でも影響に変化なし)。なお、「e-かなマップ」によれば敷地の一部で液状化の危険度が高い箇所が存在していますが、過去に行政施設用途内の泣塔の南側
181	47		問題点は多々ありますが、絞って明記します。 1) 防災上の問題 新庁舎予定地の深沢地域は「特定都市河川」柏尾川の流域です。気候変動、異常気象の現代においてハザードが明示されている場所にわざわざ市庁舎を移転することは無謀です。他の市町村ではハザードの出た地域から移転している現状に逆行しています。 →都市計画上の防災基準ではない「河川の整備基準」を当てはめて、「想定されるハザードの半分の数値で都市計画する」ことは詭弁です。(この河川の整備基準ですら県の土木課はとりあえずの基準と言っています)	付近の地点で行った調査では、液状化の可能性はないと判定されています。 洪水による浸水につきましては、『鎌倉市洪水・内水ハザードマップ(平成22年(2010年)3月(それぞれ令和2年(2020年)4月改定))』及び『境川水系洪水浸水想定区域図(平成30年1月神奈川県)』を基に当時検証を行い、移転先において計画規模(24時間積算雨量:
182	49		○問題はそもそも移転先のハザードが新しく神奈川県から出ていたのを市民に隠して「古いハザードで、市が移転を行政決定したのち発表した」事です。その後市民に新しいハザードを指摘されて公になり、市長が謝罪しましたが、古いハザードで決定した計画自体を見直さなかったことです。 ○また、御用学者を使い1000年に一度しかないハザードだから安心というフェイクで計画を進行しています。 ○各委員会や市議会でもさまざまにリスクが語られずに、経済発展をお題目に計画進行しているのを5年間にわたってみてきました。全てデータをフェイクのまま、計画進行するための言い訳を積み上げるだけの鎌倉市の体質に、ほとんど、いや気がしました。正確なデータで、白紙に戻して、市庁舎移転を再検討すべきです。	302mm:年超過確率1/100)では、浸水はないと想定され、想定し得る最大規模の降雨(24時間積算雨量:
183	50		「正確なハザードデータで、白紙に戻して、市庁舎移転を再検討してください。」当該地にハザードを無視して市庁舎を移転したとして、災害が起きたり、予算オーバーした場合は私たち若い世代にツケが回ります。ことが起こった時に当事者になるのは若い世代です。 *無謀な計画に中止を要望します。	
184	58		松尾市長の新庁舎移転についての動画拝見し意見を述べさせていただきます。松尾市長説明の移転理由は、東日本大震災、熊本地震の経験から市民生活を守るためには災害時の市庁舎機能を維持事が必要でその為に移転が必要と理解しました。また市庁舎機能を維持するために消防署と統合すると理解しました。	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			<p>以下意見です。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 先ず新市庁舎建設及び移転費用について、市の財政面で将来に大きな負担を残さずに実行できるのかもっと詳しく情報発信をお願いします。新庁舎が出来上がっても災害が来る前に市の財政が破綻したら意味がありません。 - 地震の大きさによっては新庁舎も被害を被り機能を果たさない可能性も十分にあります。このため、現在の市庁舎を丸ごと移転させるのではなく災害時のコントロールタワーとして必要な機能だけを新庁舎として建設・移転させ新庁舎の建設費用を抑える施策の検討をお願いします。 - 鎌倉市17万人の人口分布（どの地域にどれぐらいの人が住んでいるか）の観点から深沢への新庁舎移転が妥当なのかの説明をお願いします。災害時のコントロールタワーとしての新庁舎が人口が集中している場所から離れた場所であったり、人口が集中している場所から徒歩でいける場所にあるべきと考えます。 - 地震災害発生時に旧鎌倉エリアへの物資運搬のリスクについて検討されているでしょうか？トンネル陥没などにより、旧鎌倉エリアに物資が運ばなければ新庁舎が機能していても市民の生命を守ることはできません。新庁舎建設より前に災害発生時の道路インフラの壊滅のリスクを考慮して、旧鎌倉エリアに通じるトンネルの補強にお金をかけるようお願いします。 	<p>632mm：年超過確率1/1000)では、敷地の大半で0.5m未満や0.5m～3.0m未満（土地区画整理事業による造成後は0m～1.5m程度）の浸水が想定されています（改定版でも影響に変化なし）。なお、想定最大規模の降雨があった場合も、境川水系柏尾川が掘込河道であることから、浸水が広がるスピードは緩やかだと考えられ、浸水継続時間が12時間未満でることなどから、災害対応は可能だと考えています。また、想定される災害については、深沢地域整備事業用地で予定している区画整理事業における造成に加え、建築時の外構工事（整地等）等により対策も講じていきます。具体的には、想定最大規模の降雨があった時にも浸水することがないよう、想定の上浸水高以上に1階FL（床の高さ）を設定するほか、設備機器の配置や出入口の位置等への配慮、止水板の設置等の検討など</p>
185	65	<p>概略版 P.1 4-2 災害リスクの整理 図表 4-3 災害リスクの概要 ④洪水による</p>	<p>まもる～災害に強くなります～</p> <p>「大地震発生時も災害対応拠点として機能」新庁舎としてすべての機能を集中させるは危険です。水害時に対しては脆弱になりますが、どうするのですか？（主に地震に対する）災害対応庁舎をつくれば、はるかに安価に記載のような目的を果たせます。</p> <p>・敷地の大半で0.5m未満や0.5m～3.0m未満（土地区画整理事業による造成後は0m～1.0m程度）想定最大規模降雨の前提である「過去に観測された最大の降雨量」を上回る降雨が発生について考慮は不要でしょうか。「想定外の」という意味ではなく、現在の降雨量想定（の算定）にあたって考慮されていない「気候変動要因」分や、まだ入っていない、ここ数年で連発している過去最大の観測データ等がフィードバックされることにより、今後（数年後には）より大きな降雨量と頻度が想定として入ってくる事を考慮すべきです。（つまり、「現在の年超過率1/100年の降雨に対応」では確実に不足です。）</p>	<p>備事業用地で予定している区画整理事業における造成に加え、建築時の外構工事（整地等）等により対策も講じていきます。具体的には、想定最大規模の降雨があった時にも浸水することがないよう、想定の上浸水高以上に1階FL（床の高さ）を設定するほか、設備機器の配置や出入口の位置等への配慮、止水板の設置等の検討など</p>

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
		浸水	<p>→ 「想定降雨量が大きくなったので造成(=盛土)の量を増します」は治水計画として、過去に繰り返されてきた悪循環です。それを断ち切るために浸水想定地域に対する盛土は避けるべきだという流れになっています。</p> <p>質問：盛土をすることによる周辺や下流地域への影響についてのアセスメント結果を示してください。(防災部会の先生の言葉ではなく、定量的なデータによる資料が必要です。)</p> <p>質問：盛土により深沢地域整備事業地区の周辺だけでなく、下流の藤沢市(鶴沼の辺り)の被害が大きくなりそうですが、そちらへ住民への説明や意見聴取は進んでおりますでしょうか。(一向に進捗が見えないので教えてください。)</p> <p>質問：水害発生時に周辺や下流地域の方々に対し、何がしかの保証等は考えていますか？</p> <p>今週始め(2022/7/4~5)高知県で線状降水帯が発生し浸水被害を出しましたが、やはり気象庁はその発生を予測できなかったそうです。結局「線状降水帯による非常に激しい雨が続いています」と発生後の発表。これでは浸水地帯の住人の安全な避難というのは夢のまた夢です。大きな水害になるような大雨の場合、そのレベルの雨が降り始めてからでは昼間でも目の前が真っ白になって先が見えない等、避難する事も危険になる(※3)のです。</p> <p>※3 実際に静岡県治水交流資料館でお聞きした内容です。</p> <p>質問：以前のパブコメの回答を見ていると、事前に避難の必要な降雨がわかる前提を置いているようですが、どのような予測手段を想定していますでしょうか。(川の増水を見ていると逃げるタイミング逸する。)また、説明会でも造成後の「0.5m~3.0m 浸水」を「0.5m~3.0m 浸水することになっている程度」と発言されているようですが、浸水深は 3.0m、確率は 1/1000 年というのは災害(の規模)の固定化という問題のある現象です。御自分で思っているだけなら自由ですが、市民にそのように説明するのは非常に問題です。</p>	<p>も行いながら計画していきます。</p> <p>その後も『鎌倉市土砂災害ハザードマップ(平成 24 年(2012 年) 2 月(令和 4 年(2022 年) 1 月改定))』による土砂災害警戒区域(特別警戒区域)や高潮浸水想定区域図(令和 3 年(2023 年) 8 月神奈川県)による高潮浸水想定区域などの災害に関する新たな情報の確認を続けており、引き続き、確認していきます。</p> <p>これらの経過等があったこと及び基本計画にご理解願います。</p>
186	67		<p>本庁舎建替えは現時点ではまだ何も決定していないのに移転ありきで新庁舎等整備基本計画を策定するのが理解出来ない。2017 年に実施された鎌倉市本調査整備方針に対するパブリックコメントにおいて法令を変えて現在地に新本庁舎を建てる提案が提出されているにも拘わらず市行政内で検討された形跡が見えない。条例(第三種風致地区の高さ制限)の改訂及び用途地域の変更さえすれば現本庁舎土地内に新本庁舎を建設することは充分可能。</p>	(前ページのつづき)
187	73	全体に	<p>①市役所は、鎌倉の中心地。今の場所に建設した方が良い。深沢は</p>	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
		関して	<p>浸水地域である。盛土をしたり、水害対策をとるとの事だが、費用が生じる。</p> <p>②立派な市庁舎より、市民生活の安心、安全に税金を使って欲しい。 例：体育館の避難場所としての整備（エアコン設置）。道路のデコボコの修理。危険である</p>	
188	75		170 億のお金をかけて新庁舎を建てるより各地域に子供、高齢者の居場所を作ってほしい。	
189	76	全体に 関して	<p>資料の一つ一つに意見を出すことはできません。わかりにくいです。市の財政がなくて予算がたてられないという理由で、地域の緑地、かけ地の草刈りなどが数年に 1 回になっています。又、地域の子ども開館の閉館も次々で、市民が歩いて行ける場所に市役所の機能があり、市民の相談に対応してくれる市の職員がいることが市民にとって理想です。市民の居場所も各地域に分散していることが望ましい。</p> <p>深沢地域に多額の税金を使うことで、市内の様々な市民からの要望が後まわしになってしまうのではないかと不安です。</p> <p>深沢への新庁舎移転には反対です。</p>	
190	78		<p>市庁舎を盛り土の上に建設するという計画を知った時、市民が水害で苦しんでも庁舎さえ安泰ならよい—という冷酷さにおどろきました。若し自宅が庁舎周辺にあったとしたら、平然とみていられるでしょうか。</p> <p>民主主義はフラットな人間関係、憲法 14 条にあるように平等です。災害に対しても、庁舎と同様に市民の生活場所は護られねばならぬと思います。市街地全域の防災が先づ第一で、そうすれば庁舎をお城のように高くする必要はなくなります。</p> <p>私事ですが、現在膝を痛め、杖を使用しております。市街地から高い庁舎まで登らなければならないとすれば、大変な思いをするかと。更に車椅子の方はどうなるのか？という心配はつきません。</p>	
191	79	P. 1-5 P. 66	<p>基本構想を含め、深沢への移転は問題が多すぎる。</p> <p>1. 深沢へのアクセスと道路問題。鎌倉は道路事情が悪く、バスの便も悪い。サービスを考えるのであれば、現在地の方が全市的には利便が良い。</p> <p>2. 地震・津波の他の水害が最近は多くなっている。深沢は水害に弱い。かなりの盛土が全域に必要で建設費がかかる心配。</p> <p>3. 新駅と連動した計画に問題がある。反対である。</p> <p>4. 少子化高齢化に必要な自治体の住民サービスのあり方は、拠点化ではない。オンライン手続きやオンライン相談にサービスを移す</p>	(前ページのつづき)

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			ことでは行政サービスは不十分。併用を計りつつ、専門知識を有する職員（正規）を育成して欲しい。	
192	81	全体に関して	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少が続く今、大規模開発をし、大規模な施設をつくることは必要とされていない。 ・新しい所には、市の機能を分け、例えば教育関係の施設を持っていくなどする。 	
193	82		<p>二度目の幕府滅亡は避けよ</p> <p>基本計画素案が、本庁舎移転の理由としてあげるのは</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 現在の本庁舎が老朽化したこと。 ② 新たな機能の充実に対応できないこと。 ③ 地震、津波などの自然災害への対策不備。 <p>の三点である。しかしそれらは現在の場所から深沢という場所に移らなければならない決定的な理由とはとうてい考えられない。何よりも現在の場所から離れるという、歴史的な意味は問われていない。機能や防災と言った理由のみで進められようとしており、現在の位置に固執することは単なるノスタルジックな感情にすぎないとして無視されている。</p> <p>深沢の再開発が必要であることは現実的な要請から当然であろう。しかしだからといって「市役所」を深沢に移転させなければならないとはならない。馬鹿馬鹿しい懐古趣味と一笑されることを覚悟で、あえて市役所は現在の場所に残すべきであると主張する。</p> <p>現在の場所が古代の鎌倉郡の郡衛が置かれたところであり、鎌倉時代には幕府の中心地に近く、問注所が置かれていたともされている。近代には玄関口鎌倉駅に近く、しかも繁華ではない所に位置し、実に古都鎌倉の中心地としてふさわしい。一方、深沢は歴史的に見て鎌倉とは残念ながら言えない。市役所は現地点にあってこそ、まぎれもなく「鎌倉のヘソ」にあるといえる。</p> <p>市役所の深沢移転が、現在地の持っている歴史的な価値の継承を断ち切ることになるということを松尾市長とこの計画を推進している市幹部諸氏は理解し、覚悟をしているのだろうか。</p> <p>市役所移転を利便・防災などの面だけですすめることに一市民として割り切れぬ思いを抱いている。今年は鎌倉殿がテレビで取り上げられているが、幕府滅亡から 689 年、計画が進んで市役所移転が実現する頃には 700 年になる。深沢に遷ることは歴史的には鎌倉を離れることであるから、鎌倉は 700 年にして二度目の幕府滅亡となるのである。松尾市長に最後の将軍となる自党と決意ありや。</p> <p>単なる老市民のたわごととうけとるなかれ。市役所移転は鎌倉の歴</p>	(前ページのつづき)

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			<p>史の重みと市民のこころのありようを無視すべきではない。若い鎌倉市民にもけして便利さや新しさだけで庁舎移転を考えるべきではない、と理解してほしい。</p> <p>後の時代の鎌倉市民に、なぜあのかき鎌倉の地から市役所を移したのかと、悔やまれるときのために、市民の意見にこのような反対意見があったことを残しておいてもらいたい、と考えてパブコメを提出する。</p>	
194	83	<p>P. 21-23</p> <p>P. 28</p> <p>P. 58</p>	<p>このたび市から提示された整備基本計画（素案）には賛同できません。</p> <p>1 深沢は大半の市民にとって交通アクセスが悪くなる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地方自治法でも明記されているように、行政府の立地はすべての市民にとり交通アクセスの利便性が保障されなければならないはずです。 <p>2 市役所は、まちの中心にあるのが良いに決まっています</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 鎌倉は八百余年の歴史があり、鎌倉地域がずっと政治の中心だった。市の中心である鎌倉地域には、鎌倉市役所本庁舎の周りには、商工会議所・水道局・警察署・消防署・郵便局・図書館・鎌倉映画記念館・公民館⇒生涯学習センター・福祉センター・保健所・体育館・病院・裁判所・税務署・美術館・文学館・鎌倉歴史交流館・国宝館・鎌倉彫会館・寺社・駅・観光案内所・バスターミナルなど、市民の生活にとって重要なインフラが集結している。やはり、現在の場所が良いと思う。 <p>移転計画先の深沢地区は県のハザードマップにあるように水害危険地域である</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 深沢はその地名の通り、古来より低湿地であった。現在でも2、3日降雨が続くと一帯が池のようになる。数年前には柏尾側の内水氾濫で下水道から溢水し、腰越大船線が通行不能になっているほどの低地である。近年の気候変動で線状降水帯に度々見舞われるようになっているが、それに加えて柏尾川流域の都市開発により数時間の降雨で鉄砲水が発生し水位を押し上げる。現在上流の戸塚駅周辺で某社の社屋建設のため数メートル嵩上げしたが、周辺住民から浸水の危険が高まると裁判に訴えられている。新庁舎のイメージでは地盤嵩上げが計画されているが、浸水があった場合も嵩上げした部分以外が水浸しになっては市民が本庁に行くこともできず、防災の拠点として市民が利用することもできない。 ・ 市庁舎部分だけを嵩上げするのではなく、柏尾川治水対策にとり 	<p>(前ページのつづき)</p>

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
		P. 94	くむべきではないか。また地盤についても、泣塔南 10 メートルあたりまでは寺分山の岩盤の続きで確りしているが、その先の平地の部分はもともと蘆で地盤が脆弱、大地震の際には、液状化の恐れがないとは言えない。本庁舎新築移転より、大きな緑地や親水公園やスポーツ広場や、最新鋭のごみ処理場を造り熱やエネルギーなどをうみだし、温水プールや温浴施設を造れば、市のウェルネス一大拠点となり深沢発展につながる	
		P. 112	<p>本庁舎移転→整備費 170 億円という従来試算は、信じられません・村岡新駅に要する費用を合わせると莫大なものになるのは必至であり、起債し巨額の借金を未来の若い市民に押し付けるのはとんでもないことです。</p> <p>「市民のニーズに応えるコンパクトな本庁舎」は庁舎建設移転せずとも出来る</p> <p>「まもる」に書かれていることは現庁舎で可能ではと思う。そこを探求する本気の努力が必要だと考えます。</p> <p>市民の要望に対し「管轄外だから」とか「臨時職員だから」と平気で対応するのはおかしい。市民サービスの低下はダメでしょう。</p> <p>・図書館や学習センターを複合して、現行より狭くする事には大反対です。充実させるべきです。カフェなどビジネスは利権の癒着が起きない様に、と思う。</p>	
195	84	P. 6～, P. 34 ～, P. 58	<p>現在の市役所からトンネルを越えてすぐにある■■教会の会員です。今、教会の 50 年誌を書く為に、資料を集め執筆中です。若宮大路に面した大教会の牧師の辞任と同時期に深沢地区での開拓伝道（大教会の支部のようなもの）の計画がありました。当時急激に人口の増加した深沢地区に教会を建てれば、若い方や子ども達が沢山集まると考えていました。結論から言えば「今の場所が良かった」という事です。平和の集い、映画会、コンサート等に溢れる程の人がいらして下さい。</p> <p>市役所も今の場所は最高の場所だと思います。</p> <p>個人的には夫の死亡した時、銀行と市役所を 2 往復し、近いことを感謝しました。</p> <p>市役所の職員の方々には親切で温かく、丁寧な対応をして下さいます。</p> <p>私が気になるのは、市役所前広場の使用や、平和推進委員会の問題です。本当の市民共創を実行して頂きたい。これは建物の移転とは</p>	(前ページのつづき)

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			<p>無関係です。サービスは誠意と優しさがあれば建物の場所は今のままで良いと思います。</p> <p>災害リスクがない点では、現市役所実証済みではないですか。</p>	
196	87	P. 28	<p>②市役所は、まちの中心に位置すべきである。</p> <p>・鎌倉は八百余年の歴史があり、鎌倉地域が古来政治の中心であった。現在 TV 放送中の「鎌倉殿の 13 人」を起爆剤として、鎌倉に観光ブームを起こすべく [大河ドラマ館] を鶴が岡ミュージアムに設置している。そのことからわかるが、市の中心である鎌倉地域には、鎌倉市役所本庁舎の周りには、商工会議所・水道局・警察署・消防署・郵便局・図書館・鎌倉映画記念館・公民館→生涯学習センター・福祉センター・保健所・体育館・病院・裁判所・税務署・美術館・文学館・能楽堂・鎌倉歴史交流館・国宝館・鎌倉彫会館・寺社・教会・駅・観光案内所・バスターミナルなど、市民の生活にとって重要なインフラが集結している。資料によればそのうちから消防署と体育館と図書館だけを新本庁舎に併設するとしているが、市の骨格を支えている重要な施設を置き去りにしては機能不全となるだろう。</p> <p>・八百余年連続と続く歴史ある鎌倉を「世界遺産にしたい」と切望するほど大切に思うならば、軽々しい移転計画はやめるべきではないだろうか。</p>	
		P. 58	<p>③ 移転先の深沢地区は鎌倉市防災情報マップによれば氾濫警戒区域である</p> <p>・深沢はその地名の通り、古来より低湿地であった。現在でも 2、3 日降雨が続くと一帯が池のようになる。数年前には柏尾側の内水氾濫で下水道から溢水し、腰越大船線が通行不能になったほどの低地である。近年の気候変動で線状降水帯に度々見舞われるようになっているが、それに加えて柏尾川流域の開発により数時間の降雨で鉄砲水が発生し水位を押し上げる。現在上流の戸塚駅周辺で某社の社屋建設で数メートル嵩上げしたが、周辺住民から浸水の危険が高まると裁判に訴えられている。新庁舎のイメージで地盤嵩上げが計画されているが、浸水があった場合、嵩上げた部分以外の周囲の被害は甚大であり、市民が新設本庁に行くこともできず、防災の拠点として市民が利用することもできないことになる。</p> <p>・市庁舎部分だけを嵩上げするのではなく、柏尾川治水対策にとりくむべきではないか。地盤も、地元市民によれば、泣塔南 10 メートル辺りまでは寺分山の岩盤の続きで確りしているがその先の平</p>	
		P. 94		(前ページのつづき)

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
		概要版	<p>地の部分はもともと蘆原で地盤が脆弱、大地震の際には、液状化の恐れがないとは言えない。本庁舎新築など止めて、緑地や親水公園やスポーツ広場や、最新鋭のごみ処理場を造り、熱やエネルギーなどをうみだし、温水プールや温浴施設を設置すれば、市のウェルネス拠点となり深沢発展にもつながる。</p> <p>⑤「市民のニーズに応えるコンパクトな本庁舎」は庁舎建設移転せずとも十分可能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「まもる」に書かれていることは現庁舎でもリニューアルで実現できる。「優しい」「つながる」に書かれていることも、例えばワンストップサービスなどはレイアウトや職員の意識を変えれば可能。現行では市民の要望にも「管轄外だから」とか「臨時職員だから」とも対応されないことがよくあるが、それは庁舎の新築移転とは無関係だ。臨時職員を正職員にし、すべての職員を公僕としてしっかり育成し、要望する市民の立場を図るようになればよいだけのこと。 ・図書館や学習センターを複合して、現行より狭くするとは充実とは真逆。カフェなど必要ない。近隣の民間カフェを利用すればお互いに良い関係にもなる。 	
197	89		<p>市庁舎移転に反対</p> <p>子どもたちに附をまわすな</p>	
198	90		<p>鎌倉市防災情報ハンドブックのなかにある鎌倉市洪水ハザードマップ（神奈川県が平成 30 年 1 月に公表した「境川浸水想定区域（想定最大規模）を基に作成）によれば、深沢地域整備事業用地の大半が 3 m 未満の水につかります。新庁舎の計画場所はそこまで浸水せず、かさ上げするから大丈夫とのことだそうです。</p> <p>最初からこんな危険が予想される場所とわかったら無理に計画の見直しもせず進めようとは思わないはずです。災害リスクの高い場所での新庁舎の計画は反対です。</p>	
199	91		<p>第 1 章から第 7 章まで、全て該当します。</p> <p>(1) 令和 10 年度(2028 年度)深沢地域整備事業用地に本庁舎が移転(施設整備費 170 億円(税込み))とありますが、ロシア侵攻ウクライナ問題以降、経済問題の激変が見通せない状況も報じられています。このままの資料提供と財政規模で終わらないのではないのでしょうか。</p> <p>(2) 前市役所は火災のため現市役所が開庁日に可決した「市役所位置を定める条例」は、今回説明もなく市議会にも市民にも知らされず</p>	(前ページのつづき)

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			<p>市役所移転建設を規定事実化して承認を得るのではないかと不信が拡大中なので、早急に説明、提案すべきです。</p> <p>(3)市役所 6 階建てを建設する現地の危険性について、既に平成 30 年 4 月に公表された神奈川県ハザードマップで表示された危険地域にあたる深沢地域は河川の氾濫による洪水浸水想定区域図-神奈川県ホームページ(pref. kanagawa. jp)→堺川水系→柏尾川(洪水・浸水地域実態)→ここで、通常の住宅地建設、まちづくりは、おぼつかない。6 階建て新庁舎やまちづくりの必要条件に不適合。況してや 6 階建て新庁舎を無理やり建て深沢に街ができるのか、本庁舎跡地利活用の前提が確定できない。都市型大震災の典型、阪神淡路大震災における盛り土・切土の被害決定的、高層マンション、役所、住宅地など、現地に居住し具に京都大学、大阪市大等の専門家の教授を受けた者として申し上げたい。強行はすべきでない。</p> <p>(4)縷々述べている報告書は昨今の急激な変化に適応できていず、昨今の急変にまで調査も研究も出遅れている。</p> <p>以下述べている 3 例以外に、毎年惹起、分析される最新情報、新しい事実と問題点を掴み「善は急げ」事実を加えたい。</p> <p>① 昨今、日本列島、関東に吹き荒れる原因「気候変動」の実態について、既に 1919 年スウェーデンのグレタ・トゥンベリさんが『気候のための学校ストライキ』を始めてから今日まで鎌倉も例外でなく、2022 年度は言うに及ばずその後の経過は想像もできない。人命、生活、環境に、何をもたらすか、鎌倉だけが真空地帯でなく、本庁舎移転の前にすべきことが山積していないか。</p> <p>② 日本経済の変貌は、今や誰の目にも明らかだが、リフレ派が支配する現実の転換の日が目前に迫り、大激変が始まろうとしている現実には鎌倉だけが例外でなく、この時期の大規模財政出と市役所移転に末代まで責任を持てるのか。既に、市民側では最適な専門家を鎌倉に呼び現地調査を依頼して「現市役所は長寿化補強に耐えられる建築物」との評価も得た。願わくば鎌倉市提案資料(122 頁と 77 頁)には到達していない新しい事実の対応する企画まで待つべき。市資料は、これら変化と事実に対応できていない提案だ。</p> <p>③ 人口の推移はここに列挙している新しい事実には到達していない。まだ惹起する最新情報を加味して正確を期したい。この 3 年も加えないと、提案の意味がない。</p>	(前ページのつづき)

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			<p>(5) 今や「急がば回れ」こそ、後世に感謝される。鎌倉の中心部は殆どの役所・経済界・鎌倉の歴史的遺構などは鎌倉駅周辺をはじめとして展開しているのだから、①広い新天地深沢には、消防、災害対策、スポーツ施設などを移動させ、歴史は各地に散在し、②市の政治的建物は集中する鎌倉、③JR の中心駅大船の特徴を満たせば、3つの中心地は特徴を発揮できるが、122 頁に深沢への市役所移転は、無理を通すと、深沢への市役所本庁舎移転は、途中で破綻をきたし、美しい完成品から遠のく。</p> <p>(6) 鎌倉の歴史は 3 地域それぞれの特色を生かして、調和がとれた自然の鎌倉市の 21 世紀が始まる。「無理を通せば、道理引っ込む」—今の鎌倉市提案は立ち止まって撤回し、「落ち着く所に落ち着く」—世界の常識に軌道修正しませんか。鎌倉の先人と、「若者」のために。</p>	
200	92		<p>市役所に所用で通う市民に高負担をかける市役所 山崎移転に大反対する。</p> <p>170 億円もの税金は、市内道路渋滞対策に使用すべき。</p> <p>図書館の移転も全く不要。かつムダである。</p>	
201	95		<p>市内にあって JR 用地は</p> <p>1 歳入を確保するため企業用地として利用すべき。又は利用できる地域である。市庁舎ではなく、歳入増を期待し、市民の働く場所の増加を計るべき地域である</p> <p>3 市民は市庁舎で行政サービスを受けるのに快適性を求める事はない。近くて丁寧なサービスを求めるだけである。深沢地区は古都鎌倉の中心とはならない所である。</p>	
202	98		<p>そもそも現在の市庁舎を移転しなければならない必要性について、私には理解できません。現在私がもっとも多く利用しているのは、NPO の会議室や印刷室と、“きらら” の集会室、ホールですが、交通の便もよく市民として活動する上で役立っています。耐震性の問題や市民が多様に利用できるための庁舎の改築がどうしても必要であるということであれば、利用する市民の意見や声を十分に聞き、それを土台に検討し、深沢に移転するのが最も合理的。多くの市民の合意を得られるという時点で計画を進めていくべきではないでしょうか。誰のための市庁舎なのかという根本的なところを考えてください。</p>	(前ページのつづき)
203	103		<p>現在地より他への移転は絶対反対です。移転しなければならない理</p>	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			由・目的を理解できない。老朽化・狭あい化については、もっと工夫して解決する方法があるはず。市庁舎は市の中心部分におくべきものである。もっともっと市民の意見をきき、検討すべきである。市民のほとんどが賛成していない。	
204	104		賛成できません。深沢へ行く為に、バスと電車とモノレールを利用しなければならない市民は多いです。深沢地域以外の市民にとっては、遠くて不便で、ユニバーサルどころの話ではありません。	
205	106		3、現在の本庁舎は改築する。議場室をコンパクトに改造する。	

【その他の意見】

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
206	17	市役所跡地 関連	市役所跡地の利用についても別途跡地利用へ意見を提出しますがここでも提言させていただきます。跡地利用の51ページに想定する基本サービスが一部となっていますが新本庁と連携して業務の全てを対応して頂きたい。そのために新本庁と旧本庁との連携方式を検討していただきたい。(リモートワークなど検討しているようですが例えば管理職承認をリモートで行うなど。(銀行システムではもう当たりまえの事で口座を開設した支店以外の他支店でも色々な取引が行えます。))	手続きや相談がオンライン化することにより、支所や市役所跡地で対応できる事項が増加するものと考えています。新庁舎との連携について、令和5年度(2023年度)に実施する予定のDX支援業務において具体的な検討を実施していきます。
207	30		民生、総務、市税、情報公開手続き、市民生活、こども、健康福祉、介護、環境、土木、まちづくり計画、都市景観、教育などの事務については、相談、申請・許可などの手続きが、今までどおり、現庁舎で行うことができるようにしていただきたいと思えます。	市庁舎現在地については、別途「鎌倉市市庁舎現在地利活用基本構想」の策定を進め、利活用に取り組んでいます。いただいたご意見を参考といたします。
208	19	P. 43 ~ 45	新庁舎の供用開始に伴い、課税証明書も大船支所で出力可能とする。	現在も、住民税の証明書(課税証明書、非課税証明書、納税証明書)は、各支所で取れます。(郵送でも請求することができます)

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
209	26		<p>③ごみ処理場について</p> <p>現在利用している名越のごみ処理施設は、25年に停止されます。山崎焼却施設の建設は撤回となり、今泉生ごみ資源化施設の移動予定は未定のままです。いったんは逗子市の処理場を利用することになっているものの、これも28年度に停止が決まっており、そこから先は、他市・他県と協議をするのか、民間業者に引き取りを委託するのか、金額も方法も未知数です。</p> <p>自分たちのごみの行方を他に依存することは、自分たちの問題を自分たちで解決することをしなくなるという、大きなリスクをもたらします。逆に、自前で持つことは強みになるかもしれません。日々のゴミのことを真剣に考え、減量化の意識が高まるでしょう。近隣市町からゴミを受け入れることで新たな収入が見込め、新しい技術を民間と共同で開発し、その特許を収入につなげることもできるかもしれません。何より、安定したごみ処理は鎌倉市に大きな幸福をもたらすでしょう。</p> <p>仮に、鎌倉市に新しい処理場を建設すると、200億円を超えると算出されています。また、受け入れる地区の方々にはたいへんな負担となります。少しでも、その負担を和らげる方法はないのでしょうか？ 白紙となった山崎、現在利用している名越に再びお願いをして、合意の糸口は見つけれられないのでしょうか？</p> <p>28年度に委託先の逗子市の処分場が停止します。同じ28年度に、鎌倉市は、新庁舎の開設を目指しています。安定したごみ処理は、鎌倉市の緊急の課題です、新庁舎建設も、災害が明日起こらないとも限りません。</p> <p>何が優先順位か、何にどう、いくらお金をかけるのか、想定できるあらゆる事柄をすべて同時進行で俯瞰的にとらえ、決定は私たち市民が行なうべきです。市民が被る負担と受ける恩恵とを、市民が十分に議論をして、納得して、妥協すべき点は妥協した上で、決めていきたいと思います。</p>	<p>いただいたご意見は、担当部署に情報提供します。</p> <p>【参考】ご意見の中に「逗子市の処理場を利用することになっているものの、これも28年度に停止が決まっており…」とありますが、逗子市の焼却施設の停止は、令和16年度(2034年度)の予定となっています。</p>
210	68		<p>新市庁舎建設とゴミ処理場整備はセットで考えてほしい。見本は東京都武蔵野市クリーンセンターである。武蔵野市は、クリーンセンターと市役所が隣接している。鎌倉市は山崎にゴミ処理場を作ると決めたのに、一向に行動しない。それならば、新市庁舎とゴミ処理場を隣同士に作れば、鎌倉市民も文句は言うまい。東京都は渋谷や池袋など街中にゴミ処理場がある。それらや、武蔵野市を見習い、環境に配慮し、美術館のような外観、クリーンセンターの屋上に野</p>	<p>いただいたご意見は、担当部署に情報提供します。</p>

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			菜ガーデン整備、イベントの充実を図る、など、イメージアップを図ればよい。焼却炉は一基にすれば武蔵野市より狭い敷地で製作出来よう。深沢新開発地区の電気をこれでまかない、オール電化で電気代無料にすれば、入居される方々にもメリットはある。ぜひともご検討をいただきたい。	(前ページのつづき)
211	42		ただ、現在の市庁舎跡地について問題を感じました。問注所跡の御成小から続く一帯は地下を掘るべきではなく、広い芝生の公園にし、部分的に地下発掘の様子を上から見える様ガラスの床の部分を作ります。図書館や小ホール等文化施設は歴史交流館前の旧石原邸（親しい知人でした）跡地の有効利用をと思います。	市庁舎現在地については、防災も支える行政サービス機能やホール・ギャラリー機能など生涯学習を推進する拠点としての役割の充実を図るほか、防災に寄与する機能、広場等オープンスペース、民間スペースの導入を検討しています。 なお、鎌倉歴史文化交流館前の用地（扇ガ谷一丁目用地）については、「鎌倉市にふさわしい博物館基本構想（令和2年6月）」に基づき、博物館機能のうち調査研究機能及び保管機能を充足する他、エコミュージアムガイダンス施設及び多目的ホールとして用いること、埋蔵文化財センター機能を併設すること、鎌倉国宝館と同様のグレードの収蔵庫を設置すること等を目的として、扇ガ谷一丁目用地に必要最小限の建物を建築することを検討する方針です。

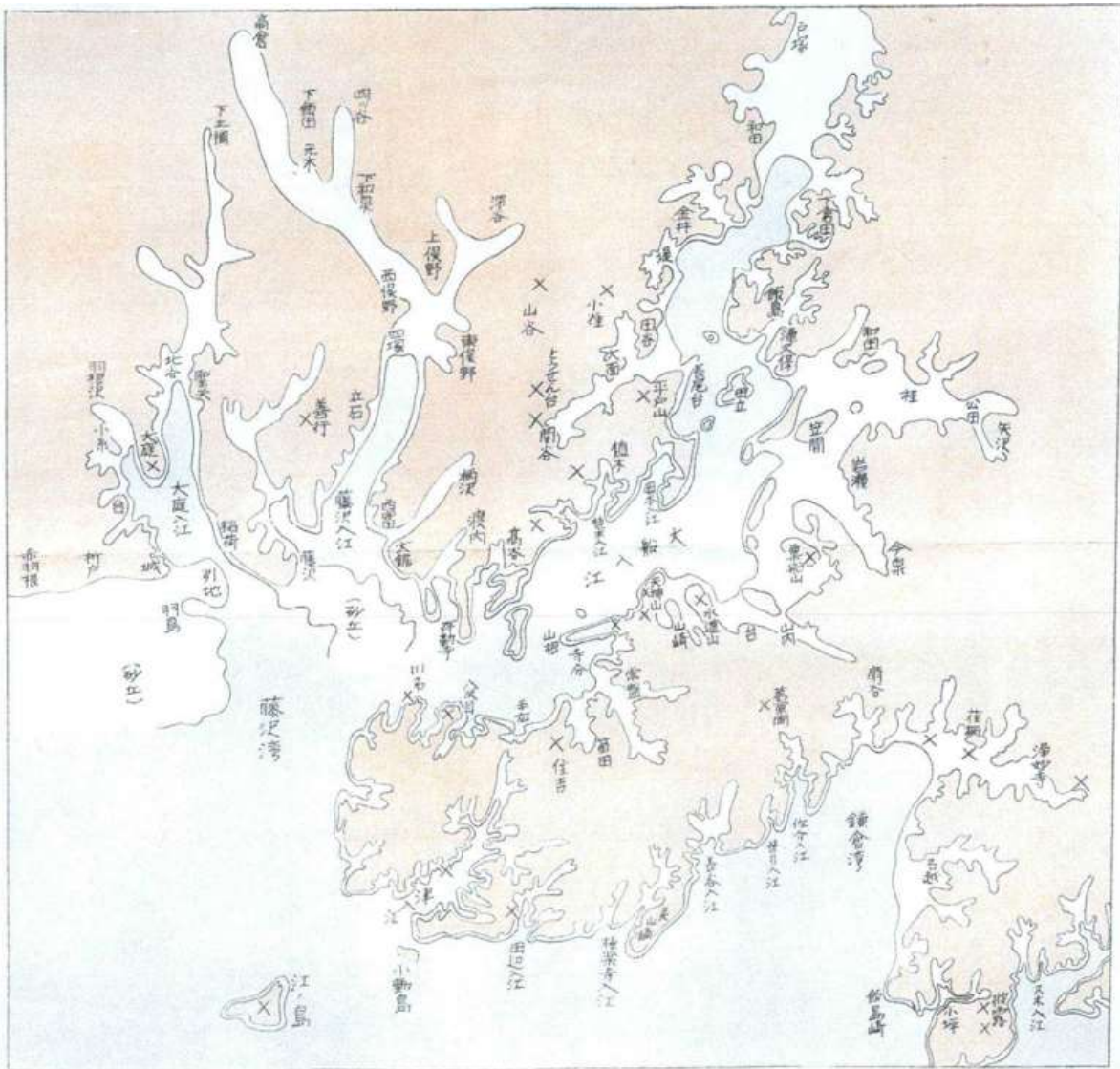
【参考意見】（氏名等の必要事項の記載がないもの）

整理 No	提出 No	原文	
		該当箇所	意見
参考 1	56		<p>深沢地区新市庁舎建設に反対します。理由①市庁舎は市の中心にあるべきです。深沢地区は藤沢市に接し、中心ではないからです。鎌倉駅周辺にあるべきです。現在地の駐車場に建築したほうが良い。②深沢地区はハザードマップにもあるとおり、浸水する可能性があるため、安全ではない。現在地に津波が来て安全でないというならば、高層建築にすれば被害は、減らすことができるし、市民の避難施設となり、命を守ることができる。現在のままの風致地区では、市民が津波から避難する高層の公共施設がまったくない。深沢地区移転では単に市役所だけの移転しか考えておらず、駅周辺の市民の命をどう守るかの視点がかけている。高層建築として、防災を兼ねた市民を守る施設となるべきである。③人口減少の中で土地買収、その他、予算がかかりすぎる。④深沢地区に大型施設を作っても集客できるか。大船地区と競合してしまうため、現在の形態をこわしてしまう可能性がある。以上の理由で移転に反対です。鎌倉駅周辺市民を津波から守るべき防災を兼ねた高層市役所として現在地に建設することを再考願いたい。津波から市民を守るためのバザードマップを作っても、対策は考えていますか。緊急時の公共の高層避難施設はどこですか。このままでは、市民や観光客は流されるだけです。市民の命を守るのはだれですか。身体不自由な方、高齢者はどこへ逃げますか。</p>
参考 2	106		<p>①深沢地域整備事業用地は、二級河川である柏尾川沿いにあり、浸水・洪水地域になっている。危険な地区には、新たな街を作らない。近年は、地球温暖化により、日本は線状降水帯が多発している、大船地区及び深沢地区の浸水洪水地域の安全対策に深沢地域整備事業用地を活用する。</p> <p>「意見内容」</p> <p>1、深沢地域整備事業用地の経緯</p> <ul style="list-style-type: none"> ○深沢村の時代（昭和 17 年頃）に、日本国帝国海軍が魚雷製造工場を建設するため、深沢村の農民から田畑山を強制で接収したものである。 ○日本国が敗戦後、日本国と連合国が国鉄大井工場の分工場にした 5 年後、国鉄車両修理大船工場になる。 ○現在西側地権者の部分は、上町屋の希望した農民に払下げした。岩で迂突雑草を整備し、畑にした岩があり、麦を栽培するだけであった。 ○国が国鉄改革、昭和 62 年 4 月 1 日（民営化）により清算事業団用地約 8ha と JR 東日本（株）約 16ha（工場部分 12.47ha、社宅部分 3.5ha）に分割。 ○JR 東日本（株）工場部分 12.47ha は平成 10 年ごろ工場撤退の予定であったが、工業地域を昭和 62 年 10 月 16 日付で工業専用地域に変更した。 ○閣議決定で清算事業団用地は平成 9 年度末までに処分するとなっていたが、鎌倉市は平成 9 年度から平成 20 年度間で分割により 74 億で取得した。 <p>2、深沢地域整備事業用地の活用内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○鎌倉市所有地約 8ha と JR 東日本（株）16ha を浸水洪水対策の用地に活用する。上記の用地を洪水時の遊水池にし、平時は野球場、サッカー場を使用する。また、焼却施設を作り、その熱を有効活用し、発電等に利用する。

整理 No	提出 No	原文	
		該当箇所	意見
			<p>○地球温暖化対策として太陽パネルを設置する。その電気を街灯などに活用する。</p> <p>○事業用地周囲には樹木を植えて、二酸化炭素削減、景観に配慮する。</p> <p>3、現在の本庁舎は、改築する。議場室をコンパクトに改造する。</p>

【卷末資料】

整理 No. 162 (提出 No. 9) の意見添付資料①



第3図版 縄文土器時代の鎌倉地形想定図 (×印 遺跡)

26.10.10
タウンニュース®
 発行責任者/宇山 知成
 編集長/井方 照雄
 神5-13-19 http://www.townnews.co.jp



冠水した下馬交差点付近

台風の接近を受けて鎌倉市は、5日正午に災害警戒本部を設置。午後4時には市立小学校16校に避難所を開設し、防災行政用無線や車両で避難を呼びかけた。6日午前8時には土砂災害警戒区域内の約1万7千世帯4万2千人に、その後

台風18号

鎌倉でも大きな被害

大船駅周辺などで道路冠水

10月6日朝に関東地方を直撃した台風18号。鎌倉市内でも大規模な道路冠水やがけ崩れ、倒木など大きな被害が発生した。

も神戸川、滑川、柏尾川の流域約6300世帯約1万4千人を対象に避難勧告を発令した。実際に14校に延べ208人が避難した。

内水はん濫が発生

市内では、午前8時から6日午前11時までの雨量が、市中心部で238・5mm、大船で292・5mmとなった(鎌倉消防署、大船消防署の雨量計による観測)。特に6日午前8時から9時まで、大船は鎌倉で46・5mm、大船で50mmの猛烈な雨が降った。その結果、雨水が下水道の能力を上回

り河川などに排水できなくなる「内水はん濫」の状態となり、由比ガ浜の下馬交差点付近や手広地区、大船駅東口周辺など10件の道路冠水が発生、町屋橋と下馬で自動車3台が水没した。大船仲通商店街の雑貨店で働く男性は「開店の準備をしていたら、あつという間にひざぐらいの水がたまつた」と振り返った。

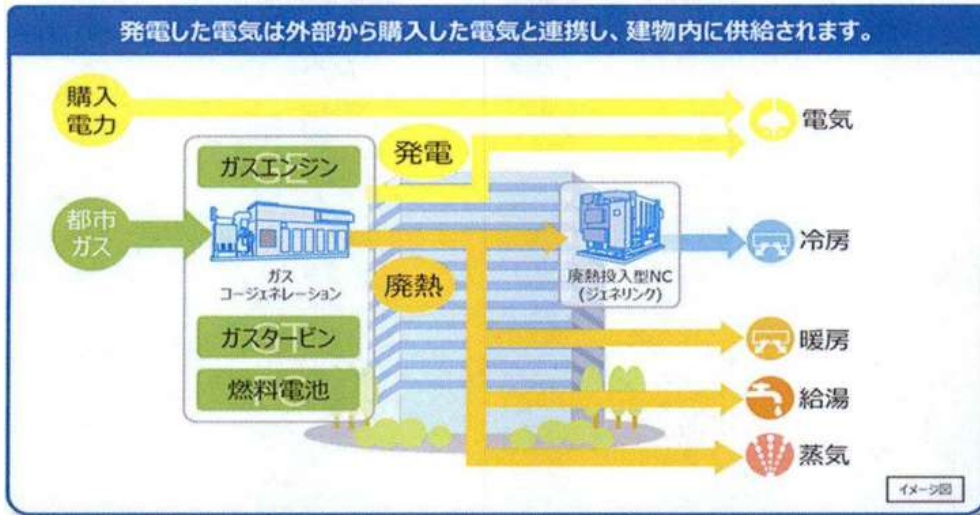
このほか市総合防災課が6日午後3時までにまとめた被害状況は、山ノ内や極楽寺、関谷でがけ崩れ6件が発生、山ノ内では自動車3台が土砂に埋まった。また長谷、山ノ内、十二所浄明寺などで6件の倒木が確認された。人的被害は確認されていない。

出典：タウンニュース鎌倉版 平成26年10月10日号

整理 No. 61 (提出 No. 44) の意見添付資料

【参考：ガスコージェネレーションシステムについて】

- ✓ ガスコージェネレーションシステムはクリーンな天然ガスにより、電気を使用する場所で発電する「分散型発電設備」です。
- ✓ 発電と同時に発生する廃熱を冷房・暖房・給湯・蒸気などにムダなく利用することができる省エネルギーシステムです。
- ✓ 電源の二重化、安定化を図ることができ、特に、停電対応（BOS：ブラックアウトスタート）仕様機を採用することにより、購入電力の停電時における重要負荷への電力供給が確保できます。



停電時も設備をストップさせない 停電時対応型ガスコージェネレーションシステム

停電が起きた場合に電力を優先的に供給する設備を決めておくことで、停電時も設備を止めることなく稼働させることができます。

停電時にも止めたくない重要負荷

- 消去させたくない重要なデータがある
- 停電による混乱を避けたい
- 防災拠点として期待されている



ガスコージェネレーションシステム



信頼性の向上

電源の多量化

停電してもガスコージェネレーションシステムにより、重要負荷へ電力を供給します。

長期間の電力供給

ガス供給が継続されている限り、電力を供給します。

重要負荷・・・商用停電時にも電力供給を継続したい重要な負荷(例:電子データ機器、照明設備、給水ポンプ等)

防災負荷・・・消防法・建築基準法で規定されている、火災+停電時に電力供給を行わなければならない負荷(例:スプリンクラー設備、排煙設備、非常用エレベーター等)

【新庁舎の移転整備に関する意見】(整理 No. 162～205) に対する市の考え方について(表中「市の考え方」の欄の再掲)

いただいたご意見に対し、市の考え方として経過や検討内容に対するご理解をいただくため、これまでの経過等について掲載します。(周知や市民参加などの取組については整理 No. 140 の市の考え方も参照ください。)

○本庁舎再整備(新庁舎の移転整備)の背景と経緯

本市では、高度経済成長期の人口増加と市街地の拡大にあわせて整備した公共施設が一斉に老朽化し、現在では築30年を超える公共施設が半数以上を占め、大規模改修や建替えが急務となっています。しかし、今後、予想される人口減少やこれに伴う、税収減や社会保障費の増加などを考えると、全ての施設をこれまでどおり維持・更新することが困難であることは言うまでもありません。このため、「鎌倉の魅力を継承しつつ、次世代に過大な負担を残さない。」ことを前提に公共施設のあり方を見直すため、平成18年度(2006年度)から公共施設再編の具体的な検討を進めてきました。平成24年(2012年)3月に『鎌倉市公共施設白書』を策定後、平成24年度(2012年度)に学識経験者や公共的団体が推薦する者で構成する鎌倉市公共施設再編計画策定委員会を設置し、公共施設の再編を効果的かつ効率的に推進するため、議論をしていただき、平成25年(2013年)4月に『鎌倉市公共施設再編計画基本方針』、平成27年(2015年度)3月に『鎌倉市公共施設再編計画』を策定しました。

○現在の市役所本庁舎の課題

昭和44年(1969年)に整備した市役所本庁舎は、整備から約50年以上経過し、建物や設備の老朽化が著しく、また、行政需要の増大に伴う職員数の増加等により市役所本庁舎だけでは執務スペースが不足し、分庁舎の建設や一部執務室の敷地外への移転などを進めた結果、業務の非効率化とともに、市民の利用にも支障をきたしています。

また、平成17年(2005年)までに実施した耐震改修工事により大規模な地震により、建物が崩壊する危険性は低いものの、発災後に業務を継続するために求められる耐震性能は有しておりません(現在の建物は、 I_s 値(※)0.6の耐震性能を確保し震度6クラスの地震に際して建物が倒壊又は崩壊する危険性は低いものの、業務継続に求められる通常の1.5倍の I_s 値0.9の耐震性能は有しておらず、災害への迅速な対応、被災者支援、復旧・復興など、発災後に必要となる業務を安定的に継続することができません。)加えて、神奈川県が公表している津波浸水想定範囲に敷地の一部が含まれているといった課題を有しています。

こうしたことから、平成27年(2015年)3月に策定した『鎌倉市公共施設再編計画』において、市役所本庁舎は、「「現地在建替え」、「現地在長寿命化」、「その他の用地への移転」の方策などについて検討し、平成28年度末(2016年度末)までに将来の整備方針を決定する」としました。

(※) I_s 値: 建物の強度や粘りに加え、その形状や経年状況を考慮した耐震指標。 I_s 値が大きいほど耐震性が高い。

○「移転して整備する」方針を決定した理由

平成27年度(2015年度)に「本庁舎機能更新に係る基礎調査～本庁舎整備方針策定に向けて～」を実施し、現在の本庁舎が抱える課題、求められる機能・性能、必要な庁舎面積、配慮すべき条件等の整理を行った上で、平成28年度(2016年度)に学識経験者や公共的団体が推薦する者で構成する鎌倉市本庁舎整備方針策定委員会(以下「策定委員会」といいます。)を設置し、必要となる床面積25,000～30,000 m^2 (総務省基準等に基づき算出)に対してどのような市役所本庁舎の整備パターンが考えられるか、「現地在建替え」、「現地在長寿命化」、「その他の用地への移転」について、「防災・減災」、「機能・性能」、「まちづくり」及び「時間・コスト」の観点から検討していただきました。

その結果、現在地での整備では、①地震等の直接的な被害による市役所本庁舎の機能停止だけでなく、道路の寸

断により庁舎が孤立して機能不全となるおそれや、市域全域に対する災害への対応が困難な事態に陥る可能性も考えられ、災害時の対応力・受援力の発揮など災害応急対策活動には適さないこと。②風致地区による建物の高さ制限（10m）により高層化ができず、更に周知の埋蔵文化財包蔵地であるため地下の利用も制約を受け、市役所本庁舎としての機能を維持するために必要な床面積が確保できないこと。③建替え時に分庁舎や仮庁舎の整備や引っ越し費用等も必要となり、移転に比べ多額の費用がかかることなどから、「本庁舎は移転して整備する」との方針が策定委員会から市長へ提言され、平成29年（2017年）3月に「本庁舎は移転して整備する」ことを含む『鎌倉市本庁舎整備方針』を策定しました。

○移転先を「深沢地域整備事業用地（行政施設用地）」とした理由

新庁舎の移転整備は、まちづくり、地域経済、市民サービス等に大きな影響を与えるため、広くまちづくりの視点を持って検討することが必要であることから、平成29年度（2017年度）に、鎌倉市公的不動産利活用推進委員会の中で、他の公的不動産の利活用やその効果を含めて全市民的な視点から適地の検討を行い、平成30年（2018年）3月に策定した『鎌倉市公的不動産利活用推進方針』において、市役所本庁舎の移転先を深沢地域整備事業用地内の行政施設用地（以下「行政施設用地」といいます。）としました。

検討に当たっては、原則として市有地であることや、必要となる床面積25,000～30,000㎡の新庁舎が整備できる土地の面積を有することなどの移転整備候補地抽出の基本的な考え方にに基づき、まずは、梶原四丁目用地（野村総合研究所跡地）及び行政施設用地を候補地とし、市民の利便性及び全市民的なまちづくりの視点から評価を行いました。

市民の利便性の視点では、市域全体に対し効率的にバランスの良い行政サービスの提供が可能であるかの検討を行い、鎌倉駅周辺、大船駅周辺、深沢地域の3拠点における行政サービスの提供が、市民の利便性の維持とサービス提供の効率化の面で優れていること、深沢地域は人口重心（※）が位置するなど、行政施設用地がより多くの市民にサービスを提供することに適した場所であるとの結論に至りました。

また、全市民的なまちづくりの視点からも、都市機能が集積する場所で行政サービスを提供することは、まちの暮らしやすさの向上、行政サービスに係るコストの削減につながることから、鎌倉駅周辺、大船駅周辺、深沢地域の3拠点で行政サービスを提供することが望ましく、また、行政施設用地に本庁舎機能を整備することで、周辺に一定の機能が集積することや賑わいの創出などを想定すると、梶原四丁目用地と比べて、今後、新たなまちづくりを進める行政施設用地の方が優位性が高いとの結論に至りました。

更に、こうした視点に加え、行政施設用地に新庁舎が移転整備した場合、総合体育館や消防本部と連携した整備等を行うことにより、建設コスト削減や、官民連携の手法の導入による費用負担の縮減が可能になります。そして、深沢地域に新庁舎を移転整備し、深沢地域のまちづくりを推進することで、他の公的不動産の利活用のポテンシャルを高め、更に鎌倉駅周辺拠点や大船駅周辺拠点それぞれの資源や魅力、都市機能に磨きをかけることで、鎌倉市全体の都市機能の強化やまちの魅力向上につながることを期待できることから、行政施設用地を移転先としています。

交通渋滞に対する懸念については、深沢地域整備事業に関する既往調査の交通推計（新庁舎を含む各街区の想定される土地利用による発生交通量を想定した推計）を基に、周辺交差点の混雑状況の検証を行い、概ね問題はないという結果を得ています。新庁舎へのバスルートの確保に加え深沢地域整備事業区域の周辺道路整備等について、今後、具体的な検討を進めていきます。（交通網については整理No. 112の市の考え方も参照ください。）

（※）人口重心：人口の一人一人が同じ重さを持つと仮定して、その地域内の人口が全体として平衡を保つことのできる点。

○施設整備費などについて

新庁舎等の施設整備費用の170億円（税込）については、8月時点で約26億円まで基金を積み立てており、基金と市債による費用準備を考えています。補助金については、環境配慮や木質化への部分的な補助金等の活用の可能性を探索します。また、官民連携事業手法を導入することで、施設整備費の圧縮と適切なコスト管理を行います。物価高騰については、施設整備費見直しの必要性の検討も含め、今後の社会情勢等を注視していきます（整理No.74の市の考え方より）。

本事業については、前述のとおり市役所本庁舎の課題解決のため、市役所第3次総合計画第4期基本計画（令和2年（2020年）4月策定）に基づき取組を進めています。施設整備費や他の計画・事業について、本事業を進める中で引き続き、連携・調整を図っていきます。

○災害リスクについて

移転先の決定後、行政施設用地の防災面に関する不安の声があったことから、令和元年（2019年）7月に策定した『鎌倉市本庁舎等整備基本構想』の検討に当たり、改めて、最新のデータを用いて、防災面に関する再検証を当時行いました。

本市では、地震によって引き起こされる建物や施設の被害に加え、津波や土砂災害、液状化、大規模降雨による洪水浸水や内水氾濫、土砂災害等が災害のリスクとして想定されますが、災害リスクが全くない場所は存在しないため、比較的災害リスクが少ない場所で、それにどう対処できるのが重要であると考えています。

新庁舎の移転整備先としている行政施設用地は、津波による浸水については、『鎌倉市津波ハザードマップ（平成25年（2013年）3月（令和2年（2020年）4月改定））』及び『神奈川県津波浸水想定図（平成27年（2015年）3月）』を基に当時検証を行っており、想定はありません（改定版でも影響に変化なし）。なお、「e-かなマップ」によれば敷地の一部で液状化の危険度が高い箇所が存在していますが、過去に行政施設用途内の泣塔の南側付近の地点で行った調査では、液状化の可能性はないと判定されています。

洪水による浸水につきましては、『鎌倉市洪水・内水ハザードマップ（平成22年（2010年）3月（それぞれ令和2年（2020年）4月改定））』及び『境川水系洪水浸水想定区域図（平成30年1月神奈川県）』を基に当時検証を行い、移転先において計画規模（24時間積算雨量：302mm：年超過確率1/100）では、浸水はないと想定され、想定し得る最大規模の降雨（24時間積算雨量：632mm：年超過確率1/1000）では、敷地の大半で0.5m未満や0.5m～3.0m未満（土地区画整理事業による造成後は0m～1.5m程度）の浸水が想定されています（改定版でも影響に変化なし）。なお、想定最大規模の降雨があった場合も、境川水系柏尾川が掘込河道であることから、浸水が広がるスピードは緩やかだと考えられ、浸水継続時間が12時間未満であることなどから、災害対応は可能だと考えています。また、想定される災害については、深沢地域整備事業用地で予定している区画整理事業における造成に加え、建築時の外構工事（整地等）等により対策も講じていきます。具体的には、想定最大規模の降雨があった時にも浸水することがないように、想定の高水高以上に1階FL（床の高さ）を設定するほか、設備機器の配置や出入口の位置等への配慮、止水板の設置等の検討なども行いながら計画していきます。

その後も『鎌倉市土砂災害ハザードマップ（平成24年（2012年）2月（令和4年（2022年）1月改定））』による土砂災害警戒区域（特別警戒区域）や高潮浸水想定区域図（令和3年（2023年）8月神奈川県）による高潮浸水想定区域などの災害に関する新たな情報の確認を続けており、引き続き、確認していきます。

これらの経過等があったこと及び基本計画にご理解願います。